

第五十九回帝國議會
衆議院

勞働者災害扶助法案外二件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案

勞働者災害扶助法案(政府提出)
勞働者災害扶助責任保險法案(政府提出)
勞働者災害扶助責任保險特別會計法案(政府提出)

會 議

昭和六年三月十七日(火曜日)午前十時
三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 山邊 常重君

理事 竹田 儀一君

理事 坂東幸太郎君

理事 村上紋四郎君

理事 崎山 武夫君

理事 上田 孝吉君

小山 令之君 栗山資四郎君

村上 國吉君 佐藤 與一君

氏家 清君 佐々木芳照君

安藤 正純君 牧野 良三君

東條 貞君 原 惣兵衛君

高見 之通君 西尾 末廣君

同日委員山崎傳之助君、眞鍋儀十君及

森田政義君辭任ニ付其ノ補闕トシテ佐

々木芳照君、村上國吉君及上田孝吉君

ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事森田政義君委員辭任ニ付其ノ

補闕トシテ上田孝吉君理事ニ當選セリ

出席政府委員左ノ如シ

社會局長官 吉田 茂君

社會局部長 富田愛次郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左

ノ如シ

社會局書記官 北岡 壽逸君

司法書記官 奥野 健一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

勞働者災害扶助法案(政府提出)

勞働者災害扶助責任保險法案(政府提出)

勞働者災害扶助責任保險特別會計法案(政府提出)

案(政府提出)

○山邊委員長 前回ニ引續キ會議ヲ開

キマス

○原委員 幾ラ議論ヲ致シマシテモ、

三條ノ問題ハ、先般富田政府委員ニ、

數次ノ請負ヲ爲ス場合ト云フ例ヲ御尋

致シタ場合ニ、一家數人ニ依リテ分割

スル場合トカ、順次下請關係ニ於テ請

負ヲ爲ス場合、斯ウ云フヤウナノハ兩

方共、所謂橫斷、縱斷トモ含シテ居ル

ト云フ御話ガアリマシタガ、果シテ其

御說ハ御認ニナルカドウカト云フコト

ヲ、モウ一度確メテ置キタイト思ヒマ

ス

○富田政府委員 縱橫ト云フノハドウ

云フ場合ヲ申上ゲマシタカ、例ヘバ元

請負ノ下ノ方ノ一次、二次、三次ト行

ク場合ニ、元請ト一次、二次、三次ト

ノ間ニ於ケル數次ノ請負ト云フコトヲ

意味シタノデアリマス

○原委員 ソレハ先般私ガ御説明ヲ聽

イタ場合ニハ、一次ノ數ノモノヲ分割

シテ、請負關係ガ起ルト云フ時ニハ縱

モ横モ入リマス御答ヘニナリマシ

タ、是ハ速記ヲ見ルトハッキリ書イテア

リマス、サウスルト元請ト下請ノ關係

以外ノ場合ヲ含シテ居ナイト云フコト

ニナル譯デアリマス

○富田政府委員 元請ト縱ニ一次二次

三次ト行キマシタ場合ニ付テハ、數次

ノ請負ハ元請カラ一次二次三次ト行ク

場合ハ、責任ガアルコトハ當然デアリ

マス、而シテ所謂橫ニ行キマシタ場合

ニ付テモ、例ヘバ元請ガアッテ一ツノ仕

事ヲ甲乙丙ニ分割シタル場合ニ付テ

モ、元請人ニ責任ガアルト云フコトヲ

申シテ居ルノデアリマス

○原委員 吉田社會局長官ニ御尋ネシ

タイコトハ、昨日來色々説明ニナリマ

シタガ、事實關係ニ付テハ其方ガ便利

ガ宜イトカ何トカ色々ナコトヲ御説明

ニナッタノデアリマスガ、如何デアリマ

スカ、假リニ事實ニ付テ、私等ハ事實

ハ事實トシテ、適確ナル二三ノ質問ヲ

致シタノデアリマスガ、假リニ事實關

係ハ其方ガ明白デアルト仰セニナッテ

モ、問題ハ事實上ノ問題ニアラズシテ、

法律關係ヲ今論ジテ居ルノデアリマ

ス、殊ニ立法問題デアリマスカラ、立

法問題ノ立前カラ云ウタナラバ連帶責

任ト云フモノハ勞働者ノ味方ニ、ヨリ

以上利益ニナル、連帶責任ヲ——所謂

權利者デアアル地位ノ勞働者ニ取ッテ、連

帶責任ト云フモノヲ感ゼシメナイ方

ガ、權利者タル勞働者側ノ地位ハ、保

護ノ利益ガ少イト云フコトダケハ、事

實關係ヲ離レテ、法ノ建前カラ見テ事

實問題ニアラズ、法律問題ト云フ立場

カラ見タナラバ如何ニナリマスガ、何

ト云ウテモ仰セノ通りト云フ御答ニナ

ラナケレバ理窟ハ立タヌト思フガ、ド

ウデスカ

○吉田政府委員 事實關係ヲ離レマシ

テ、御尋ネノヤウニ純粹ニ法律上ノ權

利ノ強サカラ申シマシテ、ソレガ訴訟

ニナリマシタ場合ニハ、仰セノ通りニ

數人ノ人ガ連帶シテ保證責任ヲ負ウテ

居ルト云フコトノ方ガ、權利ハ強イコ

トニ違ヒアリマセ

○原委員 ソレデ能ク分リマシタ、第

三號ニ付テ、私ハ先般來、先ヅ催告スルコトヲ得、斯ウ云フコトヲ御尋ネシマシタ時ニ於テ、元請人ノ責任ハ、アチラヘ請求ニ行ケト云フ抗辯權ヲ持ッテ居ルト解シテ居ルニ拘ラズ、幾度モ政府委員ハ、イヤソレハ下請ノ方ヘ行ッテ斯ウ云フ通知ヲ出セ、葉書デモ宜イカラ通知ヲ出シテ置ケバ宜イ、ソレガコチラヘ來レバ足リルノデアリマス、斯ウ云フ御説明ガアリマシタガ、法律上ノ構成カラ見マシテ、サウ云フコトハ斷ジテ言フコトハ出來ナイト私等ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ法律問題トシテ明確ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 若シ通知ト申上ゲタナラバ、ソレハ用語ガ正確デナカッタノデアリマス、最初ニ下請人ニ請求シテ居ルコトデアリマス、其請求シテ居ルト云フコトガ證明出來レバデアリマス、サウスレバ更ニ元請人カラ下請人ニ請求スベキ權利ハ、別ニ様式ノ定メモ何モナイノデアリマスカラ、葉書モ無論請求トシテ法律的ニハ證據ニ使ヒ得ルト思ヒマス、單純ニ請求ノ意味トシテ通知スルヤウナコトハ事實稀デアラウト思ヒマス、多クノ實際ノ場合ニ於キマシテハ、現ニ勞働者ヲ使ッテ居リマス下請人ガ、例ヘバ怪我ヲシタ場合、直グニ病院ニ連レテ行ク、醫者ヲ呼ン

ハ、先ヅオ前下請ヘ行ッテ請求シテ來

デ來ルト云フノデ、直グソレガ扶助ノ内容ニナルノガ通例デアリマス、隨テ元請人ト下請人トノ間ニ於テ、下請人カラ請ケル契約ガアリマス場合ニハ無論ノコト、其下請人ニ先ヅ請求スルト云フコトハ、通常ノ狀態ノ下ニ於キマシテハ、自然ノ成行デアリマスカラ、下請人ニ請求スルト云フコトノ證明モ、從ッテ左程困難ナコトデナイデアラウ、其證明ガ困難デナイ以上ハ、證明セラレタ場合ニ於キマシテハ、元請人ハ更ニ下請人ニ催告スベキ旨ノ請求ハ出來ナイノデアリマス、單純ト通知ノ意味ダト云フコトガ明瞭デアリマスト、ソレハ請求シタ證據ニナラスカモ知レマセマスガ、サウ云フコトハ事實少ナカラウト思フノデアリマス

○原委員 私ノ御尋シテ居ルノハ、サウ云フ問題デナクテ、此第三號ノ規定ガ、無論法律問題ニナッタ時ノ話デ、事實問題デ片ガ付イタラ法律ハ要ラナイ、片ガ付カナイ時ニ、此法律ガ始メテ發動スル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ勞働者ガ元請人ニ對シテ請求スル、ソコデ問題ハ現金受取人ハ元請人ニナッテ居ルノデアリマシテ、其元請人ヘ行ッタ時ニ、元請人ガ今茲ニ書イテアルヤウニ、下請人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトハ、先ヅオ前下請ヘ行ッテ請求シテ來

イ、斯ウ云フ權利ヲ持ッテ居ル、サウフ抗辯シタ時ニ勞働者ノ立場ハドウナルカ、サウスルト裁判ヲヤリ變ヘテ來ナケレバナラス、少クトモソコニ於ケル所ノ此催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フ規定ハ、法律上如何ナル意味合デアリマスカ、此法律的精神及其法律上ノ請求スル權利ト云フモノハ如何ナルモノカト云フコトヲ御聽キシテ居ルノデアリマスカラ其點ヲ御説明シテ戴キタイ

○吉田政府委員 只今其點ハ申上ゲタト考ヘタノデアリマスガ、下請人ニ對シマシテ請求シテ居リマス場合ニ於キマシテ、元請人ハ裁判上ニ於テモ事實上ニ於テモ下請人ニ對シテ先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトハ出來ナイノデアリマス、隨テ元請人ガソレニ依ッテ支拂ヲ延シテ貰フ譯ニハ行カナイノデアリマス、ソレカラ下請人ニ於テ引受ケル特約ノアリマス場合ニ於テハ、第三條ニ依リマシテ保險契約ノ締結ハ元請人デアリマスカラ、保險金ヲ受取ル者ハ下請人デアリマス、四條ノ一項ニ其事ガアリマス

○原委員 私ノ申スノハ、是ハ結局法廷ニ立ッテ見タ人デナケレバ、其法理關係ガ能ク分ラナイ、吉田サンハ社會局長官トシハ偉イ方デアリマスカレドモ、ドウモ御分リニナラヌダウト思

フ、先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フ此請求權ノ内容ハ、果シテ如何ナルコトヲ意味スルモノデアアルカ、即チ事業主ガサウ云フコトヲ言ウテ拒ム權利ハ、如何ナル内容デスカ、之ヲ御尋ネシテ居ルノデス、此際ソレヲ申シテ戴ケバ宜イ、若モ是ハ法律上ノ關係デ、何デシタラ司法省ノ政府委員ニ來テ戴イタラ、一番解決ガ早イト思フ

○吉田政府委員 「下請人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得」ト云フ内容ハ、特ニ裁判ニナリマシタ時ニ、ソレヲ行使シテ、ドウ云フ效果ガアルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ自分ノ履行ヲソレダケ避ケルト云フヨリ外ナイト云フ考デアリマス、ソレ以外ニハ別ニ取立テ、ドウト云フ效果ハナイダラウト思ヒマス

○原委員 只今ノ御説明ハ、效果ノ問題デアリマスガ、私ハ請求權ノ内容ヲ問フタノデス、避ケル權利ガアルト言ハレルガ、其避ケラレルコトガ、勞働者ノ保護ニナラナイ、ダカラ是ハ法律上ノ結果カラ見テ居ル、事實問題トシテハ、折角請求シタノニ、オ前ハ下請ニ行ケ、俺ハ拂ハナイノダト言ッテ拒ム權利、即チ避ケル權利ガアル、斯ウ云フコトデハ勞働者ハ折角訴ヘテモ、アッ

チヘ行ケ、コッチヘ行ケト云ッテ二年モ

三年モ掛カルコトニナレバ、事實上勞働者ハ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フ重大ナ事ガ起ツテ來ル、此位權利者タル勞働者ニ不利ナ規定ハナイト考ヘマスガ、此點ハ如何デアリマスカ

○吉田政府委員 元請人ハ一應裁判ヲ避ケルコトガ出來ルノデアリマスケレドモ、下請人ニ對シテ請求致シテ居リマスレバ、ソレヲ避ケル手段ハ講ズル途ガナイノデアリマス、又斯ウ云フコトハ、減多ニアリマスマイケレドモ、

下請人ニ對シテ請求セズシテ、イキナリ元請人ニ請求シタト云フ場合デモ避ケサセルノデハナイノデアリマス、先ヅ下請人ニ對シテ催告スベキ旨ヲ請求スルノデアリマス、下請人ニ對シテ催

告ヲ致シテ、扶助致シマセヌケレバ、ヤハリ元請人ガ拂ハナケレバナラヌノデアリマシテ、其結果結局勞働者ガ扶助ヲ受ケルコトガ出來ナクナルト云フヤウナ虞ハナイノデアリマス、サウ云フ風ニシテ、ドチラニデモ請求ガ出來

ル、ソレモ同ジ重サデ請求ガ出來ルト云フコトハ、權利關係ノ上ニ於キマシテ裁判ニナリマシタ時ニ力ガ強イト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、事實ヲ離レテ考ヘマス、一見ソレガ非常ニ便利デアルヤウデアリマスケレド

モ、主タル債務者ガ誰デアるかト云フコトガキマツテ居リマスコトガ、其權利

ヲ行使スル上ニ於キマシテ、殊ニ勞働者ノ扶助ト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、非常ニ必要ナノデアリマス、誰ニデモ行ケルト云フコトニ法律上キマツテ居リマシテモ、連帶責任者ノ一人

ノ所ニ行ケバアツテ行ケト云ハレ、ソツチヘ行ケト、ソナナ答ハナイト云フコトデアツテ行ケコツチヘ行ケト押問答ヲ重ネテ居テ、勞働者ノ扶助ガ十分間ニ合ヒ兼ネルト云フコトガ、事

實上起ルト思フノデアリマス、兎ニ角業務上ノ災害デアリマスカラ、扶助ヲ迅速ニ行フコトガ最も必要ナノデアリマシテ、裁判上ノ權利ヲ行使スルト云

フコトモ大事ニ違ヒナイノデアリマシテ、迅速ニ確實ニ誰ガ扶助ヲ行フベキモノダト云フコトガ分ツテ居リ、ソレ

ガ保險ノ方ニモ聯絡ヲ取ツテ行ツテ居ルノデアリマスカラ、私共此方デ參リマ

ス方ガ、本法ノ扶助ノ目的ヲ達スルノ最モ適切デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○原委員 政府委員ハイツモ此方ガ却テ實際ニ宜イノダト仰セニナリマスガ、連帶責任ノ場合デモ、責任ノ歸屬者ガ明白ニナツタ如ク、此規定ガアツテ、其方ガ實際明ニナルノダト云フコトガドウシテモ出テ來ナイ、元請ニ請求シ

ニ行ク時ハ、少クトモ下請ガ拂ハナイ場合ヲ法律ハ豫想シテ居ル、下請ガ拂

テ吳レナイカラ、始メテ元請ニ行クコトニナル、所ガ元請人ニ、下請ヘ行ケ

テハ、非常ニ必要ナノデアリマス、誰レコソアナタノ仰セラレル通りノ、本

當ニ面倒臭イコトヲ法律ニ依ツテキメテ居ルノデアリマセヌカ、アナタノ

言フ通り法律ハアツテ行ケ、コツチヘ行ケト云フコトヲ規定シテ居ル、是ガイケナイト云フノデアリマス

○吉田政府委員 此法律デ豫想シテ居ルノハ、引受ノ特約アル場合ニハ下請人ニ行ケト云フコトヲ規定シテ居ルノデアリマス、ソコデ下請人ニ對シテ請

求シテ、拂ハナイカラ元請人ニ行ケト云フ場合ニ、先ヅ下請人ニ對シテ催告

スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フハ、下請人ニ行カズシテイキナリ元請

人ニ行ツタ場合ニ對スル元請人ノ抗辯ヲ規定シテ居ルノデアリマス、先程モ

申ス通り、最初ニ下請人ニ請求シタト云フコトガ證明サレ、バ、元請人ハモ

ウ一遍下請人ニ行ケト云フコトハ言ヘナイノデアリマス

○原委員 ソコデ問題ガ起ツテ來マス、果シテ下請人ニ請求スルト云フコトハ

如何ナル範圍カ、アナタノ仰セハ葉書一本出シテ下請人ヘ一遍請求スレバ足

リルト云フコトデアルガ、葉書一本出シテ、裁判上ソレデ宜イト云フナラバ、

此規定ハ置カナイデ、反對ニ權利者タル勞働者ハ下請人ニ内容證明カ何カデ

請求シテ、一定ノ期間内ニ於テ支拂ハナイ時ニハ之ヲ元請人ニ請求スルト云

フコトヲ書ケバ明白デアリマスガ、兎ニ角裁判上元請人ニ權利ヲ持タシタコトハ、是ハ民法ノ規定ヲ見マシテモ抗辯權デアルカラ、下請人ガ拂ハナカッタト云フノハ如何ナル狀態ヲ言フノカ、是ガ吾々ニハ分リマセヌ

ナラバ催告權ナド、云フヤカマシイ規定ノ必要ヲ認メナイ、是ハ本當ノ空文ニナル、茲ニ元請人ニ重大ナル權利ヲ持タシタ以上ハ、法律上裁判上愈ノ場合ニナツタ時ニハ、サウ云フコトハ出來ナイ、結局勞働者ガ一遍デモ通知ヲ出シタナラバ、サウ云フコトハ言ヘナイト云フコトヲ、アナタバケガ仰セニナルケレドモ、裁判官ガドウ決メナケレバナラヌ、今ノ催告權、抗辯權ノ内容カラ言フナラバ、何處マデモ此催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フ、此請求權ハ如何ナルコトヲ意味スルカ、アナタデハソレガ御分リニナリマセヌカラ、司法省ノ政府委員ガ來ラレテ、法律的ノ解釋ニ依ッテ御説明ヲ願ハナケレバ、私等ハ其答辯デハ満足スルコトガ出來ナイ	テ本法ヲ御制定ニナルト云フ御精神デアルコトヲ認メテ居ル、サウスルト此法案ハ少クトモ勞働者ノ災害扶助ノ目的達成ノ爲ニ御制定ニナルトシテ、政府ハ眞ニ勞働者ヲ保護スル意味合カラ、國家ノ費用ヲ少シモ出サズニ、請負人ニ其責任ヲ持タセル、換言スレバ勞働者自身ニ責任ヲ持タセルコトニナルト思ヒマスガ、政府ハ果シテ勞働者ヲ保護スルト云フ御趣意ヲ御認メニナツテ居ルヤ否ヤ御尋ヲ致シマス	○吉田政府委員 御尋ノ點ハ本法ノ第二條ニ規定シテアリマス通り、勞働者ノ業務上ノ災害ニ限ラレテ居ルノデアリマシテ、業務上ノ事由ニ依リマシテ災害ヲ生ジタ場合ニハ、其業務ニ付テノ事業主カラ賠償ヲ致スコトガ適當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ現在工場鑛山等ニ於キマシテモ、業務上ノ事由ニ付キマシテハ斯様ニナツテ居ルノデゴザイマス、隨ッテ事業主ノ扶助責任ト云フモノヲ、此方面カラ規定シタノデアリマス、其外業務外ノ疾病負傷ト云フヤウナ種々ノ事項ガアリマシテ、其爲ニ勞働者ノ不幸ヲ見ルコトモ無論ゴザイマスノデ、ソレ等ニ對シマシテハ健康保險其他ノ社會保險ノ制度ヲ擴張シテ行キタイト云フ考ヲ以チマシテ、調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、業務上ニ付キマシテハ、本法ニ規定ス	○原委員 其點ニ付テ直接勞働者カラ金ヲ取ルト云フコトニハナツテ居リマセヌガ、例ヘバ之ヲ見マシテモ大體ノ日數カラ見テ、一日何ボト云フ割合ハ事實上勞働者ニ對シテ、少クトモ利益ヲ減ストカ何トカ云フ問題ガ、此保險法ヲ制定スルト同時ニ、起ッテ來ルト思フノデアリマス、此點ハ保險法ノ規定ガナイカラト言ウテモ、結局斯ウ云フ法律ヲ制定スル以上ハ、サウ云フコトヲ見込デ、勞働者ニ轉嫁サレルコトニナルト思フノデアリマスガ、此點ハドチラニモ解釋出來ルノデアリマシテ、兎ニ角本法ヲ制定スル以上ハ、少クトモ國家ガ相當ノ費用ヲ勞働者ノ扶助ノ爲ニ、國家自身ニ年々何ボカラ出シテヤラナケレバナラヌ、私ノ言フ點ハ、總テ保險料ニ依ッテ完成シテ行ク、國家ハ一文ノ費用ヲモ持タナイデ、ソレヲ事業主ニ掛ケテ行クト云フコトハ、結局勞働者ノ上前ヲ、保險金ヲ償フダケハネテ行クト云フコトニナル、デアルカラ少クトモ斯ウ云フ重大ナ社會立法ヲ御出シニナルナラバ、現内閣ハ殊ニ社會的方面ニ御盡シニナツテ居ルト云フナラバ、少クトモ此保險法ノ制定ニ付テハ一定ノ費用ヲ國家ガ持ッテヤル、サウシテ請負人ガ少クトモ勞働者ヲ、窘メテ行クト云フコトヲシナイヤウニシナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ付テハ、
○山邊委員長 皆様ニ申上ゲマス、理事森田政義君ガ委員ヲ辭任サレマシタノデ、其代リニ上田孝吉君ニ理事ヲ御願スルコトニ致シマシタ	○原委員 只今ノ法律問題ハ偕措キマシテ、時間ヲ空費致シマスカラ更ニ質問ヲ進メマス、勞働者災害扶助責任保險法案ニ付テバアリマスガ、此保險法ヲ御制定ニナル御趣旨ハ、政府ハ少クトモ國家ノ建前カラ見テ、一ツノ大キナ社會事業デアリ、社會問題デアルトシ	ルヤウナ建前ガ適當デアルト思ヒマス、尤モ後日は等ノ勞働者ニ對シマシテ種々ナル社會保險ノ制度ガ考慮セラレマス際ニ於テハ、此扶助責任ノコトモ其中ニ併セテ受入レ、又ハ關聯シテ問題ヲ考慮スルト云フ必要ハ無論起ルト思ヒマスケレドモ、今マデハ勞働者ノ業務上ノ災害ニ付テハ、何等扶助ノ規定ガナカッタノデアリマシテ、今度ノ規定ニ依リマシテ、斯様ナル點ガ最小限度ニ明瞭ニナツタノデアリマス	○原委員 五十六議會ノ田中内閣當時ニ出シタモノニハ、保險法ノ規定ガナカッタノデアリマス、ソレハ結局ニ於テ請負業者ニ責任ヲ持タセルト云フコトニ立脚シテ居ッタノデアリマスガ、今度保險法ヲ制定スルコトハ、結局勞働者自身カラモ、一日三錢ナリ五錢ヲ取ルコトニナルノデハナイカト思ヒマス

國家ハ之ニ對シテ此法ヲ制定スルニ付テ、國家トシテ持ツベキ所ノ相當ナル費用ヲ、御考ヘニナツテ居ナケレバナラスト思フノデアリマスガ、其點ニ付テハ如何ナル費用ヲ御見込メニナツテ居リマスカ、サウシテ之ヲ補助シテ、労働者ノ保護ニ當ラナケレバナラスト云フコトヲ、御考ヘニナツテ居リマスカ

主ニ對シテ補助ヲスルト云フコトニナルト同ジコトニナルデアリマス、無論補助ガ費ヘレバ、事業主トシテハ非常ニ結構ナコトニ違ヒナイノデアリマスガ、扶助責任ヲ自分ノ經濟ニ於テ果スト云フ義務ヲ持ツテ居ル以上ハ、サウシテソレガ保險ニ依ツテ危險ヲ分散セシムルト云フコトヲシ得ラレマス以上ニハ、是ハ事業主ニ於テ保險ニ要スル一切ノ費用ヲ持ツト云フコトハ、極メテ當リ前ノコトデアリマス、又其保險經濟ノ負擔ガ労働者ニ轉嫁サレハシナイカ、賃銀ノ減額等ニ於テ轉嫁サレハシナイカト云フ御懸念ノヤウデアリマスルガ、是ハ勿論注文主ニ轉嫁サレルト思フノデアリマス、一ツノ工事ヲ請負ツテ、保險ニ這入ラナケレバナラ

シテモ、サウ云フ仕組ニナツテ居リマスガ、此保險ハ性質ガ違ヒマス、事業主ノ扶助責任ヲ保險スルノデアリマスカラ、事業主ガ費用ヲ持ツコトハ當然デアリマシテ、此保險經濟ノ始マリマス當初ニ當リマシテ收入ヲ得ルマデノ間ノ費用ヲ、事業主ニ持タセルコトハ、事實行ヒ難クモアラウシ、又實際國家ガソレヲ持ツベキ理由ガアルト思ヒマシテ、今回ノ追加豫算ニ、ソレニ要スル準備費用ヲ要求シテアルノデアリマス、サウシテ保險經濟ガ始マリマスレバ、ズツト事業主カラ出テ來ル掛金ガ收入ニナリマシテ、サウシテ扶助ノ事實ガ起リマシタ爲ニ、出シマス現金ノ支拂ガ支出トナツテ、自給自足ヲシテ行ケルコトニナリマス

トニナリマス、極メテ資力ノ乏シイ人々ガ所謂逆選擇ト云フ作用ニ依リマシテ、資力ノ十分ナ者ハ、私ハ保險ノ厄介ニナラズ、自分デ扶助責任ヲ果スト云ツテ、保險ニ入ツテ來ナイ、資力ノ乏シイ人ノミ入ルト云フコトデアリマス、危險分散ノ趣旨ガソレダケ薄ラゲラレルノデアリマス、隨ツテ保險經濟ガ成立タスト云フ障礙ガ起ルノデアリマス、ソレデ土木建築事業ニ付キマシテハ、強制保險トシテ誰モ彼モ入ルコトニシテ、危險ヲ分散スル趣旨ヲ立派ニヤツテ行カウト云フ趣旨デ、出來テ居リマス、其他ノ事業主ニ對シテハ加入スルト否トヲ事業ノ自由ニ任セテ置イタノデアリマス

○吉田政府委員 御尋ハ他ノ一般ノ例ヘバ健康保險或ハ只今別途此議會ニ提案シテ居リマスル船員保險等ノヤウナ、保險ノ掛金ヲ労働者カラモ取ルヤウナ實際ノ社會保險ト云フヤウナ場合ニ於テハ、労働者ノ負擔ヲ輕減スル、或ハ事業主ノ負擔ヲ輕減スルト云フヤウナ趣意デ、國家ガ其一部分ヲ持ツト云フコトハ極メテ適當デアリ、只今ノヤウナ御論ガ立ツト思ヒマスガ、此場合ニ於テハ、業務上ノ事由ニ因リマシテ、災害ノ起ツタ場合デアリマスカラ、事業主ニ扶助責任ガアル、其責任ヲ容易ニ事業主トシテモ果サレ、又労働者トシテモ其責任ヲ容易ニ果シテ貰フ爲ニ、事業主ノ間ニ危險分散ノ意味デ、或ル事業主ダケガ其爲ニ多額ノ扶助金ヲ拂ハナケレバナラスト云フコトデ困

ラナイヤウニ、危險分散ノ意味デ、事業主ノ責任ヲ保險ニ依ツテ果スノデアリマス、隨テソレニ對シテ國家ガ補助金ヲ出スト云フコトハ、ソレダケ事業主ニ對シテ補助ヲスルト云フコトニナルト同ジコトニナルデアリマス、無論補助ガ費ヘレバ、事業主トシテハ非常ニ結構ナコトニ違ヒナイノデアリマスガ、扶助責任ヲ自分ノ經濟ニ於テ果スト云フ義務ヲ持ツテ居ル以上ハ、サウシテソレガ保險ニ依ツテ危險ヲ分散セシムルト云フコトヲシ得ラレマス以上ニハ、是ハ事業主ニ於テ保險ニ要スル一切ノ費用ヲ持ツト云フコトハ、極メテ當リ前ノコトデアリマス、又其保險經濟ノ負擔ガ労働者ニ轉嫁サレハシナイカ、賃銀ノ減額等ニ於テ轉嫁サレハシナイカト云フ御懸念ノヤウデアリマスルガ、是ハ勿論注文主ニ轉嫁サレルト思フノデアリマス、一ツノ工事ヲ請負ツテ、保險ニ這入ラナケレバナラ

シテモ、サウ云フ仕組ニナツテ居リマスガ、此保險ハ性質ガ違ヒマス、事業主ノ扶助責任ヲ保險スルノデアリマスカラ、事業主ガ費用ヲ持ツコトハ當然デアリマシテ、此保險經濟ノ始マリマス當初ニ當リマシテ收入ヲ得ルマデノ間ノ費用ヲ、事業主ニ持タセルコトハ、事實行ヒ難クモアラウシ、又實際國家ガソレヲ持ツベキ理由ガアルト思ヒマシテ、今回ノ追加豫算ニ、ソレニ要スル準備費用ヲ要求シテアルノデアリマス、サウシテ保險經濟ガ始マリマスレバ、ズツト事業主カラ出テ來ル掛金ガ收入ニナリマシテ、サウシテ扶助ノ事實ガ起リマシタ爲ニ、出シマス現金ノ支拂ガ支出トナツテ、自給自足ヲシテ行ケルコトニナリマス

トニナリマス、極メテ資力ノ乏シイ人々ガ所謂逆選擇ト云フ作用ニ依リマシテ、資力ノ十分ナ者ハ、私ハ保險ノ厄介ニナラズ、自分デ扶助責任ヲ果スト云ツテ、保險ニ入ツテ來ナイ、資力ノ乏シイ人ノミ入ルト云フコトデアリマス、危險分散ノ趣旨ガソレダケ薄ラゲラレルノデアリマス、隨ツテ保險經濟ガ成立タスト云フ障礙ガ起ルノデアリマス、ソレデ土木建築事業ニ付キマシテハ、強制保險トシテ誰モ彼モ入ルコトニシテ、危險ヲ分散スル趣旨ヲ立派ニヤツテ行カウト云フ趣旨デ、出來テ居リマス、其他ノ事業主ニ對シテハ加入スルト否トヲ事業ノ自由ニ任セテ置イタノデアリマス

○原委員 本法ノ内容カラ申シマシテ、強制保險ト任意保險トノ二ツニ區別セラレタノハ、如何ナル譯デアリマスカ、先ヅソレヲ伺ヒマス

○吉田政府委員 強制保險ハ御覽ノ通り、土木建築工事ニ付テヤツテ居リマス、是等ノ工事請負人中ニハ、資力ガ左程十分デナイ者ガアリ、又非常ナ大資力ヲ持ツテ居ル者モアリマス、又此種ノ事業ニ使ハレテ居ル労働者ノ數ハ、非常ニ夥シイモノデアリマスカラ、若シ任意保險ト云フコトニ致シマシテ入ル者モアリ入ラヌ者モアルト云フコ

トニナリマス、極メテ資力ノ乏シイ人々ガ所謂逆選擇ト云フ作用ニ依リマシテ、資力ノ十分ナ者ハ、私ハ保險ノ厄介ニナラズ、自分デ扶助責任ヲ果スト云ツテ、保險ニ入ツテ來ナイ、資力ノ乏シイ人ノミ入ルト云フコトデアリマス、危險分散ノ趣旨ガソレダケ薄ラゲラレルノデアリマス、隨ツテ保險經濟ガ成立タスト云フ障礙ガ起ルノデアリマス、ソレデ土木建築事業ニ付キマシテハ、強制保險トシテ誰モ彼モ入ルコトニシテ、危險ヲ分散スル趣旨ヲ立派ニヤツテ行カウト云フ趣旨デ、出來テ居リマス、其他ノ事業主ニ對シテハ加入スルト否トヲ事業ノ自由ニ任セテ置イタノデアリマス

トニナリマス、極メテ資力ノ乏シイ人々ガ所謂逆選擇ト云フ作用ニ依リマシテ、資力ノ十分ナ者ハ、私ハ保險ノ厄介ニナラズ、自分デ扶助責任ヲ果スト云ツテ、保險ニ入ツテ來ナイ、資力ノ乏シイ人ノミ入ルト云フコトデアリマス、危險分散ノ趣旨ガソレダケ薄ラゲラレルノデアリマス、隨ツテ保險經濟ガ成立タスト云フ障礙ガ起ルノデアリマス、ソレデ土木建築事業ニ付キマシテハ、強制保險トシテ誰モ彼モ入ルコトニシテ、危險ヲ分散スル趣旨ヲ立派ニヤツテ行カウト云フ趣旨デ、出來テ居リマス、其他ノ事業主ニ對シテハ加入スルト否トヲ事業ノ自由ニ任セテ置イタノデアリマス

○原委員 サウ云フコトニ致シマス、結局土木建築ノ如キ危險率ノ多イ者ハ強制的ニ入ラナケレバナラスト云フコトニナツテ來ルト、危險率ノ少ナイ者ハ入ラナイコトニナルト思フ、ソコデ茲ニ最モ重大ナル問題ガ起ツテ來ルコトハ、此土木事業ナラ土木事業ノ請負人ダケガ強制的ニ入り、其他ノ者ガ入ラナイト云フコトニナルト、此事業主ガ非常ニ大キナ保險率、即チ保險慣習ニ伴ウテ、政府ガ費用其他ヲ皆負擔センケレバナラヌノデアリマスカラ、保險ノ料率ガ非常ニ高クナツテ來ル、非常ニソレガ高クナツテ來ルコトハ、結局スル

シテモ、サウ云フ仕組ニナツテ居リマスガ、此保險ハ性質ガ違ヒマス、事業主ノ扶助責任ヲ保險スルノデアリマスカラ、事業主ガ費用ヲ持ツコトハ當然デアリマシテ、此保險經濟ノ始マリマス當初ニ當リマシテ收入ヲ得ルマデノ間ノ費用ヲ、事業主ニ持タセルコトハ、事實行ヒ難クモアラウシ、又實際國家ガソレヲ持ツベキ理由ガアルト思ヒマシテ、今回ノ追加豫算ニ、ソレニ要スル準備費用ヲ要求シテアルノデアリマス、サウシテ保險經濟ガ始マリマスレバ、ズツト事業主カラ出テ來ル掛金ガ收入ニナリマシテ、サウシテ扶助ノ事實ガ起リマシタ爲ニ、出シマス現金ノ支拂ガ支出トナツテ、自給自足ヲシテ行ケルコトニナリマス

トニナリマス、極メテ資力ノ乏シイ人々ガ所謂逆選擇ト云フ作用ニ依リマシテ、資力ノ十分ナ者ハ、私ハ保險ノ厄介ニナラズ、自分デ扶助責任ヲ果スト云ツテ、保險ニ入ツテ來ナイ、資力ノ乏シイ人ノミ入ルト云フコトデアリマス、危險分散ノ趣旨ガソレダケ薄ラゲラレルノデアリマス、隨ツテ保險經濟ガ成立タスト云フ障礙ガ起ルノデアリマス、ソレデ土木建築事業ニ付キマシテハ、強制保險トシテ誰モ彼モ入ルコトニシテ、危險ヲ分散スル趣旨ヲ立派ニヤツテ行カウト云フ趣旨デ、出來テ居リマス、其他ノ事業主ニ對シテハ加入スルト否トヲ事業ノ自由ニ任セテ置イタノデアリマス

トニナリマス、極メテ資力ノ乏シイ人々ガ所謂逆選擇ト云フ作用ニ依リマシテ、資力ノ十分ナ者ハ、私ハ保險ノ厄介ニナラズ、自分デ扶助責任ヲ果スト云ツテ、保險ニ入ツテ來ナイ、資力ノ乏シイ人ノミ入ルト云フコトデアリマス、危險分散ノ趣旨ガソレダケ薄ラゲラレルノデアリマス、隨ツテ保險經濟ガ成立タスト云フ障礙ガ起ルノデアリマス、ソレデ土木建築事業ニ付キマシテハ、強制保險トシテ誰モ彼モ入ルコトニシテ、危險ヲ分散スル趣旨ヲ立派ニヤツテ行カウト云フ趣旨デ、出來テ居リマス、其他ノ事業主ニ對シテハ加入スルト否トヲ事業ノ自由ニ任セテ置イタノデアリマス

所ハ事業主ハ自分デ保險料ヲ持ツノデヤナイ、即チ其費用ハ少クトモ勞働者ニ掛ケテ來ルコトハ當然ナノデアリマス、ソレデスカラ保險料率ト云フモノハ、非常ニ高イ保險料率ニナツテ居ル、況ヤ此表ニ於テモ其點ニ於テ政府ハ何故任意保險ト、強制保險トノ區別ヲ今少シ根本的ニ考ヘテ、保險料率ガ高クナルト云フ點ヲ豫防スルト云フ點ニ付テ、モウ少シ御考慮ニ御ナリニナラナイカト考ヘルノデアリマス

○吉田政府委員 危險率ノ多イ少イニ依リマシテ、強制保險ト然ラザルモノヲ決メタノデハナイノデアリマス、先程申上ゲタ通りニ、土木請負業ニ付キマシテハ、業態ノ性質上、中以下ノ資力ヲ持ッテ居ル人ガ澤山ニアルノデアリマス、又使用勞働者モ非常ニ多イノデアリマス、隨テ土木建築ニ付キマシテハ、特ニ其間ノ危險分散ト云フ趣旨デ、皆ニ保險ニ這入ッテ貰フト云フコトガ、保險經濟ノ上カラモ、又扶助ノ上カラモ適當デアラウト云フコトデ、土木建築業ニ付テハ強制保險ト云フモノヲヤツテ居ルノデアリマス、他ノ任意保險ノ中ニ加入スルモノ、中ニモ、保險率ノ高イモノモ又低イモノモアルノデアリマス、保險率ノ高イ業態ニ付キマシテハ、其率ニ應ジマシテ保險料ガ來マスノデ、私ハ此材料ハ私等トシテ

ハ餘程是ハ調ベナイト此任意保險ト強

○原委員 私人御尋シタ要點ハ、危險率ノ少イニ應ジマシテ保險料ガ安クナツテ來ルノデアリマス、危險率ノ多寡ニ依ッテ強制保險ト任意保險ニ分ケタノデハナイト云フコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマス

○吉田政府委員 危險率ノ多イ少イニ依リマシテ、強制保險ト然ラザルモノヲ決メタノデハナイノデアリマス、先程申上ゲタ通りニ、土木請負業ニ付キマシテハ、業態ノ性質上、中以下ノ資力ヲ持ッテ居ル人ガ澤山ニアルノデアリマス、又使用勞働者モ非常ニ多イノデアリマス、隨テ土木建築ニ付キマシテハ、特ニ其間ノ危險分散ト云フ趣旨デ、皆ニ保險ニ這入ッテ貰フト云フコトガ、保險經濟ノ上カラモ、又扶助ノ上カラモ適當デアラウト云フコトデ、土木建築業ニ付テハ強制保險ト云フモノヲヤツテ居ルノデアリマス、他ノ任意保險ノ中ニ加入スルモノ、中ニモ、保險率ノ高イモノモ又低イモノモアルノデアリマス、保險率ノ高イ業態ニ付キマシテハ、其率ニ應ジマシテ保險料ガ來マスノデ、私ハ此材料ハ私等トシテ

ハ餘程是ハ調ベナイト此任意保險ト強

○原委員 私人御尋シタ要點ハ、危險率ノ少イニ應ジマシテ保險料ガ安クナツテ來ルノデアリマス、危險率ノ多寡ニ依ッテ強制保險ト任意保險ニ分ケタノデハナイト云フコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマス

○吉田政府委員 任意保險ハ皆危險率ガ低イト仰シヤルノデアリマス、ソレトモ高イト仰シヤルノデスカ

○吉田政府委員 任意保險ハ皆危險率ガ低イト仰シヤルノデアリマス、ソレトモ高イト仰シヤルノデスカ

○原委員 任意保險ハ深イ淺イト云フコトハ申シマセス、私ノ言フノハ法律

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

○吉田政府委員 強制セラレタ者シカ入ッテ參リマセヌデモ、保險ノ經濟ハチヤント探レルヤウウニナツテ居リマス

保險ニ入ッテ來ル人ガ相當ニアルデア
ラウト當局ハ見込デ居ルノデアリマ
スルガ、強制保險ト任意保險トヲ分ケ
タガ爲ニ、保險經濟ガ持チ難クナル、
或ハ保險料ガ非常ニ高クナルト云フヤ
ウナ心配ハ、少シモナイト考ヘルノデ
アリマス、保險料ハ各事業ノ種類ニ應
ジマシテ、其危險率ノ高イ種類ノ事業
ニ付キマシテハ、保險料ガ高クナリマ
スルシ、危險率ノ低イ事業ニ付キマシ
テハ保險料ガ低クナルノデアリマス、
例ヘバ等シク土木建築ト申シマシテ
モ、隧道工事ノ如キモノト、普通建築工
事ノ如キモノトデハ、危險率ガ非常ニ

適當ニ保險料率ヲ決メルト云フ論據ニ
ハナルガ、強制保險、任意保險ヲ區別
スルノハ宜シウナイト云フ論據ニハナ
ラナイノデアリマス、ソレハ御要求ニ
依ッテ材料ヲ差上ゲテアリマス材料ニ
付キマシテノ詳細ナル説明ハ、係リノ
者カラ御納得ノ行クマデ、御説明申上
ゲサシタイト思ヒマス

○原委員 政府委員ハ任意保險ノ連中
ハ入ッテ來ナイデモ、ヤッテ行ケルト仰
シヤルガ、其數字ハドウ云フコトニナ
ルノデアアルカ、隧道工事ニ付テ、三百
六十日働ク、斯ウ云フ工事ニ付テハド
ウ云フ風ニ御思ヒニナルカ知レヌガ、
山デ働ク人間ハ一箇月ノ割合ニナッテ
來タラ、少クトモ十五日カラ二十日シ
カドウシテモ働キ得ナイ、サウ云フヤ
ウナ點カラ見テ此日數ガ三百マデ出テ
來テ居ルト云フヤウナ點ニ於テ、見積
ガ非常ニ過大デアアル、若シモ是ハ事業
日數ダト云フヤウナ工合ニ、御逃レニ
ナラウト云フコトナラバ、尙更是ガ杜
撰デアアル、斯ウ云フヤウナ内容デ茫漠
タルモノデ、サウシテ十分立ッテ行クノ
ダト云フ仰セニ對シテ、私等ハ直チニ
サウデアリマスサカト云フコトハ言ヘナ
イノデアリマスサカラ、モウ少シ明細ナル
府縣別ニシタ、サウシテ適確ナル一ツ
數字ヲ御出シテ願ヒマシタナラバ、私
等ハ満足ガ行クト思フノデアリマスサ

ラ、此點ハ私ハ府縣別ニ依ル一ツ材料
ヲ見セテ戴キマシタナラ、ソレカラ私
ハ此質問ヲ繼續シタイト思フノデアリ
マス
ソレカラ其次ニ申上ゲタイコトハ、
一寸分ラナイ點ガ一ツアリマスコト
ハ、此第四條ノ二項ニ「政府ハ前項ノ
規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ扶
助ヲ受クベキ者ニ保險金ヲ支拂フコト
ヲ得」勅令ノ定ムル所ニ依リト云フコ
トハドウ云フ内容デアリ、ドウ云フ勅
令ヲ言フノデアリマスサ、私ハ一寸分
リマセヌノデス

事ノ如キモノトデハ、危險率ガ非常ニ
違フノデアリマス、建築工事ハ強制保
險デアリマスケレドモ、危險率ハ非常
ニ低イノデアリマス、隧道工事ノ中ニ
在ッテモ危險率ノ高イモノモアルガ、橋
梁工事ノヤウナモノハ、其中間ニ位ス
ルト云フ風ニナッテ居リマス、サウシテ
危險率ノ高イニ從ッテ扶助ヲスル、即チ
危險ノ多イ種類ノ事業程、保險料ハ高
イノデアリマス、デスカラ保險料ノ料
率ノ決メ方ガ、事業ニ即シテ居ナイ、
不公平デアアル、危險率ノ高イ仕事デア
ルカドウカラ考ヘテ、ソレニ依ッテ料率
ヲ計算シテ居ッタ場合ニ、損害又ハ見込
ガ違ッテ非常ニ危險ガ生ジタト云フ場
合ニハ、保險ノ趣旨ニ反スルト云フコ
トガアリマセウ、ソレハ各事業ノ中デ

○原委員 政府委員ハ任意保險ノ連中
ハ入ッテ來ナイデモ、ヤッテ行ケルト仰
シヤルガ、其數字ハドウ云フコトニナ
ルノデアアルカ、隧道工事ニ付テ、三百
六十日働ク、斯ウ云フ工事ニ付テハド
ウ云フ風ニ御思ヒニナルカ知レヌガ、
山デ働ク人間ハ一箇月ノ割合ニナッテ
來タラ、少クトモ十五日カラ二十日シ
カドウシテモ働キ得ナイ、サウ云フヤ
ウナ點カラ見テ此日數ガ三百マデ出テ
來テ居ルト云フヤウナ點ニ於テ、見積
ガ非常ニ過大デアアル、若シモ是ハ事業
日數ダト云フヤウナ工合ニ、御逃レニ
ナラウト云フコトナラバ、尙更是ガ杜
撰デアアル、斯ウ云フヤウナ内容デ茫漠
タルモノデ、サウシテ十分立ッテ行クノ
ダト云フ仰セニ對シテ、私等ハ直チニ
サウデアリマスサカト云フコトハ言ヘナ
イノデアリマスサカラ、モウ少シ明細ナル
府縣別ニシタ、サウシテ適確ナル一ツ
數字ヲ御出シテ願ヒマシタナラバ、私
等ハ満足ガ行クト思フノデアリマスサ

○吉田政府委員 是ハ第四條ノ第二項
ノ御尋デゴザイスマネ(原委員)左様デ
ス(ト呼フ)是ハ保險契約者ヲ保險金ノ
受取人トシ、尙ホ保險契約者ト、ソレ
カラ下請人トノ間ニ特約ノアリマスル
時ニ於テハ、下請人ヲ以テ保險金受取
人トスル、即チ請負人、元請ニ對シマ
シテモ下請ニ致シマシテモ、請負人ニ
對シマシテ保險金ヲ支拂フ、扶助ヲ行
タ者ニ對シテ保險金ヲ支拂フト云フコ
トガ、第一項ノ立前トナッテ居ルノデア
リマス、是ハ扶助責任ノ保險デアリマ
スカラ、正ニ然ルベキ譯デアリマスル
ガ、併ナガラ特別ノ事情ニ依リマシテ、
此請負人ニ對シテ拂ハズシテ、直接ニ
扶助ヲ受クベキ勞働者ニ保險金ヲ支
拂フ方ガ早イト云フヤウナ、例外ノ場

合ニ於キマシテハ、此第一項ノ規定ニ
拘ラズシテ、直接ニ勞働者ニ保險金ヲ
拂フ途ヲ決メル、ソレノ詳細ナ場合等
ニ關シマシテ、勅令ノ規定デ以テ明ニ
シヨウ、斯ウ云フ趣意デアリマス
○原委員 此保險金ノ、例ヘバ此第二
條ノ「扶助責任ノ範圍及保險料率、保險
納付期日其ノ他保險料ニ關スル事項ニ
付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」保險金額
ト云フモノハ、扶助責任ト云フ此範圍
ノ内容ニ這入ッテ來ルノデアリマスサ、
保險金ト云フモノニ付テハ、ドウ云フ
ヤウナ工合ニナルノデアリマスサ

第五類第二十八號 勞働者災害扶助法案(政府提出)外二件委員會議錄 第五回 昭和六年三月十七日

○富田政府委員 扶助ノ範圍ニ依ッテ
決マルコトデアリマスガ、保險ニスベキ
扶助ノ範圍ヲ如何様ニスルカト云フコト
ハ、詳細ナコトハ勅令デ以テ規定スル、
斯ウ云フ考ヘデ、今現實ニ保險スル部
分ハ、是ダト云フコトハ申上ゲ兼ネル
ノデアリマスガ、先般モ御説明申上ゲ
マシタヤウニ、例ヘバ傷害デアリマス
トカ云フモノニ付テハ、約二週間位以
上ノ重要ナル者ニ付テ、保險ニ付スル
ノガ適當デアッテ、輕微ノ傷害等ニ付テ
ハ、直接ニ事業主カラ支拂フト云フコ
トガ適當デモアラウト云フ、大體ノ腹
案ヲ先般御話シテ居ル次第デアリマス

○原委員 ソレハ何處マデモ所謂扶助
責任ノ範圍ノ問題デアリマス、例ヘバ
一週間以上寢ナケレバナラヌカラ、之

七

ニハ金ヲ拂ッテヤルト云フコトハ、其責險金額ト云フモノハ、結局責任ヲ果ス任ノ範圍ノ問題デアリマス、デスカラ重大ノ金額ニナツテ來ルノデアリマス私ノ御尋シタイノハ、責任ノ範圍ト云ガ、此條文カラ言ッタラ保險金額ハ勅フ中ノ、今言ウタ通り一週間以上ノ傷令デ定メルノデアリマスカ、定メナイダカラ、是ハ責任ヲ認メナケレバナラスノデアリマスカ

トキマツタ上ニ、ソレカラ保險金額ト云フモノハ、結局ドウ云フ工合ニシテキメルカ、責任ノ範圍ト云フ範圍ハ、今アリマス

ノヤウナ場合ニモ、或ハ勞働者災害扶助法ニ基イテ保護シテヤラナケレバナラスト云フ責任ノ問題デアリマス、ソ見誤ッテ分リマセヌガ、其點ヲ伺ヒタイ

コデ保險金ト云フモノハ、私ノ言フノ
ハドウ云フ所デキメテ保險料率ガキマ
ルカ、保險料カキマツテ行クノカ、其金
マスガ、扶助ノ額ハ勅令ニ讓ツテアルノ
○富田政府委員 規定スベキ勅令ノ内
容ハ、御手許ニ御配リシテアルト思ヒ

額ト云フモノハドウ云フ所デキマルノ
カ、私ハ私自身ノ頭ニハツキリ分ッテ居
リマセヌカラ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ
法デ規定スルト大體同様ノ額ヲ支給ス

○富田政府委員 例へバ傷害扶助料ニル、其額ハ工場法ニ依レバ傷害埋葬遺
致シマスルト云フト、扶助料ノ額ガ其族扶助料其他御手許ニ行ツテ居ル額ガ
傷害ニ依ツテキマツテ居ルノデアリマス、將來勅令ニ依ツテ規定シヨウトスル扶

大體其傷害ノ扶助ノ額ハ工場法、鑛業助料額ナノデアリマス
法等ニ依リ其内容ヲキメル積リデアリ
マスガ、例ヘバ終身自用ヲ辨ゼザルト
是ニ止メテ置キマシテ、先刻申シマシ
タリ

云フ程度ノ傷害ニナリマスト云フト、
五百四十日分ノ扶助料ヲ出ス譯デアリ
マスガ、其終身自用ヲ辨ゼザル傷害ガ
山監督局ノ管轄ニナル所ノ砂鑛採取ニ
伴フ所ノ、サウ云フ材料竝ニ此材料ヲ

○山邊委員長 委員長カラ原委員ニ御

云フコトハ中々サウ單純ニハ出來マセヌ、幸ニ政府委員ガ其數ニ付キマシテハ詳細ナル基本ノ數ヲ持ツテ居リマスカラ、一ツ政府委員ノ御説明ニ依ツテ、御満足ヲ願ハレナイデセウカ	宇上ノ御希望ニ付キマシテ、私カラ申上ゲマス、先ヅ第一點トシテ、原委員カラノ御疑問ハ、此前田中内閣ノ時ニ出シマシタ災害扶助法ニ關聯シマシタ數字ト、今回ノ數字ノ間ニ非常ニ開キ
--	---

○原委員 私ノ言フノハ、決シテ無理ナルコトヲ言フノデハナイノデスガ、斯ウ云フ日數ガ非常ニ杜撰デアルノデア

リマス、私共隧道工事ニ付テ、三十日規模ノモノニマデ此災害扶助法ヲ適用スルカキマツテ居ナカッタ、隨テ此數字ヲ調べマスル時ニハ、規模ノ如何ヲ問テ居ル、モウ少シ詳細ナ數字ガナケレ

バ、保險法ヲ制定スルト云フコトニ對シテノ材料ハ、ドウシテモ數字ニ依ツテ示シテ戴イテ、私共ハ多少研究セヌコト、繼續ノ雇傭關係デナイモノニ於キ

トニハ、勞働災害扶助法ナラバ宜イケ
レドモ、斯ウ云フモノガ出テ來タ以上
ハ、相當調ベナケレバナラヌト思ヒマ
合ニ於キマシテハ、就業致シテ居リマ
スル工事ノ規模ノ如何ヲ問ハナイノミ

ス、詳細ナル數字ヲ持ッテオ出デニナッ
テ居ルト云フコトデアリマスガ、只今
申シマシタ砂鑛ニ關スルモノハ鑛山監
ナイデ、個人ノ家ヘ手傳ヘニ行ク左官、
若クハ斯ウ云フ大規模ノ工業ニ就業シ

督局ノ材料ヲ貰ハナケレバ、内務省タルコトガ出来ナイ、サウ云フ點ニ付テ上ゲテアリマス、隨テ實際労働者扶助

○山邊委員長　政府委員カラ、説明員
詳細ナ物カアルナラバ、數字ヲ御見セ
ニナルコトハ出來ナイノデアリマスガ
ザイマスガ、今回ノ調査ハソレト全然
方法ヲ異ニ致シマシテ、一定ノ規模、

比岡土會司長官 只今ノ京委員ノ致
テ、七所ニゴザイマスヤウニ現莫ヲキ
於キマシテ、昨年ノ十月一日現在ニ於

○原委員 サウ致シマスト云フト、保

相談シマスガ、今カラ其材料ヲ取ルト

○北岡社會局長官 只今ノ原委員ノ數

テ、此所ニゴザイマスヤウニ規模ヲキ

メマシテ、其規模ノ工事ガ幾ツアルカ
ヲ調べマシテ、其規模ノ工事ニ於テ現
ニ同日働イテ居ル労働者モ調べタノデ
アリマス、斯ウ云フヤウナ労働事項ニ
付キマシテ、一定規模以上ノモノダケ
ノ労働者ヲ調べマスル場合ニ於テハ、
此外ニ方法ハナイト思ヒマス、随テ工
場、鑛山ノヤウナ、在籍人員デナク、
現在其日ニ働イテ居ル數デゴザイマス

シテハ、非常ニ數ガ少ナイ、砂鑛區ハ
現ニ數ガ少ナクシテ、而モ常時繼續的
ニ働イテ居リマセヌ、本法ノ適用ヲ受
ケマスルモノハ常時十人以上ノ労働者
ヲ使ッテ居ルモノト云フコトデアリマ
スガ、是ニ付テハ、全國ニ於テ十以下
ノ模様デゴザイマス、其邊御諒承ヲ
願ヒマス

○原委員 只今ノ御話ハ延人員ヲ調べ
テ、事業日數ヲ加ヘタト、斯ウ云フコ
トニ通レバ通レラレルト思ヒマス
ガ、是ハ今一寸感ジタコトデアリマス
ガ、延人員ガ殖エテ來ル程人ガ變ル、
人ガ變ルカラ危険率ト云フモノハ高ク
ナツテ來ル、サウ云フコトガ起ッテ來マ
セウシ、私ノ言フノハ少クトモ府縣別
ナラバ府縣別デ表ヲ戴イテ、完全ナ材
料デナケレバ——保險料保險金額等ニ
重大ナ關係ガ起ッテ來ルノデアリマス
カラ、此點ハ相當正確ナ材料——ソレ
ダケノ證明ヲスベキモノガナケレバ、
ドウシテモ私ハ贊成スルコトガ出來ナ
イ、殊ニ此數字ダケデ行ケト言ハレマ
シテモ、行キヤウガナイノデアリマス、
此點ハ是非一ツ材料ヲ戴キタイと思ヒ
マス、ソレカラ鑛山局ニハ統計ガナク
テ、社會局ニ統計ガアルト云フコトハ、
面白イコトヲ耳ニスルノデスガ、一體
鑛山局ト云フ鑛山其モノ、管轄ノ所
ニ働ク人ノ總テノ問題ハ、全然監督ガ

ナイト云フ譯デハナイト思ヒマス、此
點ニ付テ私非常ニ曖昧デアリマスカ
ラ、鑛山局ガ鑛山ニ働イテ居ル所ノ勞
働者其他ニ、全然何等材料モ無ク何等
ノ監督モシナクシテ、サウ云フコトヲ
抛リ放シニシテ置クト云フコトハ解セ
ヌノデアリマス、併シ實例ヲ舉ゲテ見
ヤウト云ツテモ、私ハ分リ兼ネマスガ、
其點ハ労働者其他ニ關シテ一切監督ガ
ナイト御説明ニナリマス

カ、全國的ニ労働者ノ延日數ヲ知ル
場合ニ於テハ、其日ニ働イテ居ル労働
者ノ數ニ、事業日數ヲ掛ケナケレバ、
正確ナ數ガ出テ來ナイノデアリマス、
原委員ノ御話ノヤウニ、隧道工事、土
木工事ニ付キマシテハ、稼働日數ハ十
五日、二十日ト云フモノモゴザイマセ
ウ、併ナガラ若シ休ンデ居ル労働者ヲ
含メタ労働者ノ數ヲ調べタラ御説ノヤ
ウニナリマスガ、休ンダ労働者ノ數ハ
調べマセヌガ、從業日數ヲ掛ケマシテ、
一年三百日ト云フ風ニシタノデアリマ
ス、サウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒマス、
ソレカラ砂鑛業ノ點ニ付テ御質問ガア
リマシタガ、砂鑛業ニ付キマシテハ、
鑛山局ニ於テモ、鑛區ノ數ダケ分ッテ居
リマスガ、労働者ノ數トカ災害數、サ
ウ云フモノハ一切統計ガゴザイマセ
ヌ、是ハ私ノ方デ調べタ統計ガアルノ
ミデゴザイマス、此砂鑛區ニ於ケル現
在労働者ノ數、竝ニ災害ノ數ニ付キマ

シテハ、非常ニ數ガ少ナイ、砂鑛區ハ
現ニ數ガ少ナクシテ、而モ常時繼續的
ニ働イテ居リマセヌ、本法ノ適用ヲ受
ケマスルモノハ常時十人以上ノ労働者
ヲ使ッテ居ルモノト云フコトデアリマ
スガ、是ニ付テハ、全國ニ於テ十以下
ノ模様デゴザイマス、其邊御諒承ヲ
願ヒマス

○原委員 只今ノ御話ハ延人員ヲ調べ
テ、事業日數ヲ加ヘタト、斯ウ云フコ
トニ通レバ通レラレルト思ヒマス
ガ、是ハ今一寸感ジタコトデアリマス
ガ、延人員ガ殖エテ來ル程人ガ變ル、
人ガ變ルカラ危険率ト云フモノハ高ク
ナツテ來ル、サウ云フコトガ起ッテ來マ
セウシ、私ノ言フノハ少クトモ府縣別
ナラバ府縣別デ表ヲ戴イテ、完全ナ材
料デナケレバ——保險料保險金額等ニ
重大ナ關係ガ起ッテ來ルノデアリマス
カラ、此點ハ相當正確ナ材料——ソレ
ダケノ證明ヲスベキモノガナケレバ、
ドウシテモ私ハ贊成スルコトガ出來ナ
イ、殊ニ此數字ダケデ行ケト言ハレマ
シテモ、行キヤウガナイノデアリマス、
此點ハ是非一ツ材料ヲ戴キタイと思ヒ
マス、ソレカラ鑛山局ニハ統計ガナク
テ、社會局ニ統計ガアルト云フコトハ、
面白イコトヲ耳ニスルノデスガ、一體
鑛山局ト云フ鑛山其モノ、管轄ノ所
ニ働ク人ノ總テノ問題ハ、全然監督ガ

ナイト云フ譯デハナイト思ヒマス、此
點ニ付テ私非常ニ曖昧デアリマスカ
ラ、鑛山局ガ鑛山ニ働イテ居ル所ノ勞
働者其他ニ、全然何等材料モ無ク何等
ノ監督モシナクシテ、サウ云フコトヲ
抛リ放シニシテ置クト云フコトハ解セ
ヌノデアリマス、併シ實例ヲ舉ゲテ見
ヤウト云ツテモ、私ハ分リ兼ネマスガ、
其點ハ労働者其他ニ關シテ一切監督ガ
ナイト御説明ニナリマス

○富田政府委員 只今ノ御質問ハ鑛
山、鑛業法ノ適用ヲ受ケル鑛夫ニ關ス
ル事項ハ、内務省ノ所管トナツテ居ル
デアリマシテ、隨テ其扶助其他ニ關ス
ルコトハ、坑夫ニ關スル事項トシテ、
商工省ノ所管ニハ屬シテ居リマセヌノ
デゴザイマス

○原委員 併ナガラ砂鑛ト云フモノ
ハ、現ニ砂鑛ヲ採集スル事業ハ、是ハ
鑛山局ノ監督デナクシテ、アナタノ方
ノ監督デスカ

○富田政府委員 業トシテハ無論商工
省ノ所管デアリマスガ、坑夫労働者ニ
關シマスルコトハ、一般鑛山デモサウ
デアリマスガ、内務省ノ所管ニ相成ッ
テ、官制上サウナツテ、一般ノ業務ニ關
スル監督ト坑夫ニ關スル事項トハ、同
ジ一ツノ法律ノ中デモ、主管ヲ書別ケ
マシテ、兩者ノ所管ニナツテ居リマス、
事項別ニハ截然ト別ケテアルノデアリ
マス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○奥野司法書記官 恰度ソレハ催告ノ
抗辯ヲ與ヘタト同ジコトデアラウト思
ヒマス

○富田政府委員 官制上明瞭ニナツ
テ居リマス、今一寸官制ヲ持合セテ居
マセヌガ——今官制ヲ讀上ゲテ申上
ゲマスガ區別シテアリマス

○原委員 司法省ノ方ハटनाカオ出
デニナリマス

○山邊委員長 見エテ居リマス
○原委員 司法省所管ノコトニ付テ
——労働者災害扶助法案ノ第三條ノ第三
項ノ規定ノ内容ヲ御伺ヒ致シタイ、此
「前項ノ場合ニ於テ元請負人ガ扶助ノ
請求ヲ受ケタルトキハ扶助ヲ引受ケタ
ル下請負人ニ對シ先ヅ催告スベキ旨ヲ
請求スルコトヲ得」ト云フコトハ、裁
判上ノ事實權利ヲ行使スルトキニ於
テ、如何ナル形ノモノデアリマスルカ
ソレヲ伺ヒタイ

○原委員 只今ノ御説明ニ依ッテ愈、明白ニナリマシタガ、サウナリマスルト、民法上ニ於ケル檢索ノ抗辯權ナド、云フヤウナモノモ一ツモ入レナイデ、兎ニ角先ヅ下負人ニ請求セイト云フコトヲ、抗辯トシテ提出スレバ、ソレデ宜イ譯デアリマス

○奥野司法書記官 サウデアリマス

○原委員 只今ノ司法省ノ政府委員ノ御説明ニ依ッテ明白ニナリマシタ、先般來内務省ノ人ハ、通知ヲ出シテ置ケバ足リルノダト云フヤウナコトデ、明白ニ元請負人ニ抗辯權ヲ先ヅ得サセル、斯ウ云フコトニナッテ來タ、サウナルト先程言ッタヤウニ、連帶規定ト關聯シテ、此規定ヲ置クト云フコトハ、非常ニ勞働者ヲシテ不利益ニ陥ラシメル、即チ何處マデモ勞働者本位デナクテ、事業者本位デアルト云フヤウナ形ニナッテ來マシタカラ、内務省ノ政府委員ノ御説明ガ、理由ガナクナッテ來タト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ尙ホ内務省ノ政府委員ハ、本法ハ勞働者ニ不利益デアアル、隨ッテ此規定ト云フモノハ、ドウシテモ勞働者本位デ御立テニナルト云フコトニナルナラバ、此規定ハ削除シナケレバナラスト、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○奥野司法書記官 此下請負人ニ對シテ、先ヅ催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト言ッテ、即チ折辯權ヲ與ヘテ居リマスルガ、其抗辯權ノ内容ハ、下請負人ニ對シテ先ヅ催告ヲスレバ、即チ裁判上裁判外、何レデモ宜イノデアリマスガ、サウ云フ風ニ請求ノ通知ヲスレバ、ソレデ以テ十分デアッテ、ソレカラ後ノ請求ニ對シテハ、元請負人ハ催告ノ抗辯ガナイト云フコトニナルノデアリマス

○原委員 民法上ノ催告權ノ内容ハ、私等ノ從來考ヘテ居ル點ハ一定シテ居ルト思フノデアリマスガ、サウ致シマス、今司法省ノ政府委員ノ言ハレルノニハ、通知ヲスレバ宜イト、斯ウ言ハレル、通知ヲスレバ宜イト云フコトハ、下請負人ニ對シテ、金ヲ拂ッテ呉レト云フ所ノ葉書デモ出シテ置イタラ、ソレデ宜イト仰セラレルノデアリマスカ

○奥野司法書記官 結局通知ヲシタ、即チ催告ヲシタコトガ證明ガ出來ルヤウナ、例ヘバ内容證明ト言ッタヤウナ方法ニ依ッテ通知ヲスレバ、ソレデ其結果如何ニ拘ラズ、ソレデ足リルト考ヘマス

○原委員 催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ト云フコトハ、結局内容證明ナラ内容證明デ催告シタ、催告シタ以上ハ、ソレデ元請負人が責任ヲ負ハナケレバナラス、斯ウ云フ意味合デアリマスカ

○奥野司法書記官 サウデアリマス、勿論催告ヲシテ辨濟ヲ受ケレバ、勿論問題ハアリマセスガ、辨濟ヲ受ケナイ場合ニハ、サウ云フ催告ノ手續ヲシタダケデ、元請負人ニ對シテ、再ビ請求ヲ爲シタ場合ニ、元請人ハ最早直チニ應ジナケレバナライコトデアラウト考ヘマス

○原委員 サウスルト、此規定ハ從來私等ノ考トハ非常ニ違ッテ居ッテ、簡單ナ内容證明ヲ出セバ宜イト云フ規定デアッタナラバ、是ハ簡單ナ抗辯ミタヤウナモノトナッテシマフ、私等ハ此抗辯ト云フモノハ、裁判上ノ權利ノ行使ト思ヒマスガ、アナタハサウデナク、即チ勞働者ガ下請人ニ通知サヘ出セバ宜イ、斯ウ云フノデアッテ、此通知ノ點カラ見レバ、私等ハ抗辯權ハナイヤウニ考ヘマスガ、是ハ如何デアリマスカ

○奥野司法書記官 通知ト言ヒマスノハ、催告ヲ爲スベキコトヲ請求シテ、其結果下請人ニ對シテ、請求ノ通知ヲスルト云フコトヲ意味スルノデ、元請人ニサウ云フ抗辯ヲ爲スコトガ出來ルコト云フ趣旨デアリマシテ、隨ッテサウ云フ抗辯ガアレバ、先ヅ扶助請求者ガ下請人ニ對シテ拂ッテ呉レト請求スル、其請求ノ方法ハ、裁判上デモ宜シイ、或ハ裁判外ノ、例ヘバ單ナル通知ノ端

書デモ宜イト思ヒマスガ、實際問題トシテ内容證明ト云ッタヤウナ方法ニ依ッテ通知ヲ出スデアラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ方法ニ依ッテ、先ヅ請求ノ通知スレバ、元請人ノ方ニ再ビ來マス扶助ノ請求ニ對シテ、最早之ニ應ジナケレバナライコト云フ結果ニナルト考ヘマス

○原委員 此條文自體カラ見マシテ、サウ云フ論理ハ出テ來ナイノデアリマス、兎ニ角裁判上ノ問題デ、檢索抗辯デナイノデアリマスカラ、彼方ニ請求セイト云フコトハ、少クトモ請求ヲシテ、其權利ヲ實行シテ見テ、ソレガイケナカッタト云フ意味ニナラナケレバナラスト思ヒマス、サウデアリマセウ、アナタノ言ハレルノハ簡單ニ勞働者、權利者ガ通知シテ置ケバ宜イ、斯ウ云フノデアリマスガ、一方此法文自體カラ見マスレバ、何處マデモ元請人ハ彼方ニ請求シテ呉レト云フコトヲ抗辯シタ時、裁判所ハ一遍請求シテ居ルカラ宜イノダ、サウハイカナインデアリマス、此處ノ請求ト云フコトハ、權利ヲ飽マデモ實行シヤウト云フコトニナリマセウ

○奥野司法書記官 催告サヘスレバ、ソレデ足リルト考ヘマス、勿論ソレニ依ッテ辨濟ヲ受ケレバ問題ハナイデアリマセウケレドモ、辨濟ヲ受ケラレナ

イ場合ニハ、敢テ強制執行等ガ權利ノ實行ヲヤラナクトモ、請求ト云フコトニハ通知ヲ以テスレバ、ソレデ以テ足リルモノト考ヘマス、此點ハ丁度補償ノ場合ノ催告ノ抗辯ト同様ニ考ヘテ居リマス

○**原委員** サウ云フ工合ニ簡單ニスルナラバ、此條文ハ殆ド空文ダト考ヘマス、簡單ニ通知サヘスレバ宜イト云フガ、催告ノ場合ハ檢索抗辯ヲシテ、尙ホ實行不可能ノ場合デアアル、催告ノ内容ハ此法ニ規定サレテ居ルガ、檢索抗辯シタゲデバ、彼方ニ行ッテ請求セヨ、俺ハ受ケラレナイト云ッテ、何處マデモ列ネテシマフ、此方ニ請求スレバ、彼方カラ金ヲ取レト云フ、サウ云フ風ナコトニ何處マデモナリハセヌカト思ヒマス、デスカラ若シ催告デナクテ、簡單ニ端書デ通知シタラ宜イト云フコトニナレバ、愈、三項ノ規定ハ全ク要ヲ爲サナイモノニナッテシマフ、ソレナラバ尙更斯ウ云フモノヲ置イテ置ク必要ハナイ、元請人ノ所ニ行ッテモ取レナイ、而モ下請人ノ所ニ行ッテモ取レナイト云フヤウナ問題ガ起ッテ來ル、是本當ノ事實問題ニシタナラバ、下請負人ノ帳場ニ行ッテ、金ヲ呉レト言ヘバ呉レルノデアアルカラ、其位ノコトハ直接元請負人ノ所ヘ來ル筈ガナイ、ソレデ此内容ニハ、非常ナ疑ガアルト

思ヒマス、若シソノ簡單ナモノデアッタナラバ、三項ノ規定ハ全ク空文ニ終ルノデアアリマスカラ、サウ云フ簡單ナモノデアッタナラバ、事實上不必要ト思ヒマスガ、如何デスカ

○**奥野司法書記官** 補償ノ場合ト違ヒマシテ、抗辯ヲ認メテ居ラナイ結果、解釋ト致シマシテハ、サウ云フ強制執行ガ出來ルコトヲ獎勵スルマデノ手續ハ必要デナイノデ、唯催告ヲシロト云フコトヲ請求スルコトガ出來ルダケデ、而シテ之ニ基イテ一應催告スレバ、其結果辨濟ヲ得ラレナクトモ、即チ強制執行ヲヤラナクトモ、又再ビ元請負人ニ對シテ請求シタ場合ニハ、最早元請負人ガ直ニ辨濟ヲシナケレバナラス

ト云フヤウニ、此規定ノ上カラノ解釋上デハサウナルモノト考ヘマス

○**原委員** ソレデアアルカラ、此規定ハ極ク單純ナ、アッテモナクテモ宜イ、本當ノ效果ノナイ規定デアアル、斯ウ云フコトニ私ハ解スルコトニナリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマス

○**吉田政府委員** 效果ノ點カラ申スト、非常ニ效果ガアリマス、元請負人ト下請負人トノ間ニ於キマシテ、特約ガアル場合ニハ下請負人ガ事業主ニナッテ居ルノデ、其順位ヲ決メマシテ、ソレデ無論事實ノ問題ガ一致シマス、元請負人ト下請負人トアリマス場合

ニ、順位ヲ此三項ニ依ッテ明ニシテ居リマス、ソレハ事實ニ基イテ居ルノデアリマシテ、多ク下請負人カラ絶對ニ受ケラレナイト云フ所マデ突詰メテ、強制執行其他ヲシナケレバイケナイト云フコトニナリマス、勞働者ハ金ヲ取ルニモ手間ガ掛ルノデアリマスカラ、全然下請負人ヲ拔キニシテ、元請負人ニ行ッテ場合ニ於キマシテハ、催告スベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ルト云フコトニスルノガ、此法ヲ設ケマシテ趣旨デアリマス、事實サウナッテ居ルカラ、サウ云フモノハ必要ナイト云フ意味ニハナラヌト思ヒマス

○**原委員** 其點ニ付キマシテハ、結局連帶責任ノ規定ヲ省イタガ爲ニ、サウ云フ規定ヲ設ケテ行カウト云フコトニナルト思ヒマスガ、此以上之ニ對スル質問ハ打切りマス、ソコデ先ニ申上ゲマシタ保險料率ニ關スルモノ、其他私ノ只今要求致シマシタ災害扶助法ニ基ク負擔ノ推定ノ材料ニ付テ、府縣別竝ニ官制其他ヲ御覽ニナッテ結果、監督局ノ方ニ材料ガアリマスナラバ出シテ戴キタイ、其上デ私ノ質問ヲ續ケルコトニ致シマシテ、私ハ此際質問ヲ留保致シマス

○**富田政府委員** 官制ノ點ハ、只今手元ニ官制ガアリマスカラ申上ゲマス、社會局ノ官制ノ第一條ハ

第一條 社會局ハ内務大臣ノ管理ニ屬シ左ニ掲グル事務ヲ掌ル

一 勞働ニ關スル一般事項
二 工場法施行ニ關スル事項
三 鑛業法中鑛夫ニ關スル事項
四 工業勞働者最低年齡法施行ニ關スル事項

ト云フコトニナッテ居リマシテ、工場法ハ全部デアリマス、ソレカラ鑛業法中ニ付テハ、鑛夫ニ關スル事項ハ内務大臣ノ所管ニナッテ居リマス、其他直接、鑛業法中ニ規定ガアリマセヌデモ鑛業勞働者ノ最低年齡ニ關スルコト、一般勞働ニ關スル事項ハ、内務大臣ノ主管ニ屬スルト云フコトニ官制ガ定メラレテアリマス

○**東條委員** 今原君カラ言ハレマシタ材料ノ中ニ、鑛山局關係ノモノデ――鑛務署デ各鑛業者ニ對シテ事業ニ關スル明細ナル報告ヲ徴シテ居ル、是ハ唯勞働者ノ數トカ何トカ云フヤウナ單純ナモノデハナクシテ、事業ノ内容ニ付テノ明細ナル報告書ヲ必ズ義務トシテ報告サセテ居リマス、此報告書ニ依リマスト、例ヘバ鑛業ニ關シ何日何人ト云フヤウナ延人員ノ報告ガ明ニアル、ソレノ集計シタモノガ確ニナケレバナラス筈ダト思ヒマスガ、私ハ實際官廳ノ中ノ取扱ノコトハ知りマセヌ、鑛務署ダケガ集メテ、鑛山局ニハ報告ニナッテ

居ラヌカモ知レマセヌケレドモ、鑛務署デハ確ニ報告ヲ集メテ居リマス、之ヲ御調べ下サツテ、若シ鑛山局ニ集計サレタモノガ來テ居リマスナラバ戴ケルヤウニナルガラウト思ヒマスガ、鑛山局デハ御調べニナツタノデアリマスガ

○山邊委員長 一寸速記ヲ止シテ……〔速記中止〕

○山邊委員長 ソレデハ午後一時マデ休憩致シマス
午後零時二十分休憩
午後三時十八分開議

○北岡社會局書記官 只今御質問ノ鑛業明細書ハ固ヨリ、鑛山監督局ニ出テ居リマス、ソレハ一般ノ鑛山ニ付キマシテハ詳細ナル統計ガ出テ居リマスルガ、砂鑛ニ付キマシテハ鑛業ノ趨勢ノヤウナ統計ノ中ニ這入ッテ居リマセヌ、特ニ社會局デ調べマシタ數字ハアリマスガ、ソレニ依レバ最近ノ砂鑛業ト云フモノハ非常ニ少イ、常ニ繼續シテ砂鑛業ヲヤツテ居ルモノハ極メテ少イ、餘程長イモノデモ一年ノ中ニ百五六十日トカ百八十日ノ期間ヤツテ居リマスモノハ、私等ノ局ニハ統計ガアリマセヌ、從テ本法ノ適用ガドウナリマスガ、尙カ施行ノ問題デアリマスカラ、ハッキリ申上デラレマセヌ

○高見委員 午後三時十八分開議
○山邊委員長 ソレデハ休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス
○高見委員 私ハ後カラ來タモノデアリマスカラ或ハ質問ガ重複ニナルカモ知レマセヌガ、簡單ニ答辯シテ貰ヘバ結構デス、ソレハ先ヅ第一條ノ第二ノ點ノ「土木工事又ハ工作物ノ建設、保存」云々ト云フノガアリマスガ、是ハドウモ讀ンデ見ルト案外ニ土木工事ノ種類範圍ガ非常ニ限局サレテ居ルヤウニ思フデスガ、先ヅ勅令ノ定メル事項ト云フモノハドウ云フヤウナモノデス

○吉田政府委員 御尋ノ點ハ是ハ勅令ノ内容ヲ詳細ニ規定スル見込デアリマスガ、只今ノ見込ト致シマシテハ勞働者ノ使用延人員千人以上ノ工事又ハ工事ノ費用、詰リ工事請負金額一萬圓以上ノモノ、但シ二階建以下ノ木造住宅ノ工事ハ除ク、是ハ危險ガ少イカラト云フ意味デアリマス、ソレカラ危險ナ工事ト致シマシテ今ノハ規模デ制限シテアリマスガ、火藥類、動力ニ依リ運

轉スル機械、若クハ運搬ノ用ニ供シマルニ軌道ヲ用キルモノデ、工事期間三十日ヲ越ユルモノ、地上十米突、地下三米突以上ノ工事ヲ行ヒマスルモノデ、工事三十日間ヲ超ユルモノト云フヤウナコトヲ勅令ニ於テ指定スル見込デアリマス
○高見委員 サウシマスルト、普通色ノ工事デ金額一萬圓ニ相當スルヤウナ事業、普通サウ云フ仕事ヲヤルノハ之ニ當ル、一般普通ノ土木工事、建築工事ハ皆之ニ當ルト見テ宜シウゴザイマスガ
○吉田政府委員 今ノ規模ハサウ云フ狙ヒ所ヲ決メテアリマスカラ、サウ御考ニナツテ宜シウゴザイマス
○高見委員 サウ致シマスルト、普通土木工事、又ハ工作物ノ建築、殊ニ鑛業法ト工場法ヲ除イタ普通ノ土木請負ヤツテ居ル勞働者、使用人、使ハレテ居ル勞働者ヲ一般的ニ見テ見マスルト、日本全國ヲ通ジテ大體溫情的ノ生活ヲシテ居ル、サウシテ無賃ノ宿泊所トカ、或ハ一時立ン坊ト云フヤウナ生活ヲシテ居ル者ニ於テハ、勞働者ト雇主トノ間ハ、唯市役所カラ來テ連レテ行カレルト云フヤウナ關係ニ於テハ、雇主ハ何人デアアルカ知ラナイケレドモ、通常此土木請負業ト云ヘバ、平常カラ生活ノ保障モシテ居ルシ、雨ノ降

ル日ニハ賃銀モ貸シテヤルト云フ親分子分ノ非常ナ深イ關係ガ土木請負業者ニハアル、國粹會トカ云フヤウナ者モ主トシテ土木ノ請負業者ニ關係シテ居ル、今ノ日本ノ國粹ハ、親分子分ノ詰リ忠君愛國ノ忠ト云フ意味ハ、國粹ノ根本デアリマス、デアアルカラ土木業者ト云フモノハ場合ニ依テハ、親分ノ爲ニハ如何ナル犠牲ニモ立ツト云フ、昔ノ日本人ノ大和魂ト云フモノガ茲ニ現ハレテ、日本ノ土木請負業者ト云フモノハ其間溫情的デ、他ノ勞働者ナドト大分段ガ違フヤウニ思フ、ソレニ對スル工場關係ヲ見マスルト、下請人ガドウシタトカ、權利ヲ認メサセルトカ、何トカ云フコトガアツテ、土木ノ請負業者ノ親分子分ノ關係ヲ冷酷ニスル、斯様ナ嫌ガアルモノデハナイカ、今日ノ現狀ニ於テ、又今日私共ガ土木ノ選舉ノ關係等デ田舎ニ於テモ、大阪、東京ニ於テモ、非常ニ溫情的ノモノヲ見ルノデアリマス、此關係ヲ法律デ制定スルノハ、寧ロ普通ノ鑛山トカ工場勞働者ニ適用スルモノデ、ドウモ少シク現在ノ事情ニ適用サレヌ法律デアルヤウニ考ヘルガ、此點ヲ聞イテ見タイト思フノデアリマス
○吉田政府委員 御話ノ如キ使用者ト、又ソレニ使用セラレマス勞働者ノ間ノ美シイ關係ト云フモノハ、ソレハ

決メル譯ニ參リマセヌ

最モ望マシイコトデアリマス、工場、
鑛山等ニ於キマシテモ、サウ云フ關係
ニ立ッテ居ルコトガ多クアルコトハ御
承知ノ通りデアリマス、土木ノ親方等
ニ付テモ只今御話ニナリマサウナ關
係ノコトモゴザイマスガ、此法律ニ依
リマシテ、ソレ等ノ人々ノ間ニ於キマ
シテ、最小限ノ是ダケト云フ例ヘバ是
ハ扶助ノ内容ノ時ニ又御質疑ガアラウ
ト思ヒマスガ、各種ノ場合、終身扶養
ヲ辨ジ難イ場合、色々ナ傷病手當、埋
葬料デアリマス、サウ云フモノ、
最小限度ヲ決メテアリマシテ、是ダケ
ハ労働者ノ權利トシテ、又使用者ノ義
務トシテ、支拂ヲスルノデアルト云フ
コトヲ確保致シマセスケレバ、現在ノ
實情ニ於キマシテ左様ナ立派ナ温情ノ
行ハレテ居ル所モアリマセウケレド
モ、全體トシテ労働者ノ福利ヲ保持ス
ル上ニ於キマシテ十分デナイト考ヘマ
シテ、斯様ナ立法ヲ致スノデゴザイマ
ス、尙ホ是レ以上或ハ是レ以外ニソレ
等ノ事業ガアリマシタ場合ニ、雇主ガ
雇人ニ對シテ溫イ情誼ニ基キマシテ、
色々便宜ヲ圖リ、世話ヲシテヤルト云
フコトハ、決シテ排斥スベキモノデハ
ナイノデアリマス、是ダケノモノガゴ
ザイマセヌト云フト立法制定ニ付テ御
説明申上ゲマシタ通り、工場鑛山等ノ
労働者、或ハ今回提案ニナッテ居リマ

ス、船員ト云フヤウナモノニ比シマシ
テ、所謂屋外労働者ト云フ方ハ殆ド不
完全デアリマシテ、現在官業ニデモ從
事シテ居ルモノハ、官業ニ從事シテ居
ル故ヲ以テマシテ別ニ扶助ノ規定ガゴ
ザイマスガ、ソレ以外ノモノハ扶助ノ
爲ノ規則ト云フモノハナシニ、ホンノ
手心ニ任セテアルノデアリマス、無論
御話ノヤウナ心持カラ十分ナコトラシ
テヤル事業者モゴザイマス、是等ノ人
ハ此法ガ制定セラレタカラト云ッテ、別
ニ今マデヨリ辛イ義務ヲ課セラレルト
云フコトハナイノデアリマス、併シ此
法律デ要求シテ居リマスルダケノ限度
ニモ達シテ居ラナイモノガ非常ニ多イ
ノデアリマス、ソレ等ノ不幸ナ労働者、
殊ニ御話ノ中ニモアリマシタヤウニ種
種雇主トノ間ニ繼續的ニ雇傭關係ニ
立ッテ居ラナイ者、本法ニ規定シテアル
種類ノ労働者ニ對シマシテハ、殊ニ業
務上ノ災害ヲ受ケマシタ場合デモ、扶
助ガ行渡リ兼ネルヤウナ實狀デゴザイ
マスノデ、大體工場法、或ハ鑛業法ニ
基イテ出マスモノトノ間ニ權衡ヲ取リ
マス意味デ、此條項ヲ決メルノデアリ
マス、決シテ温情ヲ破壊スルト云フ意
味デハゴザイマセヌ、併ナガラ法律ヲ
以テ是ダケノコトラ規定シテ置クモト
ハ、少クトモ今日ノ時勢カラ緊急已ム
ベカラザルモノト考ヘテ立案ヲシタ次

第ゴザイマス
○高見委員 ソコデ私ハ一寸聞イテ見
タイガ、労働者ト云フガ、此労働者ト
云フ範圍ハドウ云フ程度ガ労働者ノ範
圍デアリマス、此法律ニ基ク労働者
ノ定義ハ、ドノ程度マデノ労働者ノ範
圍デアリマス
○吉田政府委員 ソレハヤハリ雇傭契
約ニ基キマシテ、事業主ニ雇ハレマシ
テ、勞務ニ服シマス肉體労働者ノ意味
デアリマス、労働者ト云フコトノ意味
ハ、各種ノ法律ヲ通ジテサウ云フ意味
ニ使ハレテ居リマスガ、本法ニ於テモ
サウ云フ意味デアリマス
○高見委員 サウシマス、今日労働者
ト云フモノハ、肉體ヲ提供シテ仕事ヲ
シテ居ル、其時ノ狀態カラ見テ労働者
ト云フノデアッテ、例ヘバ東京市役所ニ
出掛ケテ労働者ノ證明ヲ貰ッテ來ル、或
ハ大體主トシテ労働ノ仕事ヲヤッテ居
ル證明書ヲ貰ハナクテモ、何處カノ宿
屋ニ何時モ泊ッテ、日々労働者ノ仕事ヲ
スル者ト云フヤウナ、何カ區別ガナイ
ノデスカ、又食フニ困ッテ、立派ナ大學
ノ學生ガ一般ノ労働ニ出テ居ルト云フ
ヤウナ者デモ、労働者ト云フノデアアル
カ、其範圍ヲ伺ヒタイ
○吉田政府委員 只今ノ謂ハ、労働者
ノ定義デアリマスガ、之ヲモウ少シ御
尋ノ趣旨ニ從ッテ細カク申シマス、第

一ニハ、事業主トノ間ニ雇傭關係ノア
ルコトガ必要デアリマス、報酬ヲ貰ッテ
雇ハレテ働イテ居ルト云フコトガ必要
デアリマス、雇ハレテ居リマス限リハ、
其雇傭關係ハズツト繼續的ニ數箇月或
ハ數年引續イテ居リマセウトモ、或ハ
一時的ナ、アナタノ仰シヤルヤウナ日
雇労働者デアリマシテモ、共ニ雇ハレ
テ居ルト云フ以上ハ、此労働者タルコ
トヲ妨ゲナイノデアリマス
○高見委員 サウスルト本條ノ労働者
ハ、タッタ一日學生ガ日當ヲ貰ッテモ、ソ
レハ労働者ト御解釋ニナルノデスカ
○吉田政府委員 雇傭關係ノ下ニ働キ
マスレバ、ソレデモ宜シウゴザイマス
○高見委員 此際ニ一寸社會局トシテ
ノ御解釋ヲ承ッテ置キタイコトハ、今ノ
労働者災害扶助法ノ労働者ノ定義ハ能
ク分リマシタケレドモ、一般的社會政
策ニ基ク總テノ労働問題ニ關スル労働
者モ、社會局ハサウ云フ風ニ御解釋ニ
ナッテ居ルノデアアルカ、又サウ云フ時ニ
ハ、特別ノ自由労働者或ハ登録労働者
ト云フヤウナ形容詞ノナイ限リニ於テ
ハ「テクニカル・ターム」トシテ、總テ
ノ労働者ト云フ時ハ、社會局デ御決定
ニナッテ居ル労働者ノ意味ヲ、局長ノ御
言葉通り解釋シテ宜イカ、又或ル法條
ニ依ッテハ、自由労働者ヲ含ム労働者ノ
説明モアリ、或ル法條ニ依ッテハ登録ダ

ケノ勞働者モアルガ、只今政府委員、カ
ラ御説明ニナリマシタヤウナ色々ノ場
合ガアルカナイカ、ソレヲ參考マデ承ッ
テ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 我國ニ於テ法律ニ勞

働者ト云フ字ヲ用ヒマス場合ニ於テ
ハ、只今私ノ申シマシタ意味ニ一般ニ
ハ用ヒテ居リマス、但シ勞働會議ノ國
際條約等ニハ、モウ少シ廣イ意味デ、
知能勞働者ト云フヤウナ者モ含メテ書
ク場合ガアリマスガ、我國ノ法律上ノ
用語トシテハ、只今申シタヤウニ、雇

傭關係ノ下ニ立ッテ他人ニ雇ハレテ肉
體勞働ニ從事スル者ヲ勞働者ト云フ、
斯様ニ心得テ居リマス、併ナガラ將來
何カノ事柄ニ付テ立法致シマス場合ニ
於テハ、立法ノ目的トスル所ニ依ッテ、
勞働者ノ見解ガ或ハ只今申上ゲタコト

ト變ッテ用ヒラレルコトガアルカモ知
レマセヌガ、全般ノ問題トシテハ、只
今申シマシタヤウナ解釋デアルト心得
テ居リマス

○高見委員 ソコデ一寸聽イテ置キタ

イコトハ、只今ノ勅令ニ定メル程度ハ、
一萬圓ダトカ、延人員ノ仕事ト云フ方
面カラ御覽ニナッテ居ルノデアルガ、玆
ニ大キナ請負主ガアッテ、澤山ノ勞働者
ヲ家ニ置イテ居ル、其者ガ一寸頼マレ
テ近所ノ堤防ヲ直シテ呉レ、其金額ハ
三千圓カ二千圓デアアル、ソレカラ其延

人員ハ五十人カ百人デ宜シイ、サウ云
フ仕事ヲシテ居ル時ニ勞働者ガ怪我ヲ
シタサウスルト是ハ勞働者災害扶助法
ニ掛ラナイノデスカ、ソレヲ承リタイ

○吉田政府委員 勅令ヲ以テ定メマス

場合以外ノ仕事ニ從事致シマス場合ニ
ハ、此扶助法ノ義務トシテノ扶助ハナ
イノデアリマス、其場合ニ於キマシテ
ハ、民事上ノ關係トシテ、現在ト同ジ
ヤウニナルノデアリマス

○高見委員 ソレダカラ勞働者ノ建前

カラ見ルト、此法律ハ餘リ今日ノ日本
ノ現狀ニ適シナイ法律デハナイカと思
フ、何トナレバ、今日ノ請負ヤッテ居
ル大キナ請負主ハ、一ツノ事務所ヲ持ッ
テ其處デハ何百萬圓ト云フ大キイ仕事

モヤル代リニ、何千圓、何百萬圓ト云フ小
サイイ仕事モヤル、ソコデ小サナ仕事ヲ
ヤッテ居ル時ニ、其雇ハレタ勞働者ガ怪
我ヲシタ、所ガ其仕事ハ一萬圓ノ金ニモ

ナラズ、又ソレ程大キナ延人員モナイ仕
事デアルカラ、此勞働者災害扶助法ニハ
掛ラナイ、君等助手ニヤレト云フノデ、
五十錢カ一圓位ヤッテモ宜イシ、場合ニ

依レバヤラナクテモ宜イ、サウ云フ屁理
窟ガ起ル、今日折角今工場法トカ若クハ
——キナ鑛山ノ仕事ヲヤッテ居ルヤウ
ナ所ハ、主人ノ顔モ知ラナケレバ誰ガ
主人ダカ分ラヌカラ、勞働者ト工場主
トノ間ニ災害扶助ノ獨立ノ法律ヲ置ク

必要モアル、併ナガラ今申上ゲタ如ク
實際ニ土木請負者トシテ土木工事或ハ
工作物ノ工事ヤッテ居ル者ハ、相當
ノ者ハ皆家ノ勞働者ヲ使ッテ居ル、是ハ

○吉田政府委員 寔ニ御尤ナ御尋ト存

ジマス、出來マスルコトナラバ當局
ニ於キマシテモ、ドンナ小サナ工事ニ
於テモ苟モ他人ニ雇ハレテ居ル勞働者
ガ業務上災害ヲ受ケマシタ場合ニ於キ

マシテハ、ソレニ何等カ法律上ノ根據
ヲ得ルヤウニ致シテヤリタイト云フコ
トハ、私共同ジ希望ヲ持ッテ居ルノデア
リマスガ、斯様ニ致シマシテ法律ニ依

リマシテ扶助ノ金額ヲ定メ、尙ホ保險
ノ方法ヲ取ッテヤリ一定ノ扶助ノ限界
ヲキメルト云フコトニナルト、ドウシ
テモ何等カノ方法ニ依リマシテ事業規

模ト云フモノニ制限ヲ設クルコトハ已
ムヲ得ナイノデアリマス、工場法ニ於
キマシテモ御承知ノ通り一定ノ人數以

下ノモノニ付キマシテハ、工場法ヲ適
用致シテ居リマセヌ、又只今ノ請負工
事以外ニ於キマシテモ、第一條ノ中ニ
アリマシヤウニ御承知ノ如クデアリマ
スガ、土石、砂鑛ヲ採取スル事業ニシ

テ動力若ハ火藥類ヲ用ヒルヤウナ危険
程度ノモノ、若ハ地下ニ於テ作業ヲ爲
ス者、又八十人以上ノ勞働者ヲ使用ス
ル者、是ハ只今ノヤウナ御話ノ點カラ

○吉田政府委員 寔ニ御尤ナ御尋ト存

ジマス、出來マスルコトナラバ當局
ニ於キマシテモ、ドンナ小サナ工事ニ
於テモ苟モ他人ニ雇ハレテ居ル勞働者
ガ業務上災害ヲ受ケマシタ場合ニ於キ

マシテハ、ソレニ何等カ法律上ノ根據
ヲ得ルヤウニ致シテヤリタイト云フコ
トハ、私共同ジ希望ヲ持ッテ居ルノデア
リマスガ、斯様ニ致シマシテ法律ニ依

リマシテ扶助ノ金額ヲ定メ、尙ホ保險
ノ方法ヲ取ッテヤリ一定ノ扶助ノ限界
ヲキメルト云フコトニナルト、ドウシ
テモ何等カノ方法ニ依リマシテ事業規

模ト云フモノニ制限ヲ設クルコトハ已
ムヲ得ナイノデアリマス、工場法ニ於
キマシテモ御承知ノ通り一定ノ人數以

下ノモノニ付キマシテハ、工場法ヲ適
用致シテ居リマセヌ、又只今ノ請負工
事以外ニ於キマシテモ、第一條ノ中ニ
アリマシヤウニ御承知ノ如クデアリマ
スガ、土石、砂鑛ヲ採取スル事業ニシ

デナイト一般ニ命ズルト云フコトハ無
理ニナツテ來ル、又土木工事ニ付キマシ
テモ、丁度御話ノヤウナ國道府縣、市
町村又ハ勅令ヲ以テ指定スル公共團體
ノ直營工事、或ハ又鐵道、軌道、索道
ナドノ運輸事業、或ハ水道電氣若ハ瓦
斯ノ事業ヲ營ム者ガ、公共團體ト云フ
事業主體ガアリマシテ、自分ノ事業ノ
爲ニ直營ノ工事ヲヤル、其事業主體ニ
於テ賠償ヲ致シマスコトハ無理デア
ル、是モ規模ヲ問ヒマセヌ、其他ノ事
業ハ先程例トシテ茲デ申上ゲマシタ主
トシテ請負ニ掛ルモノ全體ノ問題トシ
テ考ヘマス、請負工事ヲサレル前ハ
請負人ガ註文者カラ貰フテ、其金額ノ範
圍内デ工事ヲヤルノデアリマシテ、無
論請負人ノ中ニハ資力ノ豊富ナ何々組
ト云フ大キナ者モアル、是ガヤハリ下
請ト云フヤウナ者ニ數次ノ下請ニ依ッ
テ下請ヲサシテヤルト云フ場合モア
ル、請負人自體ノ資産ニ依リマシテ其
限度ヲキメルト云フコトニナルト、法
律ヲ以テキメル上カラハ非常ニムヅカ
シイ、請負者ノ不正直ナ者ハ出サヌ正
直ナ者ハ出スト云フヤウナコトニナッ
テハ中々公平ヲ期シ難イノデ、請負工
事ニ付キマシテハドウシテモ工事金額
或ハ工事期間ト云フヤウナ、工事其モ
ノ、規模デ問題ヲキメマス以外ニハキ
メヤウガナイノデアリマス、此法律ハ

今度新シク出來マスガ、ズット前カラ研
究ヲシテ居リマシタノデ、此點ニ付キ
マシテハ地方々々ノヤリマスモノ、或
ハ水道ノ組合ノヤル大キナ事業主體
デ、直營主體デナイ場合ハ、ドウシテ
モ賠償ノ義務者ヲ請負人トスルト云フ
コトハ、一ツノ請負ノ仕事ノ規模
ノ大小長短、其請負ノ仕事ノ或ハ木造
ノ二階建ノ小サイ工事トカ、一定ノ限
度ヲ工事ニ付ケマセヌケレバ、外ニ付
ケル良法ハナイノデアリマス、ソレガ
爲ニ只今申シタヤウナ、使用労働者延
人員千人以上、工事費一萬圓以上ノモ
ノト云フ風ナ限界ヲ以テ扶助ノ制限ヲ
キメタノデアリマシテ、法律ニ依ッテ義
務ヲ強制スルニハ是レ位ノモノデナケ
レバ無理デアラウト云フ考カラ出テ居
ルノデアリマス、此限度ヲ千圓以上ニ
シタラドウカ、一萬圓以上ハ少シ安過
ギルトカ、或ハ高過ギルト云フヤウナ
コトニ付テハ、ソレハ程度ノ問題ト思
ヒマスカラ、御議論モゴザイマセウト
思ヒマスガ、現在ノ土木建築界ノ狀況、
又土木建築ノ大小、土木建築ヲシテ居
ル人々ノ意見等ヲ十分斟酌致シマシ
テ、是位ノ限度ガ適當デアラウト考ヘ
テ居リマス、尙ホ勅令ノ規定ニナルマ
デハ此點ハ能ク考慮致シマスケレド
モ、私共ハ此點ハサシテ議論ハナカラ
ウカト考ヘテ居リマスガ、御質問ノ御

趣旨ハ寔ニ御尤ダト思ヒマス、斯様ナ
扶助責任ヲ事業主ノ義務トシテ規定ス
ルト云フコトニナルト、何等カノ限界
ヲ置カナクテハナラナイ、請負工事ニ
付キマシテハ、ドウシテモ工事ノ規模
ト云フヤウナモノデヤルヨリ仕方ガナ
イト思ヒマス

ハ少シ形ガ大キ過ギルト思ヒマスガ、
モウ少シ金額モ小サクシ、延人員モ少
クシテ、サウシテ一方ニハ從來ノ關係
者デアツテ、多少ノ税金モ納メ、一年ナ
リ二年ナリ連續シテ労働ヲヤッテ居ル
雇傭關係ニモ之ヲ及ボスヤウナ工合ニ
シテ、本當ノ温情主義ヲ徹底スルヤウ
ニスルコトヲ當局ハ御考ニナラヌノデ
アルカ、ヤハリ前説ヲ御主張ニナルカ
一寸ソレヲ聽イテモ見タイ

○高見委員 少シ諄イヤウニ思フケレ
ドモ、ドウモ私ノ言フ意味ハ尤ダト御
解釋ニナツテ居ル、併ナガラ法律規則ノ
上デ取ラレルナラバドウモ已ムヲ得ナ
イ、斯ウ仰シヤルガ、ソレデハ斯ウ云
フ二ツノコトヲ聞イテ見タイト思フ、
先ヅ第一ニ今申上ゲタ如ク財産一萬萬
圓カラノ大キナ請負ノ商賣ヲシテ居
テ、ソレガ非常ニ澤山ノ労働者ヲ先祖
代々使ツテ來タ、然レニソレガ小サイ事
業デ一萬圓以下デ延人員十人以下ノ仕
事ヲヤッタ時ニハ、此法律ハ温情主義ヲ
破ルモノダト思フガ、何カアナタノ御
意見ガアレバ聽イテ置キタイ、或ハ直
接國稅幾ラ納メテ居ル者デ、サウシテ
其下ノ労働者デ何年カ引續イテ其家ニ
代々居ルヤウナ者ニ對シテハト云フ一
箇條ヲ入レタラ如何デスカ、ソレカラ
モウ一ツハ、此法律ニ對スル勅令案ヲ
作ラレタノハ、何時頃カ知ラヌガ近來
ハ物價モ非常ニ安クナツテ居ルシ、社會
ガ不景氣デ仕事ガ幾ツモノ分レルヤ
ウナ感ガアルガ、一萬圓ノ工事ニ千人

○吉田政府委員 請負工事ト云フノハ
先程申シマシタヤウニ、臨時的ノ一ツ
一ツ切レノノ工事デアリマス、隨テ
請負工事ニ使用致シマス労働者ハ、ヤ
ハリ其工事ニ伴ッテ入ッテ來ル收入ノ範
圍内デ賄フノガ當リ前デアリマス、又サ
ウ云フノガ請負ノ性質デアリマスカラ
此請負工事ノ經濟以外ニ、事業者ニ財
産ガ有ルカ無イカニ依ッテ、其請負工事
ニ使用サレル労働者ガ扶助ヲ受ケラレ
ルカ受ケラレナイカバキマルノデハ、
斯様ナ社會立法ニ於テハ頗ル公平ヲ缺
クコトニナリマスカラ、御考ノ點ハ十
分私共ハ諒解スルノデアリマスケレド
モ、サウ云フ限リ方ヲスルコトハ、詰
リ金ノアル者ニ雇ハレタ者ハ扶助ヲ受
ケラレルガ、金ノ無イ者ニ雇ハレタ者
ハ扶助ヲ受ケラレナイ、斯様ナコトヲ
法律デ認メルコトハ如何カト思ヒマ
ス、サウ云フ臨時請負ノ工事ニ付キマ

ハ少シ形ガ大キ過ギルト思ヒマスガ、
モウ少シ金額モ小サクシ、延人員モ少
クシテ、サウシテ一方ニハ從來ノ關係
者デアツテ、多少ノ税金モ納メ、一年ナ
リ二年ナリ連續シテ労働ヲヤッテ居ル
雇傭關係ニモ之ヲ及ボスヤウナ工合ニ
シテ、本當ノ温情主義ヲ徹底スルヤウ
ニスルコトヲ當局ハ御考ニナラヌノデ
アルカ、ヤハリ前説ヲ御主張ニナルカ
一寸ソレヲ聽イテモ見タイ

ハ少シ形ガ大キ過ギルト思ヒマスガ、
モウ少シ金額モ小サクシ、延人員モ少
クシテ、サウシテ一方ニハ從來ノ關係
者デアツテ、多少ノ税金モ納メ、一年ナ
リ二年ナリ連續シテ労働ヲヤッテ居ル
雇傭關係ニモ之ヲ及ボスヤウナ工合ニ
シテ、本當ノ温情主義ヲ徹底スルヤウ
ニスルコトヲ當局ハ御考ニナラヌノデ
アルカ、ヤハリ前説ヲ御主張ニナルカ
一寸ソレヲ聽イテモ見タイ

シテハ、ドウシテモ其工事ノ危険性ヲ以テ標準トスルコトが必要デアラウト思ヒマス、ソレカラ又永年勤続シテ居タ勞働者ニハ厚クスルト云フ趣旨ハドウカト云フコトデアリマスガ、是モ成ベク一人ノ勞働者ガ一人ノ事業主ニ對シテ、永年勤続シテ居ルコトハ、社會ノ醇風美俗ト云フコトカラ考ヘマシテ最モ望マシイコトデアリマスケレドモ、土木建築等ノ請負工事ニ於テハ、中々ソレダケノ人間デハ濟マナイノデアリマシテ、御承知ノ通り臨時人夫ガ澤山要ルノデ、臨時人夫ノ供給ヲスル者ガアツテ、其方ノ親方ノ手カラ入ルト云フコトモゴザイマス、左様ナ場合ニ一人ノ雇主ニ長ク勤メテ居タ者ハ非常ナ恩典ニ浴シ得ルシ、時々代々者ハ假令其業務上怪我ヲシタノデモ、扶助ヲ受ケラレナイト云フヤウナ差別ヲ設ケルコトモ望マシクナイト考ヘマスノデ其點モ如何カト思フノデアリマス、ヤハリ是ハ工事ノ規模ニ依ッテキメルコトガ穩當デアラウト云フコトニ落付クト思ヒマス、尙ホ大會社デモ小サナ工事ヲスルコトガアルデハナイカト仰シヤイマスガ、成程左様ナコトモゴザイマセウケレドモ、ヤハリ大キイ會社ハ大工事ヲ扱フ方ガ多イト思ヒマス、小サイ仕事ナラバ、例ヘバ吾々ガ一萬圓モ掛ラナイヤウナ自分ノ住宅ヲ建テヨウト云フ時ニハ、左様ナ大會社ニ頼マナクテモ手頃ナ請負業者ガアルノデゴザイマス、尙ホ土木建築等ノ小工事ニ於テハ、業務上ノ災害ヲ生ズル度數モヤハリ少イノデアリマス、普通木造住宅等ニ於キマシテハ差上ゲマシタ表ノ中ニハ除イテアリマスガ、木造建築ハ此頃ノ鐵筋「コンクリート」ノ工事ト云フモノニ比ベテ危険率ガ少イノデアリマス、是ハ業務上受ケタ災害ニ付テノ扶助デアリマスカラ、工事ノ規模ノ小サイモノニハ適用シナイト云フコトハ、サウ云フ災害ガ割合少イト云フコトモ一ツノ理由デアリマス、無論御指摘ノヤウニ、ドンナ小サイ工事デモ生命ニ係ルヤウナコトモゴザイマスガ、統計的ニハサウ云フ場合ハ極メテ少イノデアリマス、サウ云フ細イ工事ニマデ本案ヲ適用スルコトハ、實際無理ガ起リマスシ、又實際サウ云フ小サイ工事ニ付テ災害ヲ扶助スルコトヲ實行致サセルコトハ甚ダヤリ惡イノデアリマスカラ、一定ノ規模以上ノモノト云フコトニ致シタノデアリマス

○高見委員 ドウモ此案ヲ起草サレタ頭ガ温情主義ヨリ、幾ラカ「ハイカラ」的主義デハナイカト思ヒマス、例ヘバ御言葉ノ中ニモ、請負經濟ノ下ニ大體ノ標準トナリ何ナリ解決サセルト云フコトガ建前ダト仰シヤルガ現ニ資力アルニ拘ラズ其災害扶助ニ應ゼスト云フ場合ハ、罰金ヲ科スルト云フ制裁規定モアリマスガ、ソレハ如何デスカ、大體ハサウ云フヤウナ工事ト云フモノ一ツノ纏リニシテ、其處ニ何カ多少利益ガアレバ、其利益ノ中ニサウ云フ災害扶助ノ危険モ含ンデ置クト云フコトヲ建前ニシタノデナク、要スルニ事業主トソレカラ勞働者ト云フ關係ノ上ニ於テ、事業主トシテハ當然勞働者ヲ助ケベキモノナリト云フ觀念カラ大體出發シテサウシテ今日勞働者ト事業主ト間違ヲ起シタリ喧嘩ガ色々ノ點ニ於テ間違ヲ起シタリ喧嘩ヲシタリスルカラ、日本ノ社會思想ノ上カラ斯ウ云フモノガアレバ非常ニ宜イト云フ意味カラ出發サレタモノデアツテ、勞働者ノ仕事ノ關係カラデナク、勞働者及ビ事業主ト云フモノ、關係ノ上ニ於テ、其仕事ノ上ニ疾病ヲ起シ、若ハ傷害ヲ受ケタナラバ、是ハ當然物ノ道理トシテモ、道德上カラ見テモ、何カラ見テモ災害ノ扶助ニ應ズベキモノデアルト云フ觀念ノ下ニ、私ハ出發サレタモノデアツテ、左様ニ端的ニ大キナ仕事ニハ災害ガアリ、小サイ仕事ニハ比較的危險ガ少イ、仕事ノ大小ト云フ方面カラ出發シテ、長イ間日本獨特ノ風習デアアル勞働者ト事業主間ノ關係ハドウデモ宜シイ、勞働及ビ事業ト云フ問題カラ出發シテ、斯ウ云フ法律ヲ作レバ宜イト云フ大體ノ觀念ガ其處カラ出發シタカ、サウデナク、今日社會思想上カラ考ヘ、又根本的ニ勞働者ト云フモノニ對シテハ、事業主ハ當然ノ責任トシテ可愛ガルト云フ觀念ノ上カラ出發シタノデアリマスガ、此法律ヲ規定サレタ根本ノ趣意ハ何處ニアリマスガ

○吉田政府委員 是ハ社會立法トシテノ根本問題ニ觸レタル御質問ト考ヘマシテ、最モ望マシイコトハ、何等ノ法律規定ハゴザイマセヌデモ、御尋ノヤウナ趣旨ニ依ッテ、自分ノ使用シテ居ル勞働者ガ事業ノ爲ニ災厄ニ遭ッタ時ニハ、事業主ハ資力ノ有無ニ拘ラズ其財產ノ許ス限り、其不幸ノ勞働者ニ對シテ法律上ノ義務デナク、自分ノ道德心ノ發露トシテ扶助ヲ行フト云フコトガ一番望マシイコトデアリマス、決シテ私共ソレヲ否定スル心持ハアリマセヌ、サウ云フ意思ハ益助長シテ參リタイト考ヘマスガ、併ナガラ事實ニ於キマシテハサウ云フ心持デヤツテ吳レテ居ル奇特ナ事業家モゴザイマスシ、亦サウ云フ心持デ使ハレテ居ル心掛ノ極メテ良イ勞働者モゴザイマス、併ナガラ現在ノ社會ノ事實ニ鑑ミマス、現在ニ於キマシテハヤハリ法規ニ依ッテ双方ノ間ノ關係ヲ一律ニ不公平ナク規律スル、勞働者ノ受クベキ福利ノ限度

ハ是ダケ、ソレニ對シテハ事業主モ是
ダケノコトヲシナケレバナラヌト云フ
義務ノ限度ヲ規定致シマスルコトハ、
已ムヲ得ザル情勢ナノデゴザイマス、
何モ規則ナクシテ社會ニサウ云フ不幸
ガアツタ場合ニ、關係者ノ自發的ノ美シ
イ心持デ解決シテ行クト云フノデアリ
マシタナラバ、恐ラク現在ノ社會立法
ハ要ラナイコトニナルノデアリマス、

併ナガラ現在ノ社會組織、經濟組織ノ
下ニ於キマシテ、一方ニ於テサウ云フ
心持デ努メルト同時ニ、權利義務ノ限
界等ハ規律ヲ以テ、ソレヲ統制スルコ
トガ、實際ノ上ニ於テ必要ナノデアリ
マス、又事業主ニ於キマシテモサウ云
フ規則ニ依ツテ不公平ナク、サウシテ今
度ノヤウナ保險デモアリマスレバ殊ニ
シ易クナルノデアリマスカラ、サウ云
フ風ニシテ貰フコトガ、自分ノ義務ヲ
履行スル上ニ於キマシテ、便宜ナノデ
アリマス、決シテ御話ノ美シイ心持ト
云フ趣旨ヲ否認スルノデアリマセヌ
ケレドモ、ソレバカリヲ以テシテハヤ
リ難イ、今日ノ組織ノ下ニ於キマシテ
ハヤハリ規則ヲ以テ其處ニ一定ノ基準
ヲ定メル、其基準ノ運用ニ當ツテハ出來
ル限り美シイ心持ヲ持ツテヤル、總テノ
社會立法ハ何時モ其處カラ起ツテ來ル
ト思ヒマス、御尋ノ趣旨ハ決シテ間違ッ
テ居ルトハ考ヘナイノデアリマスガ、

斯様ナ規則ヲ以テキメマセスト、現在
請負工事ニ於キマシテ御話ノヤウニ繼
續的ニ使用セラレルノデハナクシテ、
人ヲ入レマス場合ニ入代リ立代リ今日
ハ甲ノ親方、明日ハ乙ノ親方ト云フ風
ニ、又午前中ニ來タ者ト午後ニ來タ者
トガ同じ者デナイ、サウ云フ者ヲ整理
シテ一定ノ人數ヲ揃ヘテ仕事ヲスルト
云フ組織ノ下ニ於テハ、ドウシテモ其
處ニ一定ノ限界ヲキメナケレバナラ
ヌ、限界ヲキメルト致シマスレバ事業
ノ規模、種類、其事業ガ危險デアルカ
危險デナイカ、大キイ事業カ小イ事業
カト云フコトヲ限界ニシテキメル以外
ニ方法ガナイノデアリマス、是ハ工場
法等ニ付テモ同じコトガ言ヘルト思ヒ
マス、我國固有ノ工場ノ組織ニ付テ見
レバ、工場主ト労働者トノ間ハ非常ニ
美シイ情誼デ出來テ居ル、又大キナ工
場ニ於テモサウ云フ家族主義ガ一般ニ
行ハレテ居ル所ガアルニ拘ラズ、規則
ヲ以テ就業時間ヲ制限シ、或ハ災害ノ
場合ノ扶助ノ責任ヲ規定シ、或ハ危害
豫防裝置ニ付テモ色々ナ規定ヲ設ケ、
或ハ日常労働者ノ健康保險制度ヲ取入
レル、サウ云フコトヨリモ、病氣ノ時
ナラバ事業主ガ治療ヲシテヤレバ宜
イ、労働者ハ自發的ニ掛金ヲ納メレバ
宜イデナイカ、何モ強制的ニシナクト
モ宜イデハナイカト云フヤウニ、道德

的方面カラ言ヘバ論ジ得ラレルノデア
リマスケレドモ、ソレノミニ依ツテハ完
全ヲ期シ難イト思ヒマスカラ、各種ノ
社會立法ガ必要ナノデアリマス、此規
則モ亦其一ツト御考ヲ願ヒタイノデア
リマス

ハ是ダケ、ソレニ對シテハ事業主モ是
ダケノコトヲシナケレバナラヌト云フ
義務ノ限度ヲ規定致シマスルコトハ、
已ムヲ得ザル情勢ナノデゴザイマス、
何モ規則ナクシテ社會ニサウ云フ不幸
ガアツタ場合ニ、關係者ノ自發的ノ美シ
イ心持デ解決シテ行クト云フノデアリ
マシタナラバ、恐ラク現在ノ社會立法
ハ要ラナイコトニナルノデアリマス、

併ナガラ現在ノ社會組織、經濟組織ノ
下ニ於キマシテ、一方ニ於テサウ云フ
心持デ努メルト同時ニ、權利義務ノ限
界等ハ規律ヲ以テ、ソレヲ統制スルコ
トガ、實際ノ上ニ於テ必要ナノデアリ
マス、又事業主ニ於キマシテモサウ云
フ規則ニ依ツテ不公平ナク、サウシテ今
度ノヤウナ保險デモアリマスレバ殊ニ
シ易クナルノデアリマスカラ、サウ云
フ風ニシテ貰フコトガ、自分ノ義務ヲ
履行スル上ニ於キマシテ、便宜ナノデ
アリマス、決シテ御話ノ美シイ心持ト
云フ趣旨ヲ否認スルノデアリマセヌ
ケレドモ、ソレバカリヲ以テシテハヤ
リ難イ、今日ノ組織ノ下ニ於キマシテ
ハヤハリ規則ヲ以テ其處ニ一定ノ基準
ヲ定メル、其基準ノ運用ニ當ツテハ出來
ル限り美シイ心持ヲ持ツテヤル、總テノ
社會立法ハ何時モ其處カラ起ツテ來ル
ト思ヒマス、御尋ノ趣旨ハ決シテ間違ッ
テ居ルトハ考ヘナイノデアリマスガ、

の方面カラ言ヘバ論ジ得ラレルノデア
リマスケレドモ、ソレノミニ依ツテハ完
全ヲ期シ難イト思ヒマスカラ、各種ノ
社會立法ガ必要ナノデアリマス、此規
則モ亦其一ツト御考ヲ願ヒタイノデア
リマス

シ事實ハ請負經濟ノ中デ支辨出來ヌヤ
ウナ大怪我ヲスルコトモアリマセウ、
併シ大怪我ヲシテモ、請負金額ヲ超過
シタカラ、免除シヤウト云フコトハナ
イノデアリマス、苟モ労働者ヲ使ツテ、
他人カラ報酬ヲ得テ工事ヲ請負フタ人
デアリマスナラバ、此規模ニ當ツテ居
ル限り免レ難イノデアリマス、自分ノ
資力ヲ超過シタモノガアル、殊ニ中
下ノ請負業者ニ取リマシテハ、非常ニ
支拂ニ困難ヲ感ズルコトガアルノデ、
各事業主ノ間ニ危險ヲ分擔スル意味ニ
於キマシテ、保險制度ヲ取入レタノデ
アリマスカラ、事業主ハ強制的ニ保險
ニ加入セラレマス、請負金額ヲ貰ヒ
マシタ際ニ、其金額ノ中カラ保險料ヲ
支拂ツテ強制的ニ加入セラレルノデ
アリマスカラ、イザ支拂ト云フ時ニハ、
自分ノ資力ヲ超過シテモ困ラヌヤウニ
此法律ハ出來テ居ルノデアリマス、資
力ノアルモノニ限ツテ支辨ヲ命ズルト
云フヤウナ區別ハ致シテ居リマセヌ

ハ是ダケ、ソレニ對シテハ事業主モ是
ダケノコトヲシナケレバナラヌト云フ
義務ノ限度ヲ規定致シマスルコトハ、
已ムヲ得ザル情勢ナノデゴザイマス、
何モ規則ナクシテ社會ニサウ云フ不幸
ガアツタ場合ニ、關係者ノ自發的ノ美シ
イ心持デ解決シテ行クト云フノデアリ
マシタナラバ、恐ラク現在ノ社會立法
ハ要ラナイコトニナルノデアリマス、

併ナガラ現在ノ社會組織、經濟組織ノ
下ニ於キマシテ、一方ニ於テサウ云フ
心持デ努メルト同時ニ、權利義務ノ限
界等ハ規律ヲ以テ、ソレヲ統制スルコ
トガ、實際ノ上ニ於テ必要ナノデアリ
マス、又事業主ニ於キマシテモサウ云
フ規則ニ依ツテ不公平ナク、サウシテ今
度ノヤウナ保險デモアリマスレバ殊ニ
シ易クナルノデアリマスカラ、サウ云
フ風ニシテ貰フコトガ、自分ノ義務ヲ
履行スル上ニ於キマシテ、便宜ナノデ
アリマス、決シテ御話ノ美シイ心持ト
云フ趣旨ヲ否認スルノデアリマセヌ
ケレドモ、ソレバカリヲ以テシテハヤ
リ難イ、今日ノ組織ノ下ニ於キマシテ
ハヤハリ規則ヲ以テ其處ニ一定ノ基準
ヲ定メル、其基準ノ運用ニ當ツテハ出來
ル限り美シイ心持ヲ持ツテヤル、總テノ
社會立法ハ何時モ其處カラ起ツテ來ル
ト思ヒマス、御尋ノ趣旨ハ決シテ間違ッ
テ居ルトハ考ヘナイノデアリマスガ、

○吉田政府委員 御尋ノ點ニ關シマシ
テハ、申セバ中間ニ在ルト言ツテ差支ナ
イト思ヒマス、請負人ハ他人カラ報酬
ヲ得マシテ、或ル工事ヲ請負ツテ、其請
負フタ工事ニ對シマシテ労働者ヲ使ッ
テ居ルノデアリマス、隨テサウ云フ事
業ニ労働者ヲ使フト云フコトニ依ツテ、
初テ請負人ト労働者トノ間ニ賠償ヲ付
スルカ付シナイカト云フ問題ガ成立シ
テ來ルノデアリマスカラ、請負經濟ノ
中デ支辨セララルベキデアリマスガ、併

○高見委員 意見ノ相違ニナルカ知ラ
ヌガ、私共ハ法案ノ趣意ハ何トナク普
通ノ工場労働者、或ハ鑛山労働者ヲ建
前ニシテ、土木ノ請負人ヲ規定セラレ
ントスル傾向ガアルト感ゼラレル、現
在ノ大多數ヲ占メテ居ル土木ノ請負人
ト労働者、ソレカラ東京邊リニハ只今
ノ御話ノヤウニ甲カラ乙、乙カラ丙、

丙カラ丁ニ移ルト云フノガ随分アル、一方ニ於テ非常ニ多數ノ親分子分ノ關係デ來テ居ル所ガアル、而モサウ云フ方面ガ何ゾ圖ラン資力ガ十分ニアリ、多額ノ税金モ納メテ居ルト云フヤウナ方面ニハ、假令共仕事ガ一萬圓以下デアリ、若クハ延人員千人以下ノ仕事デモ、商賣デスカラ随分澤山ノ仕事ヲ分割シテ請負フコトモアリマス、詰リ請負主ガ大キナ金持デアッテ、小サイ仕事ヲスル時ニハ、屢、起ル災害ヲ——殊ニ日本ノ現狀ニ於テハ小サイ工事ヲ幾ツモヤッテ居リマスカラ、サウ云フ時ニ於テ此法條ノ適用ヲ免レルト云フヤウナコトハ、金持保護ト云フヤウナコトニナリ、從來ノ溫情的ナ土木請負業者ノ親分子分ノ善イ所ヲ打壞スモノデナイカト考ヘル、併シソレハマア意見ノ相違トシテ、是レ以上議論致シマセヌガ、此際一寸聽イテ見タイノハ、第二條ノ中ニ「疾病ニ罹リ」ト云フ文句ガアリマスガ、此「疾病ニ罹リ」ト云フノハ業務上ノ原因例ヘバ勞働者ガ仕事ヲシテ居ルト急ニ雪ガ降り、非常ニ寒イ風ガ吹イテ來テ、其勞働者ガ風邪ヲ引イタト云フヤウナコトハ、此「疾病ニ罹リ」ト云フ中ニ這入ルノデアリマスガ、負傷シタト云フヤウナコトハ非常ニ分

アリマスガ、一ツ試ミニ聽イテ見タイ、尤モ是ハ「勅令ノ定ムル所ニ依リ」云云ト云フコトガアリマシテ、何カ色々ナ定メモアリマセウケレドモ、一寸伺ッテ置キマス

○吉田政府委員 此處ニアリマス業務上疾病ニ罹リト云フ場合ハ、普通ニ所謂職業病トデモ申シマスガ、例ヘバ土木建築工事ニ付キマシテ極ク顯著ナ例ハ、此頃深イ所ノ基礎工事ヲ致シマスノニ能ク「ケーソン」ト云フモノヲヤッテ居リマス、サウ云フ所ニ從事スル場合ニ、所謂「ケーソン」病ト云フモノニ罹ル、其他瓦斯ノ事業ニ從事シテ居ル場合ニ瓦斯ニ中毒スル、サウ云フ業務上ノ關係ノ顯著ナモノヲ言フノデアリマシテ、只今御話ノヤウニ寒イ風ガ出テ來テ風邪ヲ引イタト云フヤウナハ、所謂業務上ノ事由ニ依ルモノト考ヘナイノデアリマス、是ハヤハリ業務上ト云フコトニ限定セラレテアリマシテ、其業務上ト云フノハ、サウ云フ業務上ノ因果關係ノ極メテ密接ナモノデアリマス、詰リ職業病ト云フヤウナ種類ノモノ、積リデアリマス、其他ノモノニ付キマシテハ、現在ヤッテ居リマス健康保險ノ範圍デモ擴張セラレマシテ、此種類ノ勞働者モ被保險者ニナルト云フコトニナリマスレバ、只今御話ノヤウナ風邪ヲ引イタヤウナ場合モ救

濟セラレルコト、思フノデアリマスガ、マダ此法案ハ其方面ニハ及ンデ居ラナイノデ、業務上明確ナ因果關係ノアルモノニ限ッテ居リマス

○高見委員 今ノ御言葉デ大體分リマシタガ、ソレナラ斯ウ云フ場合ハドウデスカ、臺灣トカ云フヤウナ少シ溫カイ所デ事業ヲヤッテ居ル、其處ハ非常ニ「マラリヤ」ト云フヤウナ風土病ガ流行ル、又朝鮮邊リデモ随分到ル所ニ於テ風土病ト云フモノガアル、サウ云フ所デ開墾事業トカ色々ナ仕事ニ從事シテ居ッテ「マラリヤ」ニ罹ッタト云フヤウナ場合ハ、是ハアナタ方ノ御解釋デハ事業ニ基ク疾病ト見ルカ、或ハ大分間接的ノモノデアルカラサウ見ナイノカ、是等ノ事ハ實際問題トシテ非常ニ深イ關係ガアリマスカラ、一應伺ッテ置キタ

○吉田政府委員 只今例トシテ御舉ゲナリマシタヤウナ風土病ト云フヤウナモノハ、是ハ其業務ニ從事シタルガ爲デナクテ、其土地ニ行ケバ其業務ニ從事シナクテモ罹ル病氣デアリマスカラ、業務ニ直接基因シテ罹ッタ病氣トシテ認メナイ積リデアリマス

○高見委員 ケレドモ、其處ニハ「マラリヤ」等ガ殆ド當時的ニアルノデアリ、其時ニ會社ノ方デハドウモ「マラリヤ」ガ非常ニ多イカラ其積リデアレ

ト請負人ニ言フ、然ルニ請負人ハソレニ對スル所ノ設備、或ハ一哩四方ノ蚊ヲ退治シテヤラナケレバナラスト云フヤウナコトハ、仕事ヲヤル上ニ於テ當然ヤルベキ筈デアリマス、然ルニ請負主ガソレダケノ設備ヲ怠ッテ、無智ノ勞働者ガ「マラリヤ」ニ罹ルト云フヤウナ時ニ於テ、ソレハ大部分間接的ダ、誰ガ行ッテモ罹ルノダト云フヤウナコトハ、餘リニ事業主ヲ保護スル規定デハナイカ、モウ少シ事業主ニ向ッテ相當ナ制裁ヲ加ヘル途ヲ開キ、サウシテ勞働者ヲ保護スル途ヲ開ケバ宜イ、尙ホ瓦斯ヲ使ッタ場合、或ハ特別ナ硫酸ノ臭ヒヲ嗅イダト云フヤウナ場合ハ負傷ト云フ方ニ入レテ宜イ、疾病ト云フヨリモ負傷ト云フ場合ニ近イデセウ、負傷ト云フモノハ必ズシモ肉ガ破レ、皮ガ破レタト云フ場合ノミデハナイ、醫學上ノ負傷ト云フ意味ハ分リマセヌガ、或ハ肉的ニ傷ヲ受ケタト云フヤウナ場合モアル、ソコデ今御話ノヤウニ若モ會社ト個人トノ契約デ、尤モ行政官廳ガサウ云フコトヲ命令スルコトモ出來ルカ知レマセヌガ、一方ハ無智文盲ナ勞働者デアリマス、片方ハ請負人ト言ヘバヤハリ相當ナ資産ヲ持ッテ居ル、百萬二百萬ト云フ資金ヲ投ジテ事業ヲシ、又一舉ニシテ幾百萬圓ノ金ヲ儲ケルト云フ立場ニ居ル、ソレ故ニ當然サウ云

ニ罹リト云フノハ一體ドウ云フ場合デ

テ、此種類ノ勞働者モ被保險者ニナルト云フコトニナリマスレバ、只今御話ノヤウナ風邪ヲ引イタヤウナ場合モ救

○高見委員 ケレドモ、其處ニハ「マラリヤ」等ガ殆ド當時的ニアルノデアリ、其時ニ會社ノ方デハドウモ「マラリヤ」ガ非常ニ多イカラ其積リデアレ

ト請負人ニ言フ、然ルニ請負人ハソレニ對スル所ノ設備、或ハ一哩四方ノ蚊ヲ退治シテヤラナケレバナラスト云フヤウナコトハ、仕事ヲヤル上ニ於テ當然ヤルベキ筈デアリマス、然ルニ請負主ガソレダケノ設備ヲ怠ッテ、無智ノ勞働者ガ「マラリヤ」ニ罹ルト云フヤウナ時ニ於テ、ソレハ大部分間接的ダ、誰ガ行ッテモ罹ルノダト云フヤウナコトハ、餘リニ事業主ヲ保護スル規定デハナイカ、モウ少シ事業主ニ向ッテ相當ナ制裁ヲ加ヘル途ヲ開キ、サウシテ勞働者ヲ保護スル途ヲ開ケバ宜イ、尙ホ瓦斯ヲ使ッタ場合、或ハ特別ナ硫酸ノ臭ヒヲ嗅イダト云フヤウナ場合ハ負傷ト云フ方ニ入レテ宜イ、疾病ト云フヨリモ負傷ト云フ場合ニ近イデセウ、負傷ト云フモノハ必ズシモ肉ガ破レ、皮ガ破レタト云フ場合ノミデハナイ、醫學上ノ負傷ト云フ意味ハ分リマセヌガ、或ハ肉的ニ傷ヲ受ケタト云フヤウナ場合モアル、ソコデ今御話ノヤウニ若モ會社ト個人トノ契約デ、尤モ行政官廳ガサウ云フコトヲ命令スルコトモ出來ルカ知レマセヌガ、一方ハ無智文盲ナ勞働者デアリマス、片方ハ請負人ト言ヘバヤハリ相當ナ資産ヲ持ッテ居ル、百萬二百萬ト云フ資金ヲ投ジテ事業ヲシ、又一舉ニシテ幾百萬圓ノ金ヲ儲ケルト云フ立場ニ居ル、ソレ故ニ當然サウ云

フコトハ法律が無クテモ請負主ハ相當災害ノ防除ノ途ヲ開キ、法律が無クテモ無論何トカ心配スルノガ請負主ノ責任ナルガ、段々法律ガ現レテ來ルト云フト、法律ヲ楯ニ取ッテ免レヨウトスルヤウナコトガ起ル、政府ガ所謂法律ヲ作ル時ニ能ク考ヘテ置イテ貰ヒタイト云フノハ此點デアリマス、デ今申シタヤウニ一方ハ無智ナ者デアリ、一方ハ金持ノ事業家デアアル、若モソコニ相當ナ設備ヲシテ蚊ノ來ナイヤウニシ、或ハ蚊帳デモ十分釣ッテヤルトカ、或ハ其處ニ沼ガアレバ其沼ヲ埋メルトカ云フヤウナ設備ヲヤレバ「マラリヤ」ニ罹ル筈ハナイ、「マラリヤ」ト云フモノハ誰ガ行ッテモ罹ルト言ハレタガ、用事ガ無クテハ誰モ行キマセヌ、其仕事ノ爲ニ「マラリヤ」ニ罹ル、併シ設備ヲスレバ「マラリヤ」ニハ罹ル筈ハナイ、然ルニ負傷者デモナク、又死亡デモナイト云フ、事業主ノ方ノ不親切ノ爲ニ其人間ガ「マラリヤ」ニ罹リ、癱疾者同様な状態デ歸ッテ來タ、ソコデ辯護士ガ裁判所ニ談判ニ行ッテモ、亦社會局長ヲ訪問シテ見テモ、局長ノ言ハレルヤウニ、法律ハ斯ウ云フ解釋デアアル、斯ウナッタ以上ニハ洵ニ勞働者ガ可哀想デハナイカ、疾病ト云フ觀念ニ對シテモウ少シ勞働者ニ同情シタ解釋ハ出來ナイカ

○吉田政府委員 私ノ先程申シマシタ狭イ意味ノ業務上ノコトニ付テモ、仕事ニ從事中疾病ニ罹ッタトカ、或災害ニ遇ッタ場合ニ於テ、其保護ヲ厚クスル必要ナルコトハ當局モ認メテ居リマス、此法ノ目的トシテ居ル所ハ業務上ノサウ云フ疾病或ハ負傷ノ場合ニ、事業主ノ全責任トシテソレヲ補償サセルノハ明カニ業務ノ爲ノ場合以外ニハ、此法律ハソク其儘適用セラレナイノデアリマス、是ダケヲ以テ屋外勞働者ノ保護ガ完備スルモノトハ思ッテ居リマセヌガ、今マデハ是ダケノコトスラモ法律ニ依ル補償ノ途ガナクッタノデアリマスノデ、先ヅ一番必要ナ最小限ノ扶助ノ原則ヲ此法律デ決メマシテ、尙ホ進ンデハ御話ノヤウナ業務外ノ負傷疾病ト云フヤウナコトニマデ段段ニ擴張致シ、治療ノ途ヲ擴張ヲ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス、各種ノ社會立法ヲスル上ニ付テ自ラ其間ニハ緩急ノ差別ガアルノデ、玆ニ當局ガ今回規定シテ居ル所ノモノハ、最モ緊要拾置キ難キモノトシテ之ヲヤルノデアリマス、是ダケデ尙ホ當局ハ十分トハ考ヘマセヌデ、御話ノヤウナ場合ニ對シテ保險等ノ制度ガ最モ能クソレニ適合スルコト、考ヘマシテ、陸上勞働者ニ對シテモ業務上ノ事由ニ依ル災害ニ於テハ、事業主ガ總テ負擔スルノデアリ

マス、其他業務外ノモノニ付テモヤハリ段々法則ガ進ミツ、アリマス、一番遅レテ居ルノハ屋外勞働者ニ對スル保護デアリマスガ、之ニ最モ緊切ナ保護ヲ今回ノ法律ニ依ッテ決メテ行カウト云フノデ、決シテ御尋ノ如キ點ヲ放ッテ置カウト云フノデアリマセヌ

○高見委員 社會局長ガ政府委員トシテ御説明ニナリマシタガ、ソレガ速記録ニ載ッテ居ル以上ハ、立法ノ趣旨ハ其處ニアルノデセウト云フヤウナ言葉モアリマスケレドモ、遺憾ナガラソレニ満足出來ナイ、モット私ハ具體的ナ場合ヲ出シマセウ、特ニ「マラリヤ」ニ例ヲ取ッテ……最近伊太利デハ非常ニ灌漑工事ヲヤッテ居ルガ、マダ羅馬ニハ最近病氣ガ發生スル、ソレデ農夫共ハ高い山ニ家ヲ持ッテ居ッテ、朝カラ晩マデ其處ニ生活シテ居ル、ソレデ仕事ヲスル時ニハ非常ナ沼地デシナケレバナラス、其處ヘ出レバ必ズ病氣ニナルト云フ所デアアル、ソコデ最近「ムッソリニ」ノ農業政策デ澤山金ヲ掛ケテ、サウ云フ病源ヲ取ッテシマッタノデアアルガ、今臺灣邊リデハ「マラリヤ」ノ蚊ガ大變居ルト云フノデ、仕事ヲスル者ハ其流行地帶カラ三里モ四里モ電事ニ乗ッテ歸ルヤウナ遠イ所ニ宿舍ヲ持ッテ居ル程デアリマスガ、午後ノ二時頃ニ仕事ヲヤッテ居ルト、其工事場デ「マラリヤ」ノ蚊ニヤ

ラレルノデアアル、宿舍デハ朝六時ニ出テ危險地帶デ仕事ヲシテ午後六時ニ歸ッテ、蚊帳ヲ釣ッテ有ユル設備ノ完全ナ所ニ其勞働者ハ寢テ居ル、ソレダカラ普通ノ常識カラ見テモ、醫學上ノ點カラ見テモ、其「マラリヤ」ニハ罹ル筈ガナイノダカ、其仕事ノ場所ハ土木工事ノ非常ニ面倒ナ所デ、叢モモアリ沼地モ多イノデ、其處ニハ「マラリヤ」ノ蚊ガ澤山居テ喰ハレ、バ必ズ病氣ニナル、其時ニ其「マラリヤ」ハ事業主ガ持ッテ來タノデモ、請負主ガ飼ッテ居ルモノデモナイ、ダカラ俺ハ知ラヌト云フコトハ、疾病ト云フ文字ヲ假ニ御入レニナッテモ、東京邊リハマダ宜イガ、植民地ト云フヤウナ方面ニハ斯ウ云フ場合ガ非常ニ多イノデス、サウ云フ場合ニ請負人ガ、ソレハ社會局長ガ出サヌデモ宜イト云フ解釋ニナッテ居ルカラ出サヌトナッテ來ルト、折角産業保護助長ノ爲ニ、其他社會政策ノ爲ニ御作りニナッタ所ノ趣意ガ没却サレルコトニナリマス、斯ノ如キ場合ガアッタトスレバ、ヤハリ疾病ト云フコトハ事業主ガ或ハ瓦斯ヲ使フトカ、或ハ又硫酸ヲ使フトカト云フヤウナ場合ニ於ケル疾病ノミデアッテ、今申上ゲタ場合ハ疾病ノ中ヘ入レル積リデアルカ入レナイ積リデアルカ、端的ニ聞イテ見タイ

○吉田政府委員 實例ヲ段々數多ク御

舉ゲニナリマス、ソレハ業務上ノ疾病トスベキモノト業務外ノ疾病トスベキモノトノ境界ニ觸レテ來ルト思ヒマス、一番最初ニ御舉ゲニナリマシタ例ノ如キ、濕地ノ中デ仕事ヲスル、必ズ仕事ノ性質上濕地ニ降りテ働カナケレバナラスト云フノデ、朝カラ晩マデ濕氣ニ觸レテ居ル爲ニ「マラリヤ」ニ罹ルコトモアリマス、サウ云フ場合ニハソレハ業務上ノ疾病ト申シテ差支ナイト私共ハ思ヒマス、必ズシモ高壓ノ電氣ヲ使用スルトカ、毒瓦斯ノ影響トカニ限ル譯デハアリマセス、併シ臺灣ノ「マラリヤ」ノ場合ハ今ノ場合程顯著デハナイト思ヒマス、臺灣ヘ行ツテ其仕事ニ關係スレバ「マラリヤ」ニナルケレドモ、關係シナケレバ罹ラナインダト云フコトガアルカドウカ私ハ知リマセスガ、濕地カラ來ル疾病トスルカドウカ疑問デアルト思ヒマスガ、御參考ノ爲ニ申上ゲテ置キマスガ、此法律ハ植民地ニハ適用シナイノデアリマス、樺太ニハヤハリ扶助ニ關スル規定ハアリマスガ、ソレハ内地ノ法律ガ適用サレテハ居リマセス、臺灣・朝鮮等ニモ此法律ヲ適用スルコトハ、臺灣朝鮮ノ現在ノ狀況カラ考ヘマシテモ適當デナイト思ヒマシテ適用致シマセス、業務上ノ疾病デアアルカ否カラ區分スルノハムツカシイト思ヒマスガ、例ヘバ濕地デナクトモ

仕事ヲスル場所ニ何カ皮膚カラ入ッテ來ル蟲ガ居ル、其處デ仕事ヲスル者ハドウシテモ蟲ノ襲撃ヲ受ケル懼レガアル、其處デ土工ニ從事シタ爲ニ其病氣ニ取ッ付カレルト云フコトデアレバ、業務上ノ疾病ト云ヘルト思フ、直接仕事ニ從事シタコトニ依ッテ、其仕事カラ來ル病氣ヲ業務上ノ疾病ト云フノデアリマス、其外仕事ニ從事シテ居ッテ、其機會ニ間接ノ他ノ原因ニ依ッテ病氣ニナル、例ヘバ風ヲ引キマストカ或ハ冷エタ爲ニ下痢ヲシタトカ、サウ云フノハ仕事ニ直接原因シタト申セマセス、業務上ノ疾病ト申シテ居リマセス、是等ノ場合ハ資力ノ薄イ勞働者デアリマスカラ、ソレニ對スル保護ノ法制ヲ立テルコトハ勿論必要デアリマスケレドモ、ソレハ別ノ法制ヲ立ツベキモノデ、此扶助責任ト云フ範圍デアルベキデハナカラウト考ヘテ居リマス、先程私ガ例トシテ申上ゲマシタ瓦斯中毒ナド、云フダケニ限ラ積リデハアリマセス、例トシテ舉ゲザイマスレバ入りマス、入ル入ラスト云フコトハ其事業ノ實際ニ行ハレテ居ル狀態如何ニ依ルコトデアリマス、私ノ舉ゲタ例以外ニモ入ル場合モアリマス、多分例トシテ御ゲニナリマシタノモ、直接其原因ガ業務ニアルト云フ場合ハ入レルノカ入レナイノカト云フ御

趣意デアルト思ヒマス、直接其業務ニ原因ガアルト云フ場合ハ入レルノデアリマス

○高見委員 サウシマストモウ一應念ヲ押シテ置キタイガ、第二條ノ是ハ問題ノ中ノ負傷トカ死亡トカ云フコトハ明瞭ニアリマスガ、此問題ノ中ノ疾病ト云フコトガ將來一番爭ノ種ニナルダラウト思ヒマスガ、サウスルト勅令ナドニ於キマシテ、疾病ノ種類等ニ付テハ相當明確ナ規定ヲサレル積リデアリマスカ、只今承ル所ニ依レバ何トナク其邊ハ個々ノ場合ニ委セルヤウナ、寧ロ之ヲ裁判ノ判決例カ何カニ俟タントスルヤウナ御言葉ノヤウニモ見エルガ、勅令ノ定ムル所ニ依ルト云フト、何カ勅令ニ基イテ疾病ニ關スル所ノ特別ナ標準ナリ、基準ナリト云フモノヲ御出シニナル積リデアアルカ、此中デ一番議論ニナツテ、將來裁判ノ議論ニナル所ハ、業務上疾病ニ罹ルト云フ文字ガ非常ニムツカシイ一ツノ判例ガ付クヤウニナツテ來ルカ知レマセスガ、ソレニ對シテ何カ豫メ一定ノ基準ヲ以テヤラレル積リデアアルカ、モウ一遍聞イテ置キタイト思ヒマス

○吉田政府委員 此問題ハ今日始ッタクトデハゴザイマセス、工場、鑛山等ニ於キマシテ從前カラ扶助ノ規定ガゴザイマス、其場合モ業務上デアアルカ、業務外デアアルカ、鑑別スル必要ガ常ニアッタ譯デゴザイマス、地方廳等カラマデ問合セガ參ッテ居リマスガ、只今マデハ打合セ會議デアルトカ、役所ノ通牒等デ此基準ヲ示シテ參ッテ居リマス、從來ノ扶助ノ關係デハ勅令デ明カニ定メタト云フコトハナイノデアリマスガ、無論御質問ノ通り標準ガ明カデアアルニ越シタコトハナイノデアリマスカラ、今回ハ適當ナ標準ヲ定メ得ルナラバ、命令ノ規定ノ中ニ定メタナラバ宜イカト思ッテ居リマス、抽象的ニ條文ヲ書キマシテ總テ一々ノ場合ニ於ケル懸念ヲ一掃スルト云フ譯ニハ行カナイノデアリマス、其邊ハ餘程考慮致シマス

○高見委員 ソレカラモウ一ツ聞イテ置キタイト思ヒマスノハ、第一條ニ直營工事トアリマスガ、公共團體ノ直營工事ト云フノハ請負工事ト違フノデスカ、直營工事ノ説明ヲシテ貰ヒタイト思ヒマス

○吉田政府委員 直營工事ト申シマスノハ、丁度請負工事ノ裏デアリマス、東京市ノヤウナ大キナ公共團體トカ、或ハ瓦斯會社ト云フヤウナ大キナモノガ自分デ仕事ヲスル場合デアリマス、請負人ニヤラセズニ、サウ云フ所ニハ仕事ニ關スル機關ヲ持ッテ居リマス、技師モ居リマスレバ、監督モ居リマスレバ、職人モ居リマス、職人ノ居ラナイ

場合ハ人夫供給業者カラ供給ヲ受ケテ
仕事ヲスル場合モアリマス、是ハ單ニ
人夫ノ供給ヲ受ケルダケデ、事業ハ會
社ガ自分ノ仕事トシテアルノデアリマ
ス、請負人ニ出サズ瓦斯會社ナドハ仕
事ヲシテ居リマス、請負人ニ出サズ仕
事ヲスル場合ニハ其公共團體ナリ、其
事業會社ナリガ其扶助責任ヲ果ス、サ
ウシテソレ等ノ團體ナリ會社ナリハ資
力ニ於テモ労働者ヲ扶助スル位ノコト
ハ十分出來ル資力ヲ持ッテ居リマスカ
ラ、是ハ事業ノ規模ニ關スル制限ヲ繼
續シテ行ハレルモノニ付テハ置イテナ
イノデアリマス、ソレカラ請負工事ノ
場合ニハソレト違ヒマシテ、一ツノ
ノ單獨ニソレ等ノ會社デモ仕事ヲスル
場合請負ニ出スコトモアリマス、例ヘ
バ東京市役所カラ請負ニ出スコトガア
リマス、請負ニ出サレルト市役所ハ註
文竝ニナリマス、事業主體ハ註文ヲ取ッ
タ請負人ニナル、是ハ請負人札トカ指
名入札トカソレハ入札ニ依ッテ取ッテ
居リマスガ、其仕事ヲ落シタ請負者ガ
扶助ノ責任者ニナッテ居リマス

○高見委員 サウスルト例ヘバ水力電
氣ノ會社ガ一括シテ此仕事ヲ某々會社
ニ請負ハセルト云フノガ請負デアッテ、
自分ノ會社ガ仕事ヲヤッテ部分々々ヲ
小サク請負ハセルト云フコトモ一ツノ
直營工事ト見ルノデアルカ、其區別ヲ

ハッキリシテ置キタイト思ヒマス、例ヘ
バ全體のニ一人ノ人ニ請負ハセル、水
力電氣ノ土木工事一切ヲ大體ニ於テ請
負ハセル、ソレガ五百萬、三百萬、其
下ニ又五十萬、三十萬トカ云フノガ請
負工事デアアル、其他指名入札トカ或ハ
小サク分ケテヤルトカ云フヤウナモノ
ヲ皆直營工事ト解釋サレマスカドウデ
スカ

○吉田政府委員 大キイ仕事デセウ
ガ、小サイ仕事デセウガ、會社ノ手デ自
ラ事業ヲヤルノデアリマセズシテ、他
人ニ請負ハシテヤルノハドッチモ請負
工事デアリマシテ、十萬圓、二十萬圓
ト云フ大キイ工事ヲ請負ハセルト云フ
ノハ請負工事デアアルコトハ勿論デアリ
マス、四百圓、五百圓ノ請負デモ請負
ニ出シタ仕事ハ事業ノ規模ニ依ッテキ
マッテ來ルノデアリマス、電氣會社ガ自
分ノ事業ノ爲ニ直營デ仕事ヲスルト云
フ場合ガ此場合デアリマス

○高見委員 此際一ツ私ハ局長ナリ政
府ノ御考ヲ聞イテ置キタイノデアリマ
スガ、今日モ労働組合法ガ上程ニナッテ
居リマスガ、遂ニ内務大臣モ十分ナル
説明ヲサレナカッタ、労働團體契約權ニ
關シテハ、ドウ考ヘテ居ルカト云フ點
ニ對シテモ、今サウ云フコトハ規定ス
ル考ガナイ、斯ウ云フヤウナ御話ガア
リマシタ、私ハ團體契約ト云フモノハ

大變我國ノヤウナ場所ニハ非常ニ必要
ナ仕事デハナイカ、殊ニ疾病ダトカ、
其他今日ノヤウナ温情主義デ出發シテ
居ル請負者間ノ關係ナドヲ法律ニ規定
サレル場合ニ當ッテ、團體契約ト云フモ
ノヲ一ツ認メルカドウデアアルカ、或ル
労働者ト或ル請負人ノ間ニ一種ノ組
合ノヤウナモノヲ作ッテ、ソコニ兩者ガ
相寄ッテ労働賃銀トカ疾病ノ場合ヲキ
メルトカ云フヤウナコトヲ法律デキメ
ル、詰リ團體契約デアリマス、伊太利
アタリノ、是ハズット以前ニ英吉利ノヤ
ウナ「ツレード・アクト」自然々々ニ進
シテ來タト云フヤウナモノヲ手本ニシ
タリシ、日本ハ寧ロドッチカト云フト、
是カラ新シイ法律ヲ採用シテ行クト云
フノデアリマシテ、今ノ労働組合法モ
果シテ今期議會ニ貴族院ヲ通過スルカ
セヌカ、是ハ政府トシテハ違フ御考デ
アリマセウガ、私ハドウカト存ジマス、
又此法案モ政府ノ御考ハ、滿場一致絶
對多數ヲ以テ貴族院マデ通過サセルト
云フ御考デアリマセウガ、何分會期ガ
切迫シテ居リマスカラ、ドウカ分ラナ
イ、ソコデ立法的ノ議論デアリマスル
ガ、此機會ニ於テ團體契約——東京ア
タリノ土木組合ナラ土木組合ガアッテ、
又一方土木ニ關係スル労働者——或ル
一種ノ土木労働者、或ハ左官労働者ノ
一ツノ組合ノヤウナモノヲ作レバ、其

組合ト組合トガ法律ノ保護ノ下ニ團體
契約ヲ締結シテ、其契約ニ基キマシテ
兩方カラ委員ガ出テ來テ、或ハ労働賃
銀トカ、或ハ時間トカ、又其仕事ノ特
殊ノ場合例ヘバ今申上ゲタヤウナモノ
デ、此法律ハ温情的デナイ、私ハ幾ラ
カ疑フ以テ見テ、ドウモ是ハ金持保護
ノ傾ガアルヤウニ思ヒマス、第一條ノ
其他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムルト云フ
ノヲ見ルト云フト、一千萬圓、二千萬
圓、三千萬圓ト云フ大キナ金持ガ、小
サイ仕事ヲ請負フ時ニハ、親先祖代々
カラ世話ニナッテ居ル労働者ニハ、此扶
助法ハ適用セズシテ、何デモ宜イ、兎
ニ角一萬圓ト千人ノ延人員サヘアレ
バ、其仕事ニ出掛ケテ行クト云フヤウ
ナ法律ハ、或意味ニ於テ金持ヲ助ケル
モノデナイカ、サウシテ温情主義ヲ破
ルヤウナモノデナイカト云フ疑ガア
ル、サウ云フモノハ個人ニ勝手ニヤラ
セルト云フヨリモ、モウ一步進ンデ團
體權ヲ認メテヤルト云フト——今日伊
太利アタリハ労働爭議ハ非常ニ數ガ少
クナッテ居リマス、又ソレニ關スル色々
ノ設備準備モ非常ニ進ンデ居ル、鑛山
ノ地獄部屋トカ何トカ云フ鑛山業者
ト、普通ノ紡績會社トカ、或ハ肥料會
社ト云フ所デ労働者、又ハ製絲會社デ
モ、燕力何カノヤウニ、冬來テ夏去ル
ト云フモノヲ相手ニスル、サウ云フ所

ノモノハ物本位デ行キ、物質本位デ行ク、サウシタモノカラ出發シテ行ク、其處ニ衛生、經濟、總テヲ行ッテ行クト云フコトハ、是ハ非常ニ理窟ガアル、ケレドモ土木ノ請負トカ、大工ノ請負トカ云フヤウナモノハ、日本ニハ寧ロ國粹ノ氣風ガ或程度アツテ、彼等ガ主張シテ居ルヤウニ、親方乾兒ノ關係ガ密接デアリマス、私ハ伊太利ノ團體契約ヲ讀ンダガ、彼等ノ團體契約ハ、各條項ニ記載セル所ニ依レバ、是ハ國家ノ爲メ斯ウ云フ法律ヲ作ルノデアアル、是ハ愛國心ニ依ッテノミ此法律ガ生キテ來ル、是ハ忠誠ノ念ヲ持ツ伊太利ト云フモノ、産業ヲ眞ニ保護シヤウト云フ、愛國至誠ノ信念ト云フモノガ、土臺ニナツテ、此法律ガ生キルノデアルト云フコトヲ各所ニ書イテアリマス、是ハ無論長官ナゾハ百モ二百モ御承知デアリマセウガ、私ハ此伊太利ノ團體契約ノ法文、是ハ眞ニ伊太利ノ建國ヲ思ヒ、伊太利ノ國ヲ何處迄モ繁榮セシメ、其伊太利ノ建國ニ忠實ニシテ、忠誠ナル信念ニ依ッテノミ此法律ハ維持サレ、又此法律ヲ實行シヤウト云フ所ノ各部分部分ノ人間モ、其積リデヤツテ行カナケレバナラスト云フコトヲ主張シテ居リマス、然ルニ最近「ハイカラ」學者共ハ、多少「インターナショナル」ノ思想ニカブレテ、又非常ニ唯心論カラ唯物的ニ徹底シタ所ノコッパ學者共ガサウ云フ文字ヲ使フト、何トナク時代ニ遅レ、今日ノ工場勞働トカ、或ハ工場法ト非常ニ遅レタモノデアルカノ如キ解釋ヲシテ何處迄モ唯物的ニ進ムト云フコトヲ以テ目的トシテ居ルヤウナ傾ガアルケレドモ、ソレハ今ノヤウナ精神ハ駄目デアアル、古河市兵衛ハドウ云フ顔ヲシテ居ルカ、住友ト云フ爺ハドウ云フ顔ヲシテ居ルカ何モ知ラナイ、一ツノ「カンパニー」一ツノ勞働者、サウシテ賃銀ト云フ、三角關係ニアルヤウナ鑛山勞働者——多クノ製造工場ナゾノ勞働者ニ對スル法律、ソレハ宜イケレドモ、幸ニ日本アタリハ温情ノ精神デ、寧ロ普通一般ノ社會組織ヨリモ、眞ノ國粹ハ此處ニアルト彼等ハ主張シテ居ル、土木ヤ大工ノ親方乾兒ト云フ此氣風ガ、丁度伊太利ノ非常ニ復興的ノ、寧ロ或意味ニ於テ反動的デアアルガ、ソレハ何ゾ知ラン法律ヲ實行セラレテ、ソレガ非常ニ成績ヲ舉ゲテ、伊太利ノ町ニ於テハ——羅馬ノ町デハ爭議ナゾハ殆ド少イ、サウシテ斯ウ云フコトハ要ラヌコトヲ申上ゲルヤウデアリマスガ、過般私ハ貧乏代議士デアリマスタガ、其「タクシー」ニ乗ッテ自宅ニ歸リマスタガ、其「タクシー」ノ運轉手ガ言フニハ、アナタ方ガ議場デ色々言ウテ居リマスガ、少シ東京ノ新宿ヤ隅田川ノ邊リニ行ッテ御覽ナサイ、此寒天ニ著ル物モナク、寢ル物モナク寢テ居ル者ガ非常ニ澤山アル、之ヲアナタ方ハ少シモ救フト云フコトヲ御存ジナイ、五十錢ナリ七十錢ナリデ圓「タク」ニ乗ッテ御歸リニナル堂々タル代議士様、是ガ實際ノ今日ノ狀態デアリマス、斯ウ申シテ居リマシタガ、所ガ伊太利ハサウ云フ貧乏人ヲ運レテ來テ——私ハ一軒一軒ノ狀態ヲ見マシタガ、羅馬ノ町カラハ、サウ云フヤウナ野天ヤ寒天ニ倒レテ居ル者ハ、殆ド一掃シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、サウシテ彼等ハ上ト下ト一致シナケレバナラス、眞ニ伊太利ノ國ヲ思フ、愛國の法律デアルトカ、此法律ヲ實行セントスル各「メンバー」ハ、愛國の信念ニ依ッテノミ此法律ガ實行サレルト云フコトヲ、法文の中ニ現ハシテ居リマス、是ハ惡ク言ヘバ反動的思想デアリマスガ、併シ一ツノ伊太利ノ尊重スベキ潮流デナイカ、此勞働團體契約法ト云フヤウナ、尊重スベキ此潮流ガ、幸ナルカナ日本ノ土木、日本ノ建築屋ト云フガ如キ、日本ノ大和魂、所謂主人ノ爲ニハ命ヲ捨テルト云フ所ノ、温情ニ滿々タル此團體ニ之ヲ持ッテ來テ、サウシテ團體契約ト云フモノデ寧ロ縛ッテ紛議ヲ一掃シ、サウシテ團體ト團體トノ間ノ基準ヲ法律的ニ示シテ、兩者ノ感情ヲ渾然一致シタ方法デ行クト云フコトノ考ヲ以テ、勞働組合法モ其處マデニハ出來テ居ラヌガ、將來アナタハ絶エズ立法ノ原稿ヲ御書キニナルノデアリマスカラ、勿論此法律ガ旨ク兩院ヲ通過スレバ御目出タイ話デアリマスガ、更ニ考慮ヲ費スト云フ場合ニ於テ、サウ云フ御考ハナイカドウカ、ソレヲ一ツ私ハ聽イテ見タイト思ヒマス、サウシテ若シ勞働組合法ノヤウナモノデモ、亦別ニ新タニ團體契約法トシテ、勞働組合法トソレカラ勞働扶助法案ト云フ、全ク別個ノ種類ニ屬スルモノヲ、一括シテ團體契約法ト云フモノヲ新タニ法律デ出スノモ一ツノ方法デアリマス、要スルニ勞働者、事業主、雇傭主、ソレカラ勞働者ト云フモノ、上ニ、何處マデモ温情のニ涙アル法律ヲ拵ヘテ行クト云フヤウニ唯物的の信念カラ出ズシテ、唯心のノ法律ヲ、勞働問題ニ付テ作ル、サウ云フヤウナ御考ハナイカ、今日ノ思想問題ニ付テ伊太利ノ惡戰奮闘ヲ審カニ吾々ガ見タ時、其法律ガ今現ニ生キテ、サウシテ最新ノ而モ二三年前ノ法律トシテ其法律ガ執行サレテ、其理想ノ上ニ進ンデ居ルノデアアルカラ、如何デセウカ、幸ヒ斯ウ云フ日本ノ國粹ノ親分子分ガ非常ニ温情的ニ出來上ッテ居ル關係ヲ、法律ノ上ニ加味スルヤウナ考ヲ以テ進ンデ貰フ譯ニ行カヌカ

ドウカ、只今疾病ト云フ文字、或ハ第三號ニ關スル所ノ物質本位カラ物ヲ觀タ所ノ規定、サウシテ人ト人トノ關係ノ規定ガ何トナク分レテ居ルヤウナ氣持モアルノデアリマスカラ、溫情的ノ法律ト云フモノヲ、溫情的ノ規定ヲ場合ニ依ッテハマダ一箇條加ヘルトカ、鬼ニ角溫情的の觀念ニ出發スルコトガ出來ナイカト云フコトヲ聞イテ見タイノデアリマス

○吉田政府委員

御話ノ團體協約ノコトニ付キマシテハ、是ハ勞働組合法ノ審議ニ當リマシテ、内務大臣カラモ私カラモ其委員會ニ能ク申上ゲテアッタ積リデアリマスルガ、決シテ當局ハ團體協約ト云フモノヲ否認スル考ヲ持ッテ居リマセス、現在ニ於キマシテモ例ヘバ海員ノ勞働組合等ノ如キハ、賃銀ヲ船主トノ間ニ團體協約ニ依ッテ定メテ居ルト云フコトハ、御承知ノ通りデアリマス、最近不況ニナリマシタ爲ニ、雙方ノ協定ニ依リマシテ最低賃銀ノ切下ヲ團體協約ニ依ッテ致シテ居リマス、斯ノ如キハ事業主ト勞働者トノ間ノ關係ヲ御話ノ通りニ極メテ圓滿ニ解決スル、其運用ヲ又事業主ト勞働者ノ協調ニ依リマシテ圓滑ニヤッテ行クト云フ上ニ非常ニ結構ナヤリ方ト思ヒマス、現在我國ニ於キマシテ團體協約ガ結バレテ居リマス以上、工場等ニ於キ

マシテハ十數箇所ハモウ出來ツ、アリマス、漸次殖エルト思ヒマス、是等ニ對シマシテハヤハリ據ルベキ法制ノ基礎ヲ與ヘルト云フコトガ最モ望マシイコト、考ヘルノデアリマスガ、團體協約ヲ法律ニ於キマシテ基礎ヲ與ヘルト云フコトニナリマス云フト、隨分ムヅカシイ此法制上ノ技術的ノ問題ガ非常ニ澤山起ッテ來ルノデアリマス、其團體協約ト云フノハ、個人ノ雇傭契約トドウ云フ關係ニ立タセルカ、個人契約ニアッテハ團體協約ノ行ハレタ場合ニ於テ、個人契約ハ此團體協約ニ優先サレテシマフコトハ勿論デアリマスガ、全然個人契約ヲ認メナイ譯ニ參リマセヌ、ドウ云フ效力ヲ團體協約ニ與ヘルカ、ドウ云フ形式デ團體協約ヲ結バセル必要ガアルカ、又團體協約ノ當事者ト云フモノニ付テハ如何ナル規定ヲ要スルカト云フコトハ、申セバ法制上ノ非常ニ精密ナ研究ヲ要スルノデアリマス、私共成べく速ニ團體協約ニ關スル法制ヲ確立シタイト云フ考ヲ以テ別途ニ研究ヲ進メテ居リマス、成べく速ニソレヲ致シタイト思ッテ居リマス

今同勞働組合法ノ中ニソレヲ入レマセヌデシタコトハ、勞働組合法ノ中ニタツタ一箇條勞働協約ニ關スル規定ヲ入レテ置キマシテモ、非常ニアトニ疑問ガ殘ルダラウト思ヒマス、却テ紛淆

ヲ來シハシナイカ、勞働組合法ハ勞働組合ニ關スル法制ニ關スルコトヲ主ニ致シマシテ、團體協約ニ付キマシテハ別ニ團體協約法ト云フヤウナモノデ、完全ニ整備シテ出スコトガ必要デアラウ、斯ウ考ヘテ只今調査ヲ進行シテ居ルノデアリマス、成べく早く脱稿致シタイ積リデヤッテ居リマス

其問題ト屋外勞働者ト引括メマシテ只今色々御話ニナリマシタガ、非常ニ結構ナ御著眼デアルト考ヘマス、併シ屋外勞働者ハ御承知ノ通りニ其業態ガ必ズシモ一致シテ居リマセヌシ、又利害關係ノ上カラ申シマシテモ、一ツノ工場デ引續イテ勤メルト云フヤウナ事業單位ト云フモノガ永久的ニキマッテ居リマセヌカラ、中々組合ヲ拵ヘ惡イノデアリマス、一部分々々々ニ付テハナイコトモアリマセヌ、例ヘバ市ノ電氣局ノ従業員ノ組合デアリマス、市ノ水道局ノ従業員ノ組合ダト云フ

ソレニ對シテ東京ノ請負業者ト云フモノヲ、又一ツ纏ッタ組織ニ是ハ出來テ居リマスガ、其間ニ東京ノ屋外勞働者ノ團體協約ヲ結ブト云フヤウナコトハ、マダ一々ノ團體協約ハ中々ムヅカシイノデアリマスカラ、ソコマデニ大分距離ガアルト思ヒマスガ、海員等ハ是ハ業態ガ利害關係ガ一致シテ居リマスシ、元カラ海員組合等ハ纏リノ宜イ組合デアリマスカラ、ア、云フ風ニ旨ク協調的ニ仕事ガ運ンデ居ルノデアリマス、屋外勞働者ハ最モ纏リ惡イ所ノ代表的ノモノト思ッテ居リマス、ト云ッテ決シテ望ミヲ捨テル譯デアリマセヌガ、實地ニ之ヲ纏メテ行カウト云フコトハ隨分ムヅカシイト思ヒマス

市ノ水道局ノ従業員ノ組合ダト云フノニ稍、永續的ニ一ツノ雇ハレテ居ル者ノ組合モ出來マスガ、ソレ等ノ組合ノ現状ハ甚ダ満足ト云フノニハマダ遠イト思ヒマス、ドチラカト申セバ協調的ニ働クコトガ非常ニ多イヤウニ私共感ジテ居リマス、御話ノヤウニ東京ナラ東京ノ土工組合デアルトカ、東京ノ大工組合ト云フヤウナモノ一ツノ纏ッタ組合ニ之ヲ結成致シマシテ、サウシテ

尙ホ又伊太利ノ立法ノ例ヲ御話デアリマシタガ、是ハ私共モ伊太利ノ最近ノ立法ハ非常ニ特色ヲ持ッテ居ルト思ッテ居リマス、其中ノ或部分ノ行キ方ニ付キマシテハ吾々日本國民ノ考、又日本ニ近イ所モアルト思ヒマスガ、一々我國ノ立法ニ於キマシテ伊太利ノ組合法其他勞働法制ニアリマスルヤウナ國家ニ對スル忠誠ノ念ト云フヤウナコトデアラウカト思ヒマスルガ、併シア、云フ行キ方ト云フモノモ吾々ハ勞働立法ヲスル上ニ於テハ他山ノ石トシテ大ニ參考ニスル値打ガアルト思ヒマス、

我國ニ於キマシテハ伊太利ノ如ク、殊更ラシク日本國民トシテ忠誠ノ念ニ依ッテ此法律ヲ運用スルノダト云フヤウナコトヲ、今日ノ色々ナ立法ノ中ニ於テ入レル必要ハ私ハナイト思フノデアリマス、伊太利デハ特ニ必要ガ強カラウカト思フノデアリマス、其邊ハ違ヒモアルコトデアリマスケレドモ、其精神トスル所ハ、ソレハ大ニ吾々モ參考ニシテ宜シイト考ヘテ居リマス、團體協約ノコトニ關シマシテハ只今申上ゲマシタヤウニ、出來ルダケ速ニ其方面ノ法制ヲ整備シタイト云フ積リデ調査ヲ進メテ居ル次第デアリマス

○高見委員 ソレニ對シテ念ヲ押シテ置ク、御話ハ能ク分リマシタ、御意思ノアル所ハ能ク分ッタ、併シ如何デスカ私ガ今申上ゲタヤウナ温情主義、情化ト云ツテハオカシイガ、勞働者ト雇傭主ガ精神的ニ結合シテ行ク主義、サウシテソレハ日本ノ國民ノ思想ニビッタリ合ッテ居ル所ノ主義、サウシテサウ云フヤウナ意味ヲ以テ、サウシテ今御研究中デアルト云フガ、今日ノ社會思想ノ變化ノ激シイトキニ向ッテ、多少反動的ト申シマスルカ、其思想ノ上ニ出發シテ、サウシテ兩者ノ融合統一ヲ圖ルト云フヤウナ意味ノ下ニ、殊ニ伊太利ナドノ話ヲ聞クト云フト非常ニ若イ勞働大臣、其下ニ於ケル祕書官ナドノヤウ

ナ人モ殆ド晝夜奮闘シテ、其救済ニ向ッテ國民ノ爲ニ努力シテ居リマスカラ、アナタモ若イシ、健康デ非常ニ御勉強家デアリマスカラ、如何デスカ、サウ云フ信念ノ上ニ立ッテ來ルベキ暮ノ議會ニ自ラ御出シニナルヤウナ考ハナイカ、今日ノ激烈ナル世相ニ御考ヘニナリ、又内外ノ國情ヲ御覽ニナリ、又日本帝國ノ國民ノ從來ノ善キ美風ヲ何處迄モ助長サセルト云フコトノ上ニ於テ此法律ガ出レバ尙ホ一層——サウ云フヤウナモノヲ本年ノ暮ニデモ出スヤウナ考ハアルカナイカト云フコトヲ一寸聞イテ見タイ

○吉田政府委員 成程御話ニ依リマシテ、私ノ御答漏レノアッタコトヲ悟リマシタ、此社會立法、詰リ其他ノ法令ノ起草ニ當ッテ唯物的デナシニ、モウ少シ道義方面カラノ考ヲ主トシテ出發シタラドウカト云フ御氣付デゴザイマス、是ハ實際ノ立法ヲ致シマスル上ニ於キマシテハ、ヤハリ中庸ヲ得ネバナリマセヌノデ、無論社會ノ良風美俗ヲ維持スルコトヲ常ニ念頭カラ離レテハナラヌト考ヘテ居リマス、ト同時ニ物質的方面ニ於ケル規定モ亦必要デアル、多クノ社會立法、殊ニ斯ウ云フ給與ニ關スル規定ガ、物質ノ方面ニ重キヲ置クコトハ性質上已ムヲ得ナイト思ヒマス、唯ソレヲ規定スル上ニ付キマシテ、

私共ノ持ッテ居ル心持ノ上ニ於テ、社會ノ良風美俗ヲ忘レナイト云フコトヲ立法ヲシテ、過ヲ少クスルコトガ出來ルト思ヒマス、是ハ立法ノ上ノミナラズ、法律ノ運用ニ於キマシテモサウ云フ考ヲ持ッテ居ラネバナラヌト思ヒマス、勞働組合法ニ致シマシテモ、ヤハリアノ法律ヲ運用シテ行キマス上ニ於キマシテハ、勞資ノ協調、勞資一體トナッテ、互ニ相助ケ合ッテ、産業ノ發展ヲ圖ッテ行クト云フコトヲ念ト致シマシテ、アノ法律ノ運用ニ當ラナケレバナリマセヌ、アノ法律ヲ運用スルノニ、勞資ノ鬭爭ヲ念トシテ運用スルノト、只今申上ゲマシタ趣旨デ運用スルノトデハ、同ジ法律ノ運用デアッテモ非常ニ結果ガ違ヒマス、多クノ社會立法ガ給與、救貧、防貧ノ制度ニ觸レテ居ル以上ハ、其規定ダケヲ見マス、常ニ物質的ニ傾キ過ギテ居ルト云フ御感想ガアリマセウケレドモ、私共ト致シマシテハ、立法ヲスル心持ト致シマシテハ、イツデモ我が國ノ良風美俗ヲ頭ノ中ニ置キ、勞資ノ協調、貧富ノ間ノ美シイ情誼ニ依ル解決ト云フコトヲ念頭ニ置キマシテ、ソレ等ノ立法ニ當ル必要ガアラウト思ヒマス、ト言ッテ單純ナ道德的規定ノミデハ、社會政策ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ナイ、ソコニハドウシテモ物質的ノ規定ガ必要デアルト思ヒマ

ス、私共トシテ心掛クベキコトハ、兩方面ノ事ヲ常ニ忘レズニ、正シキヲ得テ行クヤウニ心掛ケル點ニアルト思ヒマス、御質問ノ趣旨ハ能ク諒承致シマシタ

尙ホ協約法ニ付テ、此次ノ議會ニ提案スル意思アリヤ否ヤト云フ御尋デアリマスガ、是ハ既ニ勞働組合法ノ制定ニ掛リマシテ以來、協約法ニ關スル審議ヲズツト進メテ居リマスガ、何分問題ガムヅカシイシ、又私共ノ役所ノ、詰リ社會政策ノ見地カラ一番ノ重點デアリマスガ、是ハ司法省方面ノ民事的ノ法令ガ非常ニ大部分ヲ占メルノデアリマス、丁度小作法制ト似タ意味デ、司法省方面ノ研究ガ非常ニ面倒デアリマス、ソレニ前ニ團體協約ニ付テ司法省デ研究サレタヤウニ承ッテ居リマシテ、司法省デ研究資料ヲ集メラレテ居ルト思ヒマス、可ナリムヅカシイ法制デア

ルノデ、ハッキリ次ノ議會ニ提案スルマデノ準備ガ整ヒマスカ、ドウモ明確ニ御答致シ兼ねマスガ出來ルダケ、調査ヲ終リマシテ成案ヲ得タイト勉強シテ居リマス

○高見委員 次ニ第三條ノ三項デアリマスガ、私モ此三項ハ勞働者本位ノ三項デナイデハナイガ、ドチラカト云ヘバ、金持ヲ助ケル法條ノヤウニ考ヘテ居ル、此法條ハ寧ロ有害無益デアルカ

ノ如ク考ヘマス、先程原君カラモ詳細ナル質問モアリマシタガ、一寸聴イテ置キタイノハ「下請負人が破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ其ノ行方ガ知レザルトキハ此ノ限ニ在ラズ」斯ウ云フ但書ガアリマスガ、此但書ハ、催告スベキ旨ヲ元請負人が下請負人ニ請求スルコトガ出来ルケレドモ、若シ下請負人が破産ノ宣告ヲ受ケテ居ル、若クハ行方ガ分ラヌ時ニハ、敢テ催告ノ必要ハナイト云フ意味デアリマス

○吉田政府委員 其通りデアリマス

○高見委員 是ハ一ツハ労働者ノ問題デアリ一ツハ請負人ノ問題デアリマスカラ、裁判上ドレ程ノ實例ガ現ハレルカ分ラナイガ、行方ガ分ラヌト云フノハ如何ナル標準デ云フノデアリマスカ、事實上ニ於テ行方ガ分ラヌト解釋スルノデアリマスカ、労働者ガ見テ何處ヘ行ッタカ分ラヌト云フノデアリマスカ、労働者ダケ合點スレバ宜イノデスカ、例ヘバ私ハ朝鮮、臺灣ト云フ文字ヲ止メマシテ、北海道ト致シマシテ、北海道ニ元請人が居ッテ大キナ工場ヲ持ッテ居ル、所ガ下請人が青森ナリ秋田ナリ仙臺カラヤッテ來テ病氣ニナッテ仕事ヲ棄テ、行ッテシマッタ、所デ元請人ハ下請人ノ住所ヲ知ッテ居ル、東京神田淡路町ニ行ケバ現ニ看板ヲ懸ケテ居ル、労働者ノ方デハソレヲ探サナケレ

バナラスト云フコトニナッテ、行方ガ分ラヌト云フト、イヤ行方ハ分ッテ居ル、札幌ノ或ル宿屋ニ下請人が泊ッテ居タノダガ、仕事ガ済ンデサッサト東京ニ逃ゲテシマッタ、ソレバ労働者ノ方デ宿屋ニ聞イタガ何處ニ行ッタカ分ラナイ、ソコデ元請人ニ向ッテ、行方不明デヤナイカト突込ンデ見ルト、元請人曰ク、神田ノ淡路町ニ居ル、ソレデ其處ニ催告狀ヲ出スト云フコトニナリマスガ、行方ガ知レナイト云フコトハ、ドノ程度ノモノデスカ

○吉田政府委員

行方不明ト云フノハ民法ニモ同ジ例外ガ規定シテアルト思ヒマスガ、只今御例示ニナリマシタヤウニ、行方ハ能ク分ッテ居ルノダケレドモ、労働者ガ知ラナカッタト云フノハ、行方不明ノ中ニ這入ラスト思ヒマス、左様ナ場合ニハ元請人が行方ヲ知ラシテヤレバ直チニ明瞭スル譯デアリマスカ、併シ事實ハ只今御例示ノヤウナ場合モ、アリマセウケレドモ下請人ノ行方所在等ニ付テハ労働者ノ方ガ能ク承知シテ居ルダラウト思ヒマス、下請人ハ自分ヲ直接使ッテ申サバ親方ニ當ル、一番縁ノ深イ人デアリマスカラ、其人間ガ何處ニ居ルカト云フコトハ大抵分ルト思ヒマス、ノミナラズ第二項ヲ御覽ニナリマスレバ下請人が特ニ扶助ヲ引受ケテ居ル契約ノハッキリシテ居ル

場合ニ三項ガ適用ニナルノデアリマシテ、隨テ御話ノヤウニ先ヅ第二番ニ元請人ノ所ニ飛込ンデ行ッテ斷ハラレルト云フコトハ極メテ稀デアッテ、下請人ノ所ニ飛込ンデ行クノガ順序デアリマス、其下請人が労働者ニ一番分ラダラウト思ヒマス、又事實下請人カラ金ヲ貰ヒ難イヤウナ場合ニ於キマシテハ、保險法ニ於キマシテ役所カラ直接ニ労働者ニ拂ッテヤッテ宜シイノデアリマス、下請人が居所、轉々トシテ居ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、保險經濟ノ方カラ労働者ニ拂ッテヤルコトガ出來ルノデアリマスカラ、御尋ノヤウナ場合ニ決シテ労働者ガアッテコッチスル爲ニ不利益ヲ生ズルコトハナイト思フノデアリマス、何故サウカト申シマス、ソレハ下請ニ一番ニ請求スルノガ極メテ自然ノコトデアアル、多クノ場合サウデアアル、又下請人ノ住所氏名等ハ契約ヲサセタ時分ニ、工場ノ帳場ニ揭示サセル積リデアアルカラ、直接ニ労働者ニ接觸致シマス下請人ノ住所ガ、労働者ニ不明デアアルヤウナ場合ハ稀ニハアルカモ知レマセヌガ、極メテ例外的ニシカ起リ得ナイト思ヒマス、唯是ハ元請人ガ只今ノ催告ヲスルコトヲ請求スルコトガ出來ルカラト言ッテモ、元請人ヲ無暗ニ保護スル結果ニナルノデアアリマセヌ、其場合ニハ元請人が下請人ニ

扶助ヲ引受ケサセル場合デアアルカラ、隨テ元請人ト下請人トノ請負契約ノ條項等モソレニ應ジテ出來テ居ルニ違ヒナイ、サウシテ下請人ハ住所ヲ届ケテ居リマスカラ、サウ云フ場合ニ尙且ツ下請ニ少シモ請求ヲセズシテ、サウシテ元請ノ所ニ飛込ンデ行ッテ労働者ニ、ソレハ下請ニ請求シテ呉レト言ハレルノハ、言ハレマシテモ決シテ無理トハ思ハヌト思フノデアリマス

○高見委員

局長ハドウモ實際ノ事情ニ疎イノデハナイカト思フ、何故カト云フト、今ノ場合デナイケレドモ、先程ノ屋外労働ノ方ガドウモ判然シナイ、工場ノ方ハ非常ニ固著シテ居ル、屋外労働ハドウモバラ／＼ニナッテ轉スルト仰シヤルケレドモ、田舎ノ方ニ行クト其反對デアアル、例ヘバ絲ノ工女ナドハ毎年呼ビニ行ク、例ヘバ私ハ富山縣デアアルガ、工場ヘ行ク工女ハ富山縣ノ女デアアルガ、去年行ッた者ハ嫁ニ行ッタリ、子供ヲ産ンダリシテ、今年ハ他ノ内容ノ分子ノ變ッた者ガ行ク、ソレカラ屋外労働ト申スト、何處デモ水害ナドデ毎年々々海岸ガイタムノデ縣デハ一年百萬圓ナラ百萬圓ノ經濟ノ中デ、十萬圓トカ二十萬圓ノ土木費ハ毎年キマッテ居ル、ソレデアアルカラ少シ大キナ請負ヲ商賣ニシテ居ル者ト労働者ノ間ハ非常ニ仲好クシテ居ル、又今年

ハ水害ガアツテ何兵衛ト何兵衛ガ何處
ノ仕事ニ行クト云フ位マデキマツテ居
ルノデアツテ、屋外勞働ノ方ガ寧ロ定著
シテ、工場勞働ノ方ガ何ゾ圖ラン、形
ハ非常ニ定著シテ居ルヤウデアルケレ
ドモ、内容ノ分子ガ變ツテ居ルコトガア
ル、ダカラ實情ヲ御研究ニナルト非常
ニ違ツテ居ルト云フヤウナコトガアリ
ハシナイカト思フ、行方ノ知レヌ場合
ニ於テモ、元請ト下請トノ間ニ書面デ
契約ヲスルト言フケレドモ、勞働者ハ
書面デ契約シテ居ルカドウカハ知リマ
セス、下請人ガ病氣ノ時ニハ誰ガヤル
トカ、工場ノ貼紙ニ書イテナイカラ、
ソナコトハ理窟デアツテ、事實上ハド
ウカト云フト、下請人ニ請求スレバ宜
イカ、元請人ニ請求スレバ宜イカ分ラ
ナイ、實際ハ下請人トヨリモ元請人ト
ガ親シイ、茲ニ水力電氣ガ長野縣ナラ
長野縣ニ起リマス、其仕事ヲ其縣ノ
請負人ガ取ツテ行ツテシマフ、其後ニ下
請人ガヤツテ來テ其中五十萬圓吳レ、百
萬圓吳レト言ウテ、群馬ナリ栃木カラ
來ルト云フノデアツテ、元請ハ其縣ノ者
デ、貴族院議員ナドモ居ルガ、サウ云
フ人達ガ他カラ下請人ヲ連レテ來テヤ
ラセル、約束ガサウ出來テ居ルケレド
モ、今度下請人ガ算盤ヲ彈ク時ニハ、
自分ノ能ク知ツテ居ル勞働者ハ連レテ
來ナイ、一人一日五十錢八十錢デ其地
方ノ人間ヲ使フ、サウシテ飯場デ仲好
クシテ居ルケレドモ、仕事ガ濟ンデシ
マフト、一日モ早ク計算シテサツサト引
揚ゲテシマフ、アナタノ御考ハアベコ
ベデスヨ、引揚ゲテ行ツタ後ハ何處ニ
行ツタカ分ラヌカラ、勞働者ハ元請人ノ
所ニ行ク、サウシテ災害扶助法ト云フ
モノガ出來テ、怪我シテモ金ヲ貰ヘル
ヤウニナツタサウダト言ツテ元請人ノ所
ニ申出ルト、オ前ハ行方ガ分ラヌト言
フケレドモ、俺ノ方ニハ下請トチヤン
ト契約シテアツテ分ツテ居ル、是ハ下請
人ガ拂フコトニナツテ居ルト言ハレル、
其行キ所ハ何處カト聞クト下關ダト言
フカラ其處ヘ手紙ヲ出シテ見ル、考ヘ
テ御覽ナサイ、金ヲ拂ハナイデ逃ゲテ
行ツタ者ガ、下關ニ行ツテ居ルト云フノ
デ、其處ヘ手紙ヲ出シテ見テモ普通一
般ノ常識デ誰ガ金ヲ拂フモノデスカ、
然ルニ一方ハ病氣デ金ノナイ勞働者
デ、相手ガ金持デアアルナラ催告モ宜イ
デセウケレドモ、下請ハ行方不明デア
ル、元請人ハ俺ハ下請ト斯ウ云フ約束
ガアルカラ知ラス、サウシテオ前ハ催
告狀ヲ出シタラ宜イト言ツテモ、勞働者
ガ催告狀ヲ出スコトガ分リマスカ、催
告狀ヲ出スノハドウシテモ役場ニ行カ
ナケレバナラス、内容證明ヲシテ其料
金ヲ拂ハナケレバナラス、サウ云フモ
ノヲ出シテモ下請人ハ下關ニ飛ンデ
行ツテ、サウシテ勞働者ハ怪我ヲシテ
居ツテモ一文モ貰ヘナイ、今日ノ生活ニ
困ル勞働者ニ、元請ト下請トノ契約ヲ
知ツテ居ルカ、誰ガソナモノヲ研究ス
ル勞働者ガアリマスカ、五十錢八十錢
ノ勞働者ヲ捉ヘテ、此事業ハ元請ト下
請トノ間ニ約束ガ出來テ居ル仕事デア
ル、サウシテ事務所ハ閉鎖シタ、宿屋
ニハ居ラス、行方不明若クハ破産ノ宣
告——破産ノ宣告ト云フモノハソレハ
新聞ニ廣告サレテ初メテ分ルノデア
ル、勞働者ニサウ云フコトガ分ルカ、
サウ云フ點カラ考ヘルト、全ク是ハ勞
働者本位ノ法律デナイト思フ、ソレヨ
リハ何カ方法ヲ講ジテ、元請デモ、下
請デモ、ドッチデモ拂フコトニシタラ如
何カト思フ、下請人ガ責任者デアアルナ
ラバ、元請人ガ之ヲ立替ヘ、元請人ガ
責任者デアアルナラバ元請人ガ支拂フト
云フコトニスレバ宜イ、勞働者ノヤウ
ナ貧乏人間ニ、内容證明ヲ出サシタ
リシナクテモ宜イ、内容證明ヲヤッタ
リ、手紙ヲヤッタリシテ返事ヲ貰フマデ
ニハ、病院ニ入ツテ居ル人間ハ死ンデシ
マフ、大キナ元請人ニナルト生意氣
ナ辯護士トカ、事務員トカ三百の者
ガ居テ、「オ前達ハ法律ハ分ラヌダラ
ウ」勞働者ノ方デハ病氣デ瘦テ居ル、
或ハ腕ガ一本無クナツテ困ツテモ、病院
ニハ這入レヌ、「ソレデヤ下請ヘ行ケ」
「下請ハ分リマセヌガ何ダカ、下關ニ居
ルサウデス」「ソレデヤ下關ヘ行ツテ來
イ」ト言フ、或ハ「破産ノ宣告ヲ受ケテ
居ルト云フコトヲ聞イタカ」「聞キマシ
タ」「ソレハ實ハ受ケテ居ラス、立派
ナ紳士ダ、宣告ヲ受ケタトカ受ケヌカ
オ前ハ新聞ヲ見タカ、見ナイダラウ、
下關ノ何十何番地ニ其下請ガ居ルカ
ラ、内容證明ヲヤツテ返事ヲ貰ヘ」ト
云ツタ所ガ、ソナ惡イコトヲシテ居ル
下請人カラ返事ガ來マスカ、ソナコ
トハ餘リ無駄ナ話デス、向フノ返事ヲ
待ツテ初メテ元請人ニ行カナケレバナ
ラヌト云フコトデアレバ、或ハ又郵
便局デ内容證明ノ判サヘ貰ツテ來レバ
宜イノダト云フコトデアレバ、サウ云
フ手續ヲサセルト云フコトガ、勞働者
ニ何ノ實益ガアルカ、是ハ僅ニ勞働者
ニ無用ノ手數ヲカケルノミデ、期スル
所ハ元請人ガ利益ヲスルバカリデア
ル、高ガ勞働者ト土木ノ請負ノ間ニ、
斯ウ云フムヅカシイ規則ヲ作ツテ何處
ガ勞働者ノ利益ニナルカ、寧ロ是ハ元
請人、下請人等「ブルジョア」ノ爲ノ
ミニ作ラレタ「ブルジョア」保護ノ法律
デハナイカト私ハ考ヘル、ドウ御考ヘ
ニナリマスカ

○吉田政府委員 大變事情ヲ盡シテ此
規定ガ役ニ立タヌヤウナ御話デゴザイ
マシタガ、法文ヲ御覽ニナリマスルト

元請負人が原則トシテ事業ノ事業主デ
アリマス、第一項ニ其事ハ書イテアリマ
ス、數人請負人がアル場合ハ、元請人が
事業主ナノデアリマス、元請人が補償
スベキデアリマス、併ナガラ下請人が
直接ニ事業ニ從事致シマシテ労働者ヲ
使用スルト云フ關係カラ致シマシテ、
第二項ニ依リマシテ、下請負人ニモ亦
扶助ヲ爲サシムル途ガ開ケマシテ、是
モ労働者ノ爲ト考ヘマス、隨テ下請負
人が明ニ扶助ヲ引受ケテ居リマス場合
ハ、直接労働者ニ接觸ヲ致シテ居リマ
ス所ノ下請負人が、先ヅ支拂ヲスルト
云フノガ極ク普通ノ順序デアアル、隨テ
左様ナ引受ノアル場合ニ、適テ元請負
人ニ請求スルト云フコトハ、普通ノ順
序ニ違ッタヤリ方デアリマス、今例ト
シテ御舉ゲニナリマシタノモ、普通ノ
場合ト致シマシテハ、事業ノアル場合
ニ事業上ノ疾病或ハ事業上ノ災害ト云
フモノガ起ツテ來ルノデアリマスカラ、
大抵ノ時ハ下請人が居ルノデアリマ
ス、併シ例トシテ御舉ゲニナリマシタ
ヤウニ、下請人が引拂ツタ所デ請求ス
ルト云フヤウナ場合モアリマセウ、サ
ウ云フ場合ニ、下請負人ニ一逼モ請求
シテ居ラナカッタ云フ場合ハ、元請人
ハ法律ノ規定ノ上カラモ下請人ニ催告
スベキ權利ヲ持ツテ居リマス、ケレドモ
御話ノ如ク、元請人ト労働者トハ親シ
イ仲デアルト云フヤウナ例ノ場合
サウ云フ例ガ地方ニ於テアルコトモ承
知シテ居リマス、其場合ハ下請人が扶
助ヲ引受ケルト云フ二項ノ規定ヲ適用
サレナイコトガ多イ、元請人ハ労働者
ハ懇意ナ間柄デアアル、下請人ハ他カラ
入ッテ來テ、臨時ニ事業ヲ管理スルト云
フヤウニ、元請負人ノ使用人ノヤウナ
積リデ、他カラ入ッテ來ルト云フ場合、
下請人ト労働者ノ關係ヨリ、元請負人
ト労働者ノ方ガ密接ト云フヤウナ場合
デアリマシタナラバ、二項ノ規定ニ依
リマシテ、下請人ヲ事業主トスルト云
フコトハ多ク行ハレナイガラウト思
フ、ソレニモ拘ラズ又例外ガアリマシ
テ、サウ云フ場合デアアルニ拘ラズ、下
請人が扶助ヲ引受ケルト云フコトガ法
律ノ表カラ出來マスカラ、サウ云フ弊
害ガアルカモ知レナイ、サウ云フ場合
ニ事業ガ完了シテ、下請人が其場所ニ
居ナイト云フヤウナコトガ起リマシタ
ナラバ、是ハ土木建築ニ付キマシテハ
御承知ノ通り強制保険ナノデテリマス
カラ、保険ヲ致シテ居リマス國家自ラ
扶助責任ヲ縣廳ノ手ヲ通ジマシテ果
ス、左様ナ遠隔ノ地ニ、直接扶助スル
責任者ガ離レテ居ッテ、便宜デナイト考
ヘマシタナラバ、事業主ハ労働者ノ爲
ニ直接ニ保険金ヲ戻シテヤルト云フ途
ヲ開イテアルノデアリマスカラ、決シ
テ御話ノヤウニ、事業主ヲ保護シテ勞
働者本位デナイト云フノデナイ、何處
マデモ労働者ノ爲ヲ考ヘマシテ、扶助
法ノ第三條並ニ保險法ノ規定ガ出來テ
居ルノデアリマスカラ、之ヲ御意見ノ
ヤウニ改メマシテ、ドッチデモ拂フ、催
告ノ抗辯ナシニドッチデモ請求ヲ受ケ
テ置イテ見マシタ所デ、ヤハリ拂フ誠
意ノナイ事業主或ハ下請人ト云フモノ
ハ唯アツチカラ拂フノダ、アツチヘ行ッ
テ、片方デハソナコトヲ云ッテコッ
チヘ來テモ駄目ダカラアツチヘ行ッテ吳
レト言ハレルヤウナ弊害ヲ豫想スレバ
其弊害ノ方ガ多イカト思ヒマス、ドッチ
ガ第一順位、ドチラガ主ト云フコトガ
キマツテ居リマス方ガ、労働者トシテモ
心強ク、物が早く運ビマス、ソレデ運
ビマセヌ場合ハ保險金支拂ノ原則ニ對
シテ例外ヲ設ケテ、政府ノ職權ヲ以テ、
扶助ヲ受クベキ労働者、或ハ労働者ガ
不幸ニシテ死亡シタ場合ハ其遺族ニ對
シテ、事業主ノ扶助ニ代ッテ政府カラ保
險金ヲ支拂フト云フ途ヲ開イテアルノ
デアリマスカラ、何處マデモソコハ親
切ニ考ヘテ居ル積リデアリマス、決シ
テ御話ノヤウナ偏頗ナ依怙ノ考デ是ガ
立案サレテ居ルノデハゴザイマセヌノ
デ、殊ニ第三條ノ規定等デ催告ノ抗辯
ヲ致スト云フコトハ、御質問ノ最初ニ

御話ニナリマシタ通りニ、ソレガ訴訟
ニナッタラ梓デ色々往復ガアルノデア
リマスガ、請負人ト労働者トノ間ニ最
後ノ訴訟ノ時ニハ、ソレヲ極マリヲ附
ケル途ハ法律ノ上ニ於テハ開イテ置カ
ナケレバナラヌケレドモ、ソレニ至リ
マスマデニハ、只今申シマシタヤウニ
中々金ガ貰ヘナイ場合ニハ、労働者若
クハ遺族ニ對シテ直チニ國家ノ保險經
濟カラ扶助ニ變ヘテ支拂フコトガ出來
ルノデアリマス、國庫ノ方ハ保險料ヲ
取ッテ居ルノデアリマスカラ、損ヲスル
ノデハナイノデアリマス、旁以テ決
シテ御心配ノヤウナ弊害ハナイト考ヘ
マス

○高見委員 ドウモ今ノ御話デハ腑ニ
落ちナイ、ソレハドウ云フ譯カト云フ
落ト、元請負人ト下請負人ノ約束ハ如何
様ニモ出來ル、又誰ガ支拂當事者デア
ルト云フコトヲ豫メ元請人ト下請人ノ
協定スルコトハソレハ自由デス、今茲
ニ災害ノ問題ガ起ッテ來ルト云フヤウ
ナ時ニ當ッテ、是ハ裁判上ノ問題デア
ルト仰シヤルケレドモ、兎ニ角今労働者
ガ血ヲ流シテ非常ニ困ッテ居ル、金ガ要
ル扶助料ヲ出シテ貰ヒタイト云フ時
ニ、下請人が何處ヘ行ツタカ分ラナイト
云フ時ニ、一應催告ノ手紙ヲヤレ、サ
ウシテ其手紙ヲ持ッテ來ナケレバ拂ハ
ナイト云フコトデアルト、ソレハ催告

ヲシタバケデ宜イト云フコトデハ徒ニ手數ヲ掛ケルノデハナイカ、ソコデ愈々訴訟ニナツタ場合ニハ、元請人ノ責任デハナイカ、或ハ下請人ガ本當ノ責任者デナイカト云フヤウナ時ニ、是ハ二人ノ間ニチャント約束ガ出來テ居ルカラシテ元請人ト下請人ノ間ノ議論ヲ明確ニスル方ガ自由自在デアルケレドモ、併ナガラ何等效用ノ無イヤウナ、勞働者カラシテ殆ド無意味ナヤウナ催告狀デ、一應請求ヲシナケレバ元請人ノ方ニハ行カレス、而モ元請人カラ返事ガアラウガナカラウガ、何デモ宜イ、サウ云フモノサヘ持ッテ居レバ、一寸銀行ノ切符カ何カノヤウニ持ッテ來ルト、ソレヲ見テ適當ニ相談ヲスルト云フコトハ、單ニ勞働者ノ手數ヲ掛ケルニ過ギナイ、勞働者ノ方カラ見レバ、下請人デアラウガ、元請人デアラウガ何デモ宜イ、何ト云フモ事業主ノ方ハ金ヲ持ッテ居ル、下請デアラウガ元請デアラウガ、場合ニ依ッテハ下請人ノ方ガ金持デアリマシテ、元請人ノ方ガ貧乏ナコトガアルガ、兎ニ角下請モ金持、元請モ金持何レモ金持デアル、是ハ仕事ノ場合々々ニ依ッテ、或ル災害ノ起ッタ場合ニハ豫メ誰ガ引受ケルト云フコトハ約束ラシテ掛ルガ宜シイ、サウシテ約束シタ上デ訴訟ノ事件ガアツタ時ニハ勞働者ノ方カラ兩方一遍ニ訴ヘテ、

元請人ガ債務者デアラウガ、下請人ガ債務者デアラウガ、ハッキリスル途ヲ開ケバ十分デアル、ソコデ元請ト下請トノ間ノ兩者ノ約束ヲ明カニシテ置ケバ、ソレデ仕事ヲスル時ニ於ケル元ノ出發點モ十分ニ明確ニナル、勞働者ニシテサウ云フ手數ヲ掛ケサセテ、サウシテ裁判上カラ眺メテ見テモ、實際ノ效果カラ眺メテ見テモ、催告サヘスレバソレデ宜シイト云フヤウナ程度ノモノヲ作ッテ、サウシテソレヲスルノハ徒ニ三角關係ヲ複雑ニスルノデアツテ、勞働者ニ無駄ナ手數ト無駄ナ責任ヲ負擔サセルト云フコトニ過ギナイノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、モウ少シ其邊ノ御説明ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 昨日來專ラ其點ヲ説明シテ居ル積リデアリマスガ、マダ御了解ヲ十分ニ戴キマセスコトハ、甚ダ残念ニ思フ、責任ハ此方ガ明確ニナルノデアリマス、誰カラ賠償ヲ受ケルノデアルト云フ事ガハッキリ致シテアリマス方ガ宜シイノデ、ドチラデモ宜イト云フ事ハ、一見有利ノヤウデアツテ、實際ハ扶助ノ責任ヲ果シテ貰フ上ニ於テハ不便ナノデアリマス、ドチラヘ行ッテモ宜イト云フコトハ、ドチラカラモ斷ラレル危險ガ多分ニアルノデアリマス、是ハ訴訟ノ時ニハ別デアリマスガ、實際勞働者ガ事業主ノ所ヘ行ッテ金ヲ

貰フト云フ時ニハ、ドッチヘ行ッテモ金ヲ貰フト云フコトニナツテモ——ソレハ羈束スレバ宜イト云フ御意思ノヤウデアリマスガ、内部關係トシテサウ云フ事實ガ……

○高見委員 下請ガ拂フモノヤラ元請ガ拂フモノヤラ、初メ仕事ニ掛ル時ニ勞働者ガ一々サウ云フコトヲ知ルコトハ困難デアル、倒レタ後ニナツテ一番都合ノ好イ所カラ貰ヘル方ガ宜イダラウ

○吉田政府委員 サウ云フ事ヲ知ルコトハ中々困難デアルト仰シヤルノデアリマスガ、勞働者ハ普通下請ニ使ハレルノデアリマス、下請ノアル場合ニハ元請ニハ使ハレルノデハナイノデアリマス、下請ガ勞働者ヲ使ヘバコソ下請ト云フモノガ成立ツノデアリマシテ、元請ガ直グ勞働者ヲ使ッテ居ルト云フヤウナ事ハ無イノデアリマス、原則トシテサウ云フコトニナツテ居リマスケレドモ、併シ放ッテ置ケバ何等ノ特約ヲ爲サズシテアレバ事業主トシテ元請ガ責任者ナノデアリマス、特約ヲ致セバ下請モ責任者ニナリマス、サウシテ下請ト云フモノハサウ云フ場合ニ於テハ直接ニ勞働者ヲ使ッテ居ル故ヲ以テ自分ガ責任者ニナルノデアリマス、事實ノ理由トシテハサウナルノデアリマス、ソコデ勞働者ヲ使役シテ居ル下請

人ガ扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニハ、單ニ勞働者トノ内部的ノ契約ト云フダケニ止マラズシテ、其引受ノ契約ヲシタ場合ニハ下請人ノ住所氏名等ヲ揭示サセル積リデアリマス、命令ニ依ッテハ公示心得ト云フノデ今デモ揭示ガ色アリマスノデアリマシテ、揭示スルコトハ決シテ面倒デナイト考ヘマス、デアリマスカラ一ハ自分ノ直接ニ使ッテ貰ッテ居リマスル下請デアリマスガ、今一ツハ明カニサウ云フ揭示ノアルコトデアリマス、下請ニ先ヅ請求ヲスルト云フコトハ決シテ無理ナ要求デハナイノデアリマス、極ク自然ナノデアリマス、事實ニ適ッテ居ルノデアリマス、殊ニ危急ノ場合、或ハ今怪我ヲシテ血流シテ居ルト云フヤウナ時デ、マダ下請ガソコニ居ル、工事期間中デアルニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ病氣ガ長引イタ時ニ始メテ、工事期間ガ終ッテ下請人モ其處ヲ引拂ッテシマッタト云フヤウナ事ガ起リマセウケレドモ、是ハ多クノ場合ニ於テハ業務上ノ災害疾病ニ對スル問題デアリマスカラ、下請人ガ工事ノ主タル責任者デアツテ、其處ニ居ルト云フ場合ニ於テハ先程モ申上ゲタ通り、保險經濟ノ中カラ政府ガ代ッテ保險金ヲ勞働者ニ支拂ッテヤル、斯ウ云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、何同モ申ス事デアリマスガ、

○吉田政府委員 昨日来專ラ其點ヲ説明シテ居ル積リデアリマスガ、マダ御了解ヲ十分ニ戴キマセスコトハ、甚ダ残念ニ思フ、責任ハ此方ガ明確ニナルノデアリマス、誰カラ賠償ヲ受ケルノデアルト云フ事ガハッキリ致シテアリマス方ガ宜シイノデ、ドチラデモ宜イト云フ事ハ、一見有利ノヤウデアツテ、實際ハ扶助ノ責任ヲ果シテ貰フ上ニ於テハ不便ナノデアリマス、ドチラヘ行ッテモ宜イト云フコトハ、ドチラカラモ斷ラレル危險ガ多分ニアルノデアリマス、是ハ訴訟ノ時ニハ別デアリマスガ、實際勞働者ガ事業主ノ所ヘ行ッテ金ヲ

人ガ扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニハ、單ニ勞働者トノ内部的ノ契約ト云フダケニ止マラズシテ、其引受ノ契約ヲシタ場合ニハ下請人ノ住所氏名等ヲ揭示サセル積リデアリマス、命令ニ依ッテハ公示心得ト云フノデ今デモ揭示ガ色アリマスノデアリマシテ、揭示スルコトハ決シテ面倒デナイト考ヘマス、デアリマスカラ一ハ自分ノ直接ニ使ッテ貰ッテ居リマスル下請デアリマスガ、今一ツハ明カニサウ云フ揭示ノアルコトデアリマス、下請ニ先ヅ請求ヲスルト云フコトハ決シテ無理ナ要求デハナイノデアリマス、極ク自然ナノデアリマス、事實ニ適ッテ居ルノデアリマス、殊ニ危急ノ場合、或ハ今怪我ヲシテ血流シテ居ルト云フヤウナ時デ、マダ下請ガソコニ居ル、工事期間中デアルニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ病氣ガ長引イタ時ニ始メテ、工事期間ガ終ッテ下請人モ其處ヲ引拂ッテシマッタト云フヤウナ事ガ起リマセウケレドモ、是ハ多クノ場合ニ於テハ業務上ノ災害疾病ニ對スル問題デアリマスカラ、下請人ガ工事ノ主タル責任者デアツテ、其處ニ居ルト云フ場合ニ於テハ先程モ申上ゲタ通り、保險經濟ノ中カラ政府ガ代ッテ保險金ヲ勞働者ニ支拂ッテヤル、斯ウ云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、何同モ申ス事デアリマスガ、

人ガ扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニハ、單ニ勞働者トノ内部的ノ契約ト云フダケニ止マラズシテ、其引受ノ契約ヲシタ場合ニハ下請人ノ住所氏名等ヲ揭示サセル積リデアリマス、命令ニ依ッテハ公示心得ト云フノデ今デモ揭示ガ色アリマスノデアリマシテ、揭示スルコトハ決シテ面倒デナイト考ヘマス、デアリマスカラ一ハ自分ノ直接ニ使ッテ貰ッテ居リマスル下請デアリマスガ、今一ツハ明カニサウ云フ揭示ノアルコトデアリマス、下請ニ先ヅ請求ヲスルト云フコトハ決シテ無理ナ要求デハナイノデアリマス、極ク自然ナノデアリマス、事實ニ適ッテ居ルノデアリマス、殊ニ危急ノ場合、或ハ今怪我ヲシテ血流シテ居ルト云フヤウナ時デ、マダ下請ガソコニ居ル、工事期間中デアルニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ病氣ガ長引イタ時ニ始メテ、工事期間ガ終ッテ下請人モ其處ヲ引拂ッテシマッタト云フヤウナ事ガ起リマセウケレドモ、是ハ多クノ場合ニ於テハ業務上ノ災害疾病ニ對スル問題デアリマスカラ、下請人ガ工事ノ主タル責任者デアツテ、其處ニ居ルト云フ場合ニ於テハ先程モ申上ゲタ通り、保險經濟ノ中カラ政府ガ代ッテ保險金ヲ勞働者ニ支拂ッテヤル、斯ウ云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、何同モ申ス事デアリマスガ、

人ガ扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニハ、單ニ勞働者トノ内部的ノ契約ト云フダケニ止マラズシテ、其引受ノ契約ヲシタ場合ニハ下請人ノ住所氏名等ヲ揭示サセル積リデアリマス、命令ニ依ッテハ公示心得ト云フノデ今デモ揭示ガ色アリマスノデアリマシテ、揭示スルコトハ決シテ面倒デナイト考ヘマス、デアリマスカラ一ハ自分ノ直接ニ使ッテ貰ッテ居リマスル下請デアリマスガ、今一ツハ明カニサウ云フ揭示ノアルコトデアリマス、下請ニ先ヅ請求ヲスルト云フコトハ決シテ無理ナ要求デハナイノデアリマス、極ク自然ナノデアリマス、事實ニ適ッテ居ルノデアリマス、殊ニ危急ノ場合、或ハ今怪我ヲシテ血流シテ居ルト云フヤウナ時デ、マダ下請ガソコニ居ル、工事期間中デアルニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ病氣ガ長引イタ時ニ始メテ、工事期間ガ終ッテ下請人モ其處ヲ引拂ッテシマッタト云フヤウナ事ガ起リマセウケレドモ、是ハ多クノ場合ニ於テハ業務上ノ災害疾病ニ對スル問題デアリマスカラ、下請人ガ工事ノ主タル責任者デアツテ、其處ニ居ルト云フ場合ニ於テハ先程モ申上ゲタ通り、保險經濟ノ中カラ政府ガ代ッテ保險金ヲ勞働者ニ支拂ッテヤル、斯ウ云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、何同モ申ス事デアリマスガ、

人ガ扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニハ、單ニ勞働者トノ内部的ノ契約ト云フダケニ止マラズシテ、其引受ノ契約ヲシタ場合ニハ下請人ノ住所氏名等ヲ揭示サセル積リデアリマス、命令ニ依ッテハ公示心得ト云フノデ今デモ揭示ガ色アリマスノデアリマシテ、揭示スルコトハ決シテ面倒デナイト考ヘマス、デアリマスカラ一ハ自分ノ直接ニ使ッテ貰ッテ居リマスル下請デアリマスガ、今一ツハ明カニサウ云フ揭示ノアルコトデアリマス、下請ニ先ヅ請求ヲスルト云フコトハ決シテ無理ナ要求デハナイノデアリマス、極ク自然ナノデアリマス、事實ニ適ッテ居ルノデアリマス、殊ニ危急ノ場合、或ハ今怪我ヲシテ血流シテ居ルト云フヤウナ時デ、マダ下請ガソコニ居ル、工事期間中デアルニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ病氣ガ長引イタ時ニ始メテ、工事期間ガ終ッテ下請人モ其處ヲ引拂ッテシマッタト云フヤウナ事ガ起リマセウケレドモ、是ハ多クノ場合ニ於テハ業務上ノ災害疾病ニ對スル問題デアリマスカラ、下請人ガ工事ノ主タル責任者デアツテ、其處ニ居ルト云フ場合ニ於テハ先程モ申上ゲタ通り、保險經濟ノ中カラ政府ガ代ッテ保險金ヲ勞働者ニ支拂ッテヤル、斯ウ云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、何同モ申ス事デアリマスガ、

ハ勞働者ノ方カラ兩方一遍ニ訴ヘテ、

元請人ガ債務者デアラウガ、下請人ガ債務者デアラウガ、ハッキリスル途ヲ開ケバ十分デアル、ソコデ元請ト下請トノ間ノ兩者ノ約束ヲ明カニシテ置ケバ、ソレデ仕事ヲスル時ニ於ケル元ノ出發點モ十分ニ明確ニナル、勞働者ニシテサウ云フ手數ヲ掛ケサセテ、サウシテ裁判上カラ眺メテ見テモ、實際ノ效果カラ眺メテ見テモ、催告サヘスレバソレデ宜シイト云フヤウナ程度ノモノヲ作ッテ、サウシテソレヲスルノハ徒ニ三角關係ヲ複雑ニスルノデアツテ、勞働者ニ無駄ナ手數ト無駄ナ責任ヲ負擔サセルト云フコトニ過ギナイノデアル、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、モウ少シ其邊ノ御説明ヲ願ヒタイ

○吉田政府委員 昨日來專ラ其點ヲ説明シテ居ル積リデアリマスガ、マダ御了解ヲ十分ニ戴キマセスコトハ、甚ダ残念ニ思フ、責任ハ此方ガ明確ニナルノデアリマス、誰カラ賠償ヲ受ケルノデアルト云フ事ガハッキリ致シテアリマス方ガ宜シイノデ、ドチラデモ宜イト云フ事ハ、一見有利ノヤウデアツテ、實際ハ扶助ノ責任ヲ果シテ貰フ上ニ於テハ不便ナノデアリマス、ドチラヘ行ッテモ宜イト云フコトハ、ドチラカラモ斷ラレル危險ガ多分ニアルノデアリマス、是ハ訴訟ノ時ニハ別デアリマスガ、實際勞働者ガ事業主ノ所ヘ行ッテ金ヲ

人ガ扶助ノ責任ヲ引受ケタ場合ニハ、單ニ勞働者トノ内部的ノ契約ト云フダケニ止マラズシテ、其引受ノ契約ヲシタ場合ニハ下請人ノ住所氏名等ヲ揭示サセル積リデアリマス、命令ニ依ッテハ公示心得ト云フノデ今デモ揭示ガ色アリマスノデアリマシテ、揭示スルコトハ決シテ面倒デナイト考ヘマス、デアリマスカラ一ハ自分ノ直接ニ使ッテ貰ッテ居リマスル下請デアリマスガ、今一ツハ明カニサウ云フ揭示ノアルコトデアリマス、下請ニ先ヅ請求ヲスルト云フコトハ決シテ無理ナ要求デハナイノデアリマス、極ク自然ナノデアリマス、事實ニ適ッテ居ルノデアリマス、殊ニ危急ノ場合、或ハ今怪我ヲシテ血流シテ居ルト云フヤウナ時デ、マダ下請ガソコニ居ル、工事期間中デアルニ違ヒナイノデアリマス、ソレガ病氣ガ長引イタ時ニ始メテ、工事期間ガ終ッテ下請人モ其處ヲ引拂ッテシマッタト云フヤウナ事ガ起リマセウケレドモ、是ハ多クノ場合ニ於テハ業務上ノ災害疾病ニ對スル問題デアリマスカラ、下請人ガ工事ノ主タル責任者デアツテ、其處ニ居ルト云フ場合ニ於テハ先程モ申上ゲタ通り、保險經濟ノ中カラ政府ガ代ッテ保險金ヲ勞働者ニ支拂ッテヤル、斯ウ云フ途ガ開カレテ居ルノデアリマス、何同モ申ス事デアリマスガ、

扶助ノ責任ヲ誰ガ一番ニ果スカト云フコトヲハッキリシテ置キタイ、ハッキリシテ置クコトガ簡易迅速ニ保険金ヲ受ケラレル所デアアル、アツチニモコッチニモ行ケルコトニシテ置キマスルト、却テ遷延サセル虞ガアル、斯ウ云フ見地カラ此規定ハ出來テ居ルノデアリマシテ、丁度御心配ニナル點ガ私共ノ立案シテ趣旨トアベコベニ御考ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、實地ニ御明ルイ頭デ御判斷下サレバ、下請人ガ先ヅ扶助ノ義務ヲ果スト云フコトハ左程無理デハナイト云フ事ヲ御了解下サルコトガ出來ルト考ヘマス

○高見委員 今承ッテ驚イタノハ、揭示ヲサセルト云フ事ヲ仰シヤイマシタガ、ソレハ長官ノ希望ノ傳達デモ出スト云フ御聲明デスカ、省令トカ勅令ト云フコトデヤリタイト云フコトガ何カアルノデアリマスカ

○吉田政府委員 是ハ左様ナ方法ヲ何デ規定スルカト云ヒマスルト、私カラ傳達スルノデアリマセデ、内務省令ヲ以テ規定スル積リデアリマス

○高見委員 其内務省令デ規定スルト云フコトハ此法律ノ何ニ依ッテ規定サレテ居ルノデスカ

○吉田政府委員 是ハ法律ノ施行ニ關スル規定デゴザイマスカラ、當然省令ノ權限ニ依ルノデアリマス

○高見委員 本條ハ事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依ルトカ、或ハ其他ノ工事ニシテ勅令ノ定ムル規模ノモノトカ、其他色々ノ勅令或ハ第五條ノ行政官廳ノ命令ノ定ムル所ニ依リ云々ト云フヤウニ、勅令トカ省令ヲ發スル場合ヲ皆書イテアル、其書イテアル所ニ依ッテ初メテ其モノガ、或ハ勅令ヲ受ケ、若クハ省令トナルモノデアリマス、然ルニ何等ノ法條ノ根本基礎ガ無クシテ、アナタガ勝手ニ省令ヲ發スルコトハ、何ノ權限デ御出シニナルノデアリマセヌカ

○吉田政府委員 甚ダ申上ゲヤウガ惡イカモ知レマセヌガ、是ハ委任ニ依ッテ法律ノ内容トナルベキ事柄ヲ委任命令デ定メル場合モゴザイマスシ、又法律ヲ施行スルニ付キマシテ必要ナル手續ヲ施行命令デ定メル場合モゴザイマス、只今申シマシタ手續ニ關スル施行ノ命令ハ、委任ガナクトモ出來ルノデアリマス、其例ハ多々アルノデアリマス、必ズ省令ヲ出ス場合ニ法律ノ根據ガ無ケレバナラナイト云フ譯デハナイノデアリマス

○高見委員 ケレドモ委任命令ト云フモノハ、勅令トカ、行政官廳ノ命令ガ即チ委任命令デセウ、此法律ニ基イテ、此法律ト同様ノ力ノアルモノヲ命令ヲ以テ發スルコトヲ得ト云フカラニハ、

名ハ命令デアルケレドモ、其力ハ法律ノ範圍内ニ於テ法律ト同様ノ效果ヲ持ッノデアリマス、委任命令若クハ施行命令ト云フコトハ、其法律ニ基イテ、其法律ガ委任シタル時ニ於テノ委任命令ヲ發スルコトガ出來ル、法律ガ委任セザル時ニ於テドウシテ委任命令ヲ發スルコトガ出來マスカ

○吉田政府委員 是ハ甚ダ申上ゲニクイノデアリマスガ、憲法ノ規定ニ基キマシテ、委任ガアリマセズトモ——法律ヲ施行スル爲ニ必要ナモノハ委任ガアリマセヌデモ、命令ヲ以テ規定シ得ルコトニナッテ居ルノデアリマス、命令

ノ中ニ委任命令モゴザイマスルシ——委任命令ト云フノハ上級ノ法律或ハ命令ノ委任ヲ受ケル爲ニ始メテ委任ノ命令ガ出來ル場合モアルノデアリマス、又施行命令ト云フモノハ委任ヲ受ケズトモ法律ヲ施行スル爲ニ、或ハ公共ノ安寧秩序ヲ保ツ爲ニ出スノデアリマス、此方ハ行政命令デアリマス、命令權ハ必ズシモ委任ニ依リ出スモノデアリマセヌ、左様ナ届出ヲ命ズルトカ、サ

ウ云フ法律ヲ施行スル爲ニ必要ナ手續ハ、是ハ普通ノ施行命令トシテ委任ノ範圍外デ出シテ居ルノデアリマス、決シテ法律違反デナイノデアリマス、勿論法律ト同様ノ力ハ持ッテ居リマセヌ、法律ヲ施行スル爲ニ、其手續トシテ出

スノデアリマス、手續ノ違反ニ對シテハ罰ガゴザイマスガ、其手續ヲ怠ッタカラト云フテ、兩者ノ間ノ特約ヲ無効ニス、違反ニ對スル制裁ノ限度ハ命令ノ種類ニ依ッテ定テ居ルノデアリマシテ、決シテ不思議デハナイノデアリマス

○高見委員 サウデハナイデセウ、例ハバ茲ニ一ツノ火事ガ起ッタ、或ハ病氣ガ起ッタト云フ時ニ、其處分ニ付テ何ヲドウスルト云フ概括的ニ與ヘラレタ根本觀念ガアツテ、始メテ委任命令ヲ出シ得ル、サウ云フ極ク輕微ノ場合ヲ謂フノデアリマセウ、今ノ場合ハ勅令ナリ命令ノ定ムル所ニ依ルト云フヤウニ、原

因ガ法律ニアル以上ハ、只今ノ施行命令モヤハリ法的根據ガ無ケレバナラヌ、仕事場ニ於テ必ズ揭示スルト云フコトヲ命令スルノデアアル、ソレニ依リ他ノ下請人ト元請人トノ間ノ個人契約ガ完全ニ勞働者ニ分ルコトニナッテ居ル、斯ウ云フコトヲ言ハレテ、是ガ非

常ニ大切ナ責任デアルトスレバ、何カ是ハ法律ナリ何ナリニ於テ根據ガ無ケレバナラヌ、只アナタガ是カラサウ云フモノヲ拵ヘルトカ、或ハ勅令ナリ命令ニ依ルト云フヤウナ、端的ナ、麴町三丁目デ小便スベカラズト云フヤウナ、獨立命令ト同一ニ解釋サレルノハ

少シク強辯ノ嫌ヒハナイカ、勞働者ノ立場カラ見ルト、此第三項ノ規定ハ非常ニ可哀相デハナイカ、アナタハ揭示規定ト云フモノヲ特別ニ出シテスルト云フコトハ、是ハ既ニ省議ヲ經テ居ルノデアリマス、又只今茲デ御辯明ニナッタノデアリマス、又サウ云フモノヲ出サナケレバ特別ニ重イ制裁デモ付ケルト云フヤウナコトヲ御考ヘニナッテ居ルノデアリマス

○吉田政府委員 決シテ普通ノ獨立命令ヲ出スト云フ意味デ申上ゲテ居ルノデアリマセヌ、獨立命令ト云フノハ、公共ノ安寧秩序ヲ維持スルトカ、人民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ、必要ナ命令ヲ發スルノデアリマス、法律ヲ施行スル爲ニ發スル命令ハ、委任ノ必要ナク、法律ニ基ク施行命令デアリマスカラ、一般ノ施行ニ關スル行政手續ニ依ッテ、委任ノ根據無ク命令デアルコトニナッテ居リマス、無論權利義務ノ關係ヲ相殺スル譯ニハ行キマセヌガ、手續ヲ命ズルノデアリマス、工場法ニ於キマシテモ、ヤハリ是ハ委任規定デアリマセヌケレドモ、工場法ノ施行規則、農商務省令ノ第十三條ニ「工業主ハ扶助ニ關スル事項ノ要領ヲ平易ニ記述シ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ職工ニ周知セシムベシ」ト云フヤウナ施行命令ヲ規定致シテ居リマス、是ハ極メテ普通ナコトデ

アリマス、決シテ不穩當ナコトデハナイコトヲ得」ト云フコトガアリマスカ、是ハ一體ドウ云フコトデアリマスカ、簡單ニ勞働者ニ命ズルト云フコトハ、ドウ云フコトデスカ

○高見委員 私モウ一ツ念ヲ押シテ置キタイノハ、憲法ノ八條ニ依ル施行命令ト仰シヤルガ、總テ立法事項ハ權利義務ニ關係スルモノハ、法律ニ依ルニアラザレバ出來ナイコトニナッテ居ル、揭示ト云フヤウナコトノ如キハ、權利義務ニ非常ニ重大ナ關係ヲ來タスノデハナイカ、若シモ揭示ヲ怠ッテ場合ハドウデスカ、其責任ハ誰ガ負擔シマスカ、揭示ニ依ッテ始メテ下請人ノ責任ガ解除サレルト云フナラバ、權利義務ニ非常ニ重大ナ影響ヲ與ヘル、サウシテ皆ハ——アナタ憲法ノ御取違ヒデヤナイデスカ、憲法ノ立法事項ト云フモノ、觀念ヲ、非常ニ根本カラ錯誤シテ居ラレルノデハナイカト思フノデス、ケレドモアナタ仰シヤルナラ、幾ラデモ仰シヤルガ宜シイ、私モ言ヒタイケレドモ時間ガナイノナラ致方ガナイ、ソレカラモウ一ツ伺ッテ置キタイ、第五條ニ「危害ノ防止又ハ衛生ニ關シ必要ナル事項ヲ事業主又ハ勞働者ニ命スル

ト、危險ナ機械ノ取扱方ニ付キマシテ、其取扱方法ニ關スルコトヲ規定シタノデアリマス、或ハ危險ナ爆發物ノアリマスル所デ燐寸ヲ摺ッたり、煙草ヲ喫ッたりシテハナラヌト云フ制限ヲ置イテ、サウ云フ危害ヲ避ケル爲ニ、災害ノ防止ヲスル爲ニ、事業主ニ命ズルコトモ多クゴザイマスルガ、勞働者ニ命ズルコトモアルノデアリマス、ソレラノ事ヲ書イタノデアリマス

○吉田政府委員 例ヘテ申シマスルト、危險ナ機械ノ取扱方ニ付キマシテ、其取扱方法ニ關スルコトヲ規定シタノデアリマス、或ハ危險ナ爆發物ノアリマスル所デ燐寸ヲ摺ッたり、煙草ヲ喫ッたりシテハナラヌト云フ制限ヲ置イテ、サウ云フ危害ヲ避ケル爲ニ、災害ノ防止ヲスル爲ニ、事業主ニ命ズルコトモ多クゴザイマスルガ、勞働者ニ命ズルコトモアルノデアリマス、ソレラノ事ヲ書イタノデアリマス

○高見委員 サウスルト、若シモ勞働者ガ言フコトヲ肯カズシテ、危險ナ場所デ煙草ヲ喫ッタト云フ時ニハ、ソレハドウナリマスカ

○吉田政府委員 左様ナ重大ナ過失ガアリマシタ場合ニハ、委任命令ノ方デ、別ニ書イテ資料トシテ差上ゲテアリマスカ、勞働者災害扶助法施行命令ニ規定スベキモノ、中ニアリマス通りニ、負傷ニ關シマシテ當該勞働者ニ重大ナル過失ガアッタト云フ場合デアリマシタナラバ、其實ニ付キマシテ地方長官ノ認定ヲ受ケタ場合ハ、扶助料ノ一部ヲ支給シナイコトモ起リ得マスカ、直接ニハ其命令ニ違反致シマシタ

○山邊委員長 ソレデハ本日ハ此程度

勞働者ニ對シマシテ處罰ヲスル積リデアリマス

○高見委員 併シサウ云フコトハ命令デ規定スルヨリモ、法律デ御規定ニナッタラ如何デスカ、一體第五條ハ事業主ハ危害ノ防止ヲ要スルト云フコトデ、其防止ヲ事業主ガヤラナカッタ場合ハドウナルト云フコトヲ、命令デ規定スルノハ少シオカシクアリマセヌカ

○吉田政府委員 唯、今ノ扶助料ヲヤルカ、ヤラヌカト云フ問題ハ、第五條ノ問題デアリマセヌ、第二條ノ問題デアリマス、第二條ハ御覽ニナリマス通り「事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ勞働者ガ業務上負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル場合ニ於テ本人又ハ其ノ遺族若ハ本人ノ死亡當時其ノ收入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ヲ扶助スヘシ」ト云フコトニナッテ居リマス、扶助ノ内容其制限等ハ、一切命令ノ規定ニ委任シテアルノデアリマス、是ハ自ラ外國ノ例モ、斯ウ云フ立法ノ建前沿革ガサウナッテ居リマス、工場法ニ於キマシテモ扶助ノ内容ニ付テハ悉ク命令ニ委任シテアリマス、ソレデ御審議ノ上ニ御判リニナラズシテ御不便デアラウト思ヒマシテ、一切ノ資料ヲ總テ御手許ニ差上ゲテアリマス

デ散會致シマス、尙ホ明日ハ最終日ト
シテ御協議願ヒタイノデアリマスカラ
各委員ノ方ハ是非御出席願ヒタイト思
ヒマス、時間ハ追テ公報ヲ以テ御知ラ
セ致シマス

午後六時散會

昭和六年三月十七日印刷

昭和六年三月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社